

平成28年度 受(Ⅲ)道第3号

みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事

設 計 図

宮城県道路公社

平成28年度 受（Ⅲ）道第3号 みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）道路改良（2-1工区）工事

図 面 目 録

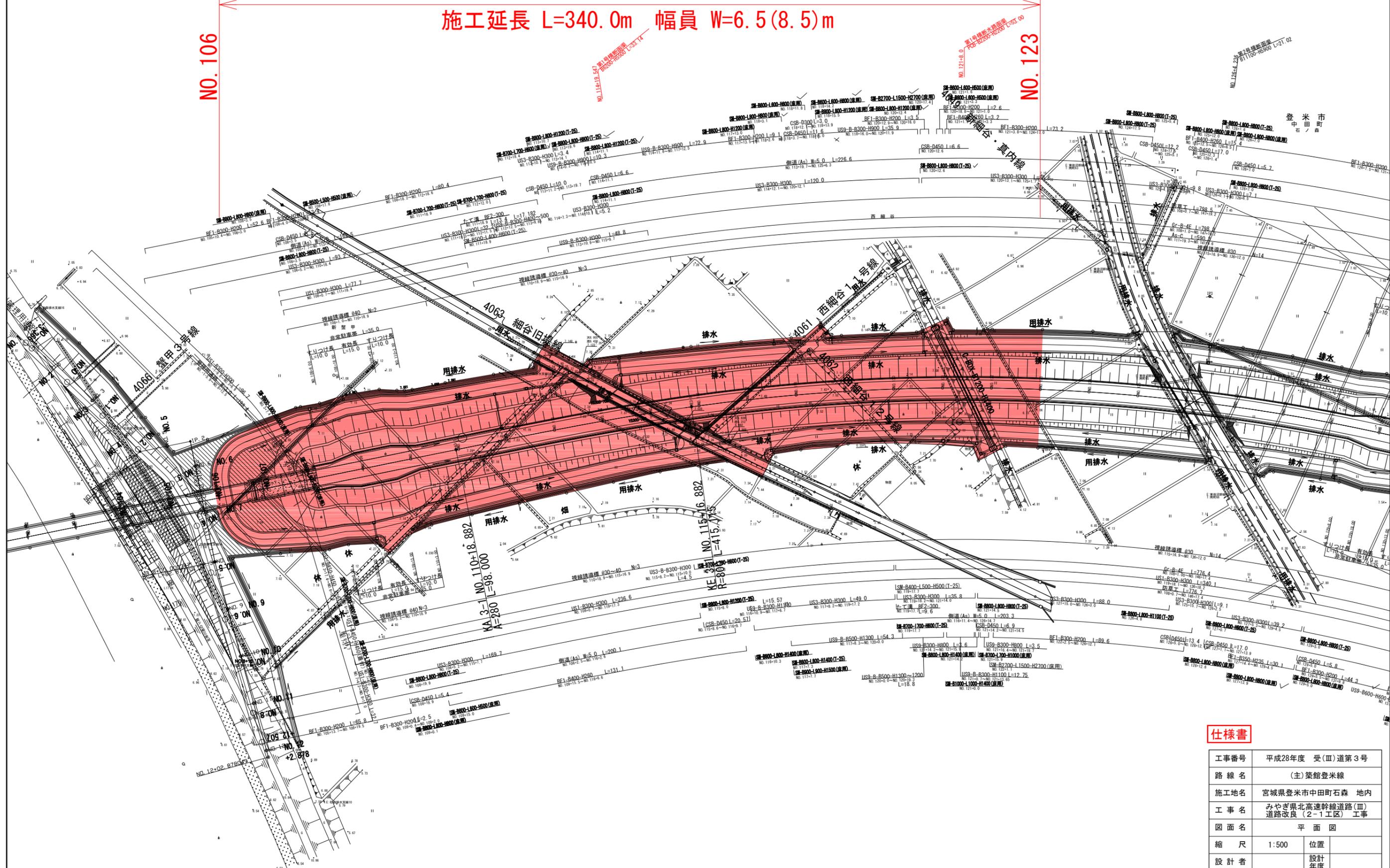
実 施

図 面 名	図 番	図 面 名	図 番	図 面 名	図 番
平面図	1 / 64	横断図(5/19)	23 / 64	補強土壁平面位置図	45 / 64
プレロード平面図(第1段階)	2 / 64	横断図(6/19)	24 / 64	補強土壁正面展開図<左岸翼壁>(参考図)	46 / 64
プレロード平面図(第2段階)	3 / 64	横断図(7/19)	25 / 64	補強土壁正面展開図<右岸翼壁>(参考図)	47 / 64
地盤改良平面図	4 / 64	横断図(8/19)	26 / 64	補強土壁材料表<左岸翼壁>(参考図)	48 / 64
縦断図	5 / 64	横断図(9/19)	27 / 64	補強土壁材料表<右岸翼壁>(参考図)	49 / 64
標準横断図	6 / 64	横断図(10/19)	28 / 64	補強土壁排水詳細図	50 / 64
軟弱地盤対策工標準断面図	7 / 64	A2橋台 プレロード盛土断面図	29 / 64	補強土壁詳細図(1)(参考図)	51 / 64
土工区分図	8 / 64	切廻し水路工	30 / 64	補強土壁詳細図(2)(参考図)	52 / 64
横断図(1/19)	9 / 64	第1号函渠工一般図	31 / 64	補強土壁詳細図(3)(参考図)	53 / 64
横断図(2/19)	10 / 64	第1号函渠工構造図(1/2)	32 / 64	補強土壁詳細図(4)(参考図)	54 / 64
横断図(3/19)	11 / 64	第1号函渠工配筋図(1/12)	33 / 64	補強土壁詳細図(5)(参考図)	55 / 64
横断図(4/19)	12 / 64	第1号函渠工配筋図(2/12)	34 / 64	補強土壁詳細図(1)	56 / 64
横断図(5/19)	13 / 64	第1号函渠工配筋図(3/12)	35 / 64	補強土壁詳細図(1)	57 / 64
横断図(6/19)	14 / 64	第1号函渠工配筋図(4/12)	36 / 64	補強土壁平面位置図	58 / 64
横断図(7/19)	15 / 64	第1号函渠工配筋図(5/12)	37 / 64	補強土壁一般図(参考図)	59 / 64
横断図(8/19)	16 / 64	第1号函渠工配筋図(6/12)	38 / 64	補強土壁排水計画図(参考図)	60 / 64
横断図(9/19)	17 / 64	第1号函渠工配筋図(7/12)	39 / 64	補強土壁詳細図(参考図)	61 / 64
横断図(10/19)	18 / 64	第1号函渠工配筋図(8/12)	40 / 64	第1号横断函渠工一般図	62 / 64
横断図(1/19)	19 / 64	第1号函渠工配筋図(9/12)	41 / 64	排水系統図	63 / 64
横断図(2/19)	20 / 64	第1号函渠工配筋図(10/12)	42 / 64	撤去平面図	64 / 64
横断図(3/19)	21 / 64	第1号函渠工配筋図(11/12)	43 / 64		
横断図(4/19)	22 / 64	第1号函渠工配筋図(12/12)	44 / 64		

平成28年度 受(Ⅲ)道第3号
みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事
施工延長 L=340.0m 幅員 W=6.5(8.5)m

NO.106

NO.123



仕様書

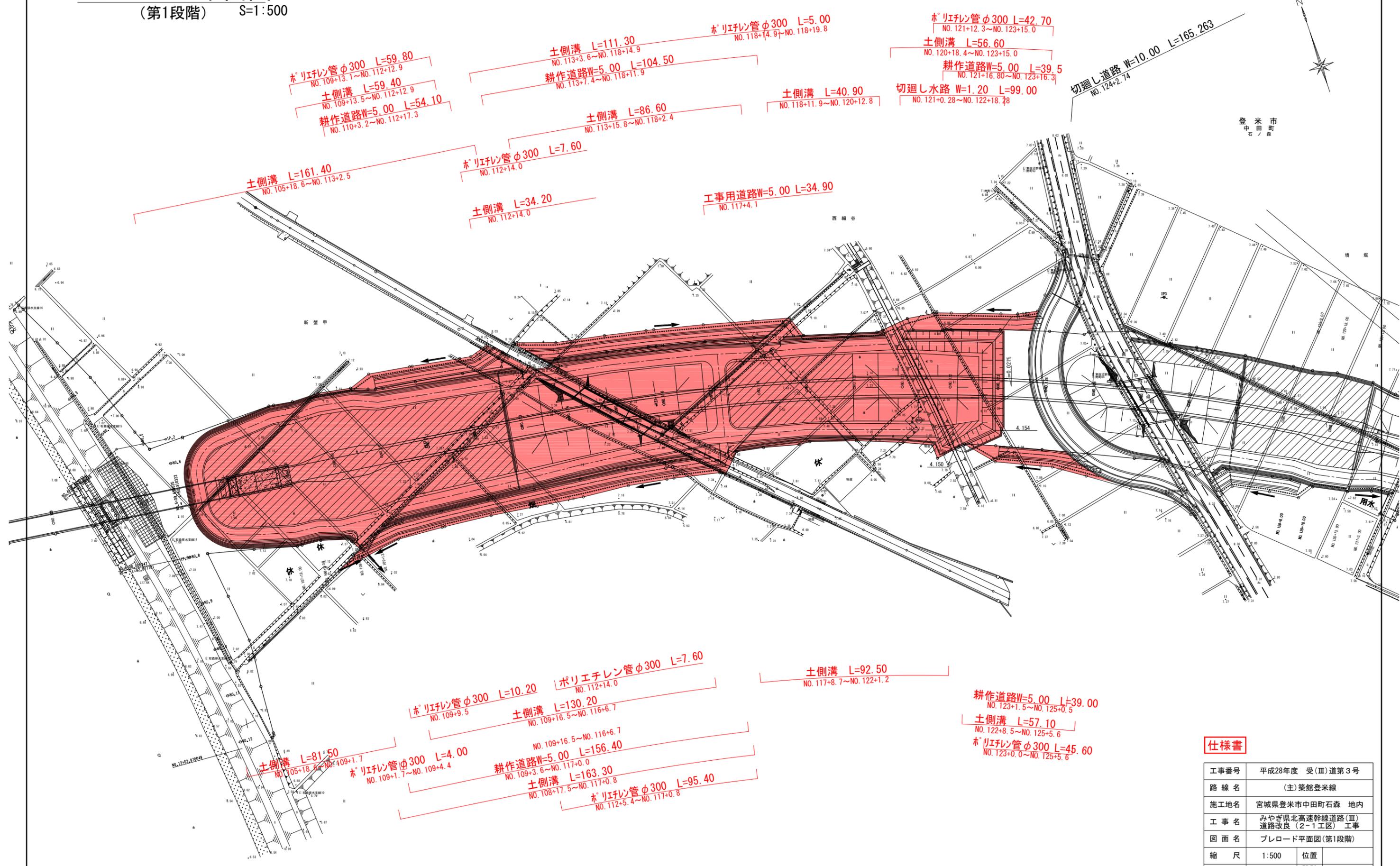
工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	平面図	位置	
縮尺	1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	1 / 64	

プレロード平面図

(第1段階) S=1:500



登米市
中田町
石ノ森

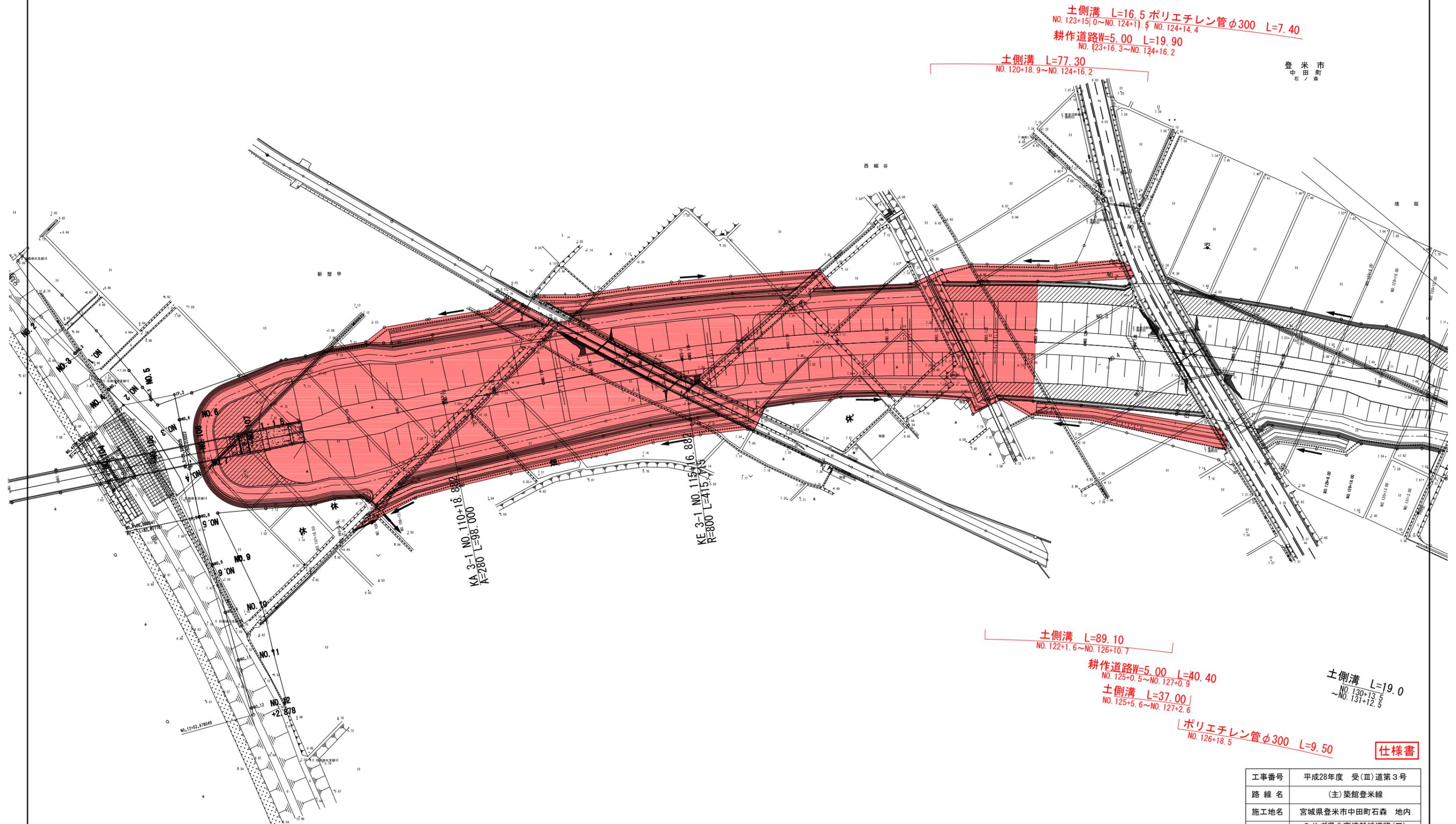


仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石ノ森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	プレロード平面図(第1段階)		
縮尺	1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	2 / 64	

プレロード平面図

(第2段階) S=1:500



土側溝 L=16.5 ポリエチレン管φ300 L=7.40
NO. 123+15.0~NO. 124+14.4
耕作道路W=5.00 L=19.90
NO. 123+16.3~NO. 124+16.2

土側溝 L=77.30
NO. 120+18.9~NO. 124+16.2

土側溝 L=89.10
NO. 122+1.6~NO. 126+10.7

耕作道路W=5.00 L=40.40
NO. 125+0.5~NO. 127+0.9

土側溝 L=37.00
NO. 125+5.6~NO. 127+2.6

土側溝 L=19.0
NO. 130+13.5
~NO. 131+12.5

ポリエチレン管φ300 L=9.50
NO. 126+18.5

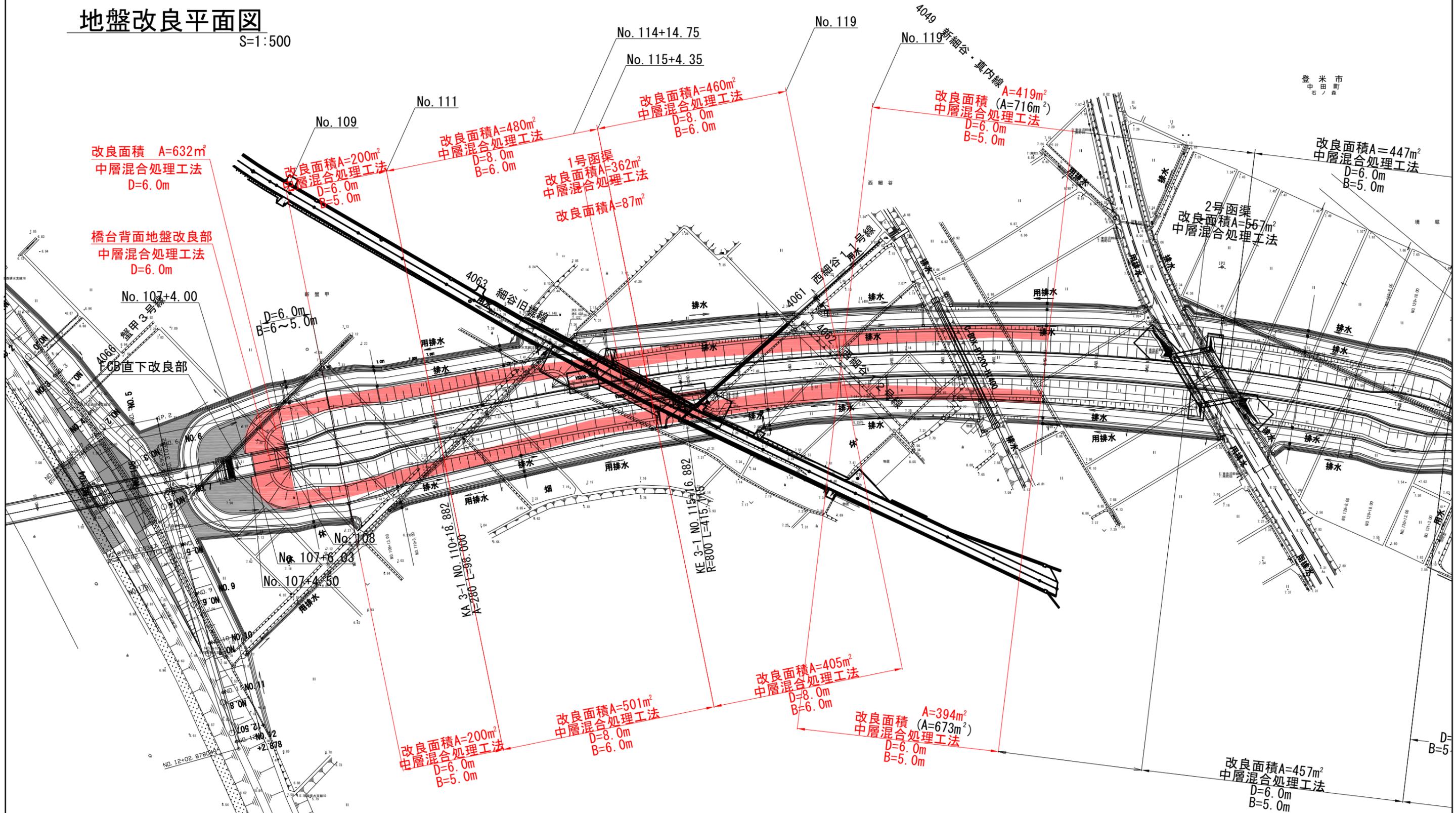
仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	プレロード平面図(第2段階)		
縮尺	1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	3 / 64	

地盤改良平面図

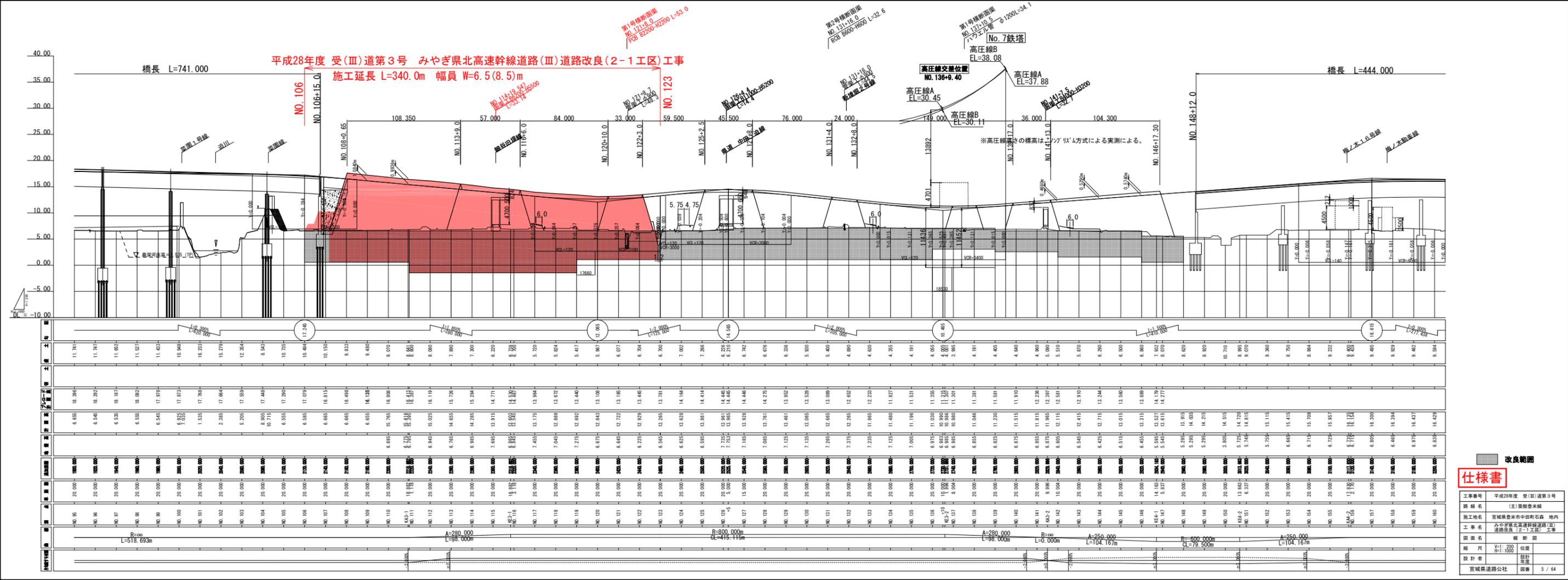
S=1:500

登米市
中田町
石ノ森



仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主) 栗館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	地盤改良平面図		
縮尺	1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	4 / 64	



改良範囲

仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号
路線名	(主) 東北自動車線
施工地名	宮城県米田中田町石巻 地内
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事
図面名	縦断面図
縮尺	縦: 1:500 横: 1:1000
設計者	設計 住友
図番	5 / 64

標準横断図

S=1:100

< 設計条件 >

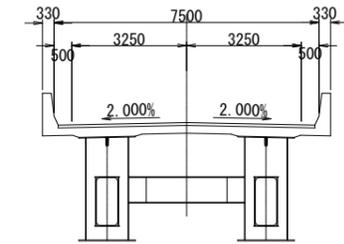
道路区分	第3種2級
設計速度	60km/h
交通量区分	N5交通
設計期間	20年
設計CBR	3% (仮定)
凍結深	48cm
目標TA	29.0

< 舗装構成 >

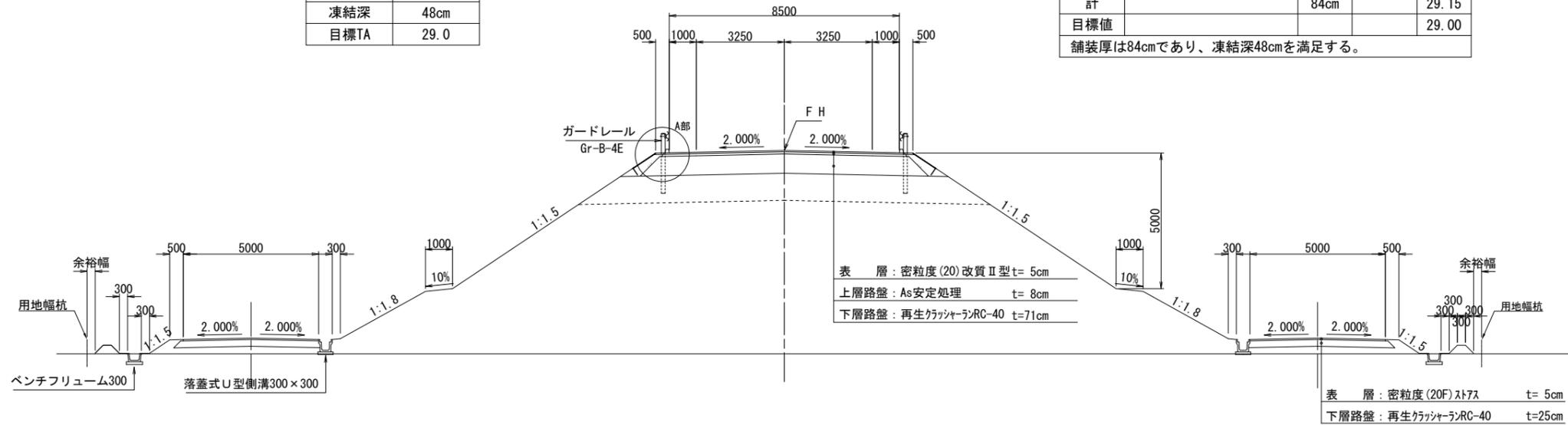
工種	舗装厚	TA	
表層	密粒度(20)改質II型	5cm	5 × 1.00 = 5.00
上層路盤	As安定処理	8cm	8 × 0.80 = 6.40
下層路盤	再生クラッシャーラン0-40	71cm	71 × 0.25 = 17.75
計		84cm	29.15
目標値			29.00

舗装厚は84cmであり、凍結深48cmを満足する。

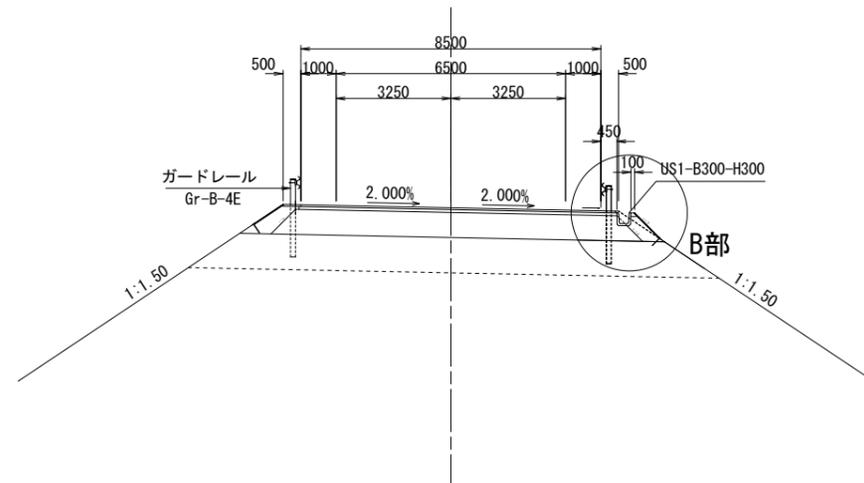
長大橋 (100m以上)



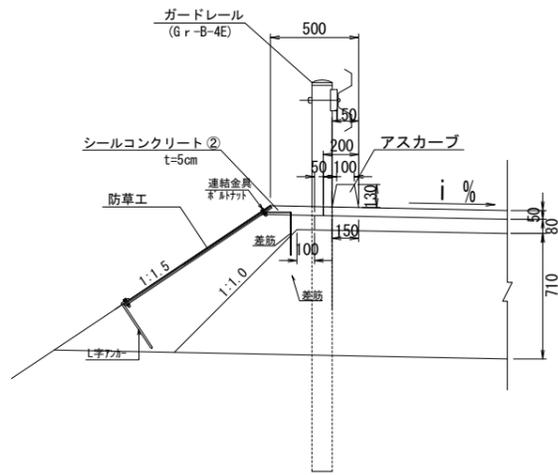
土工区間



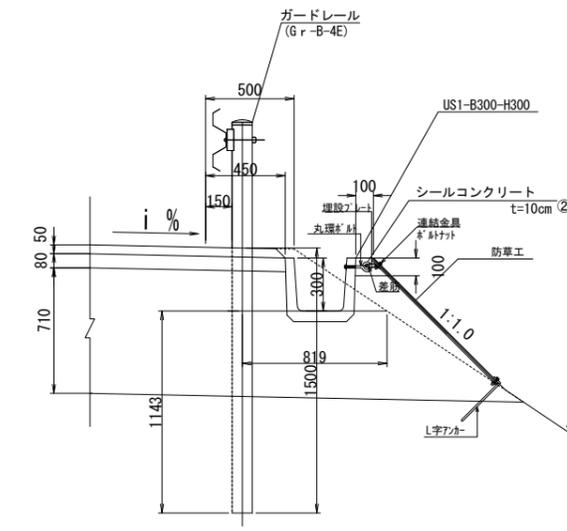
片勾配区間



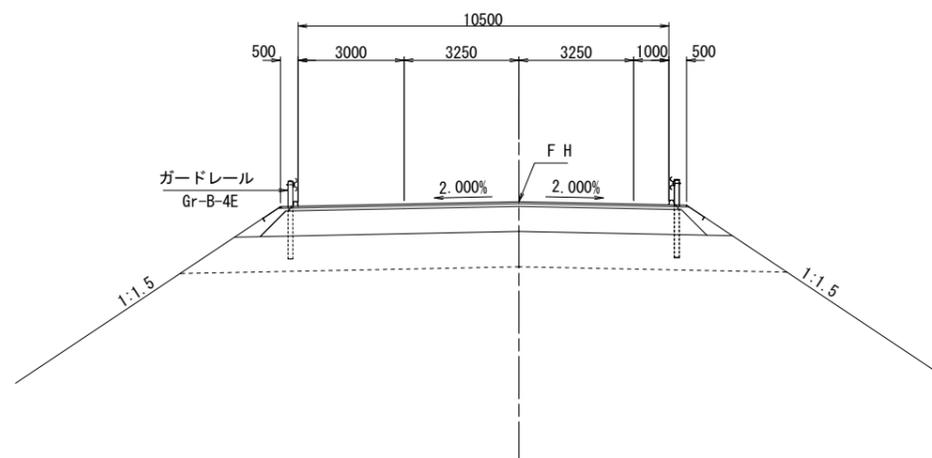
A部詳細図 S=1:50



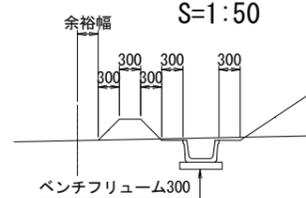
B部詳細図 S=1:50



非常駐車帯区間



畦畔部詳細 S=1:50



仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	標準横断図		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	6 / 64	

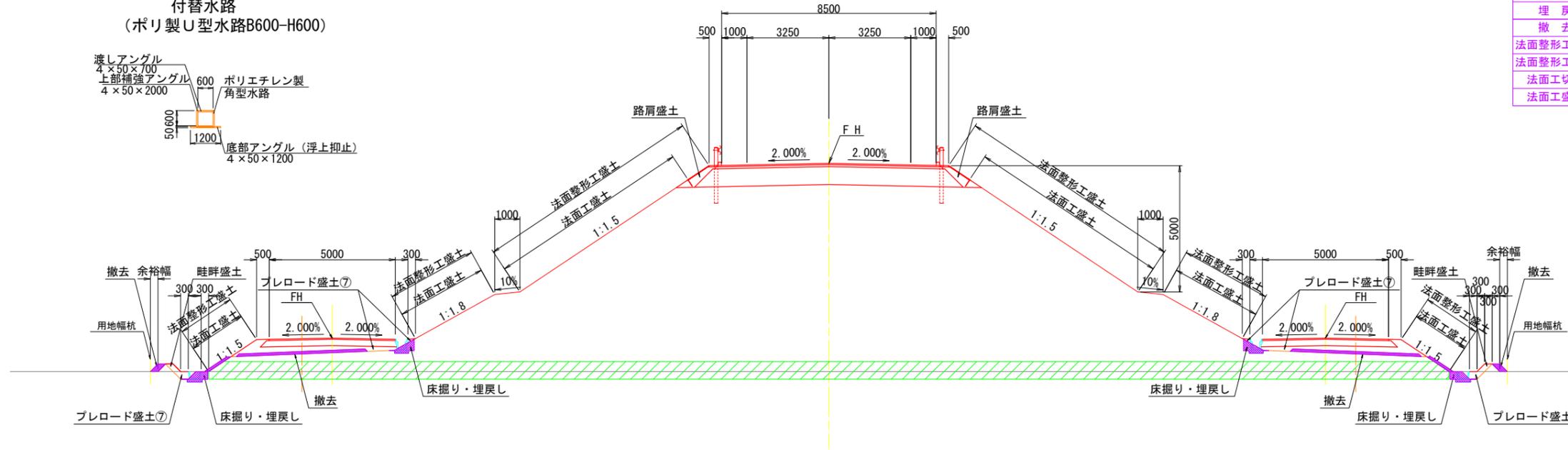
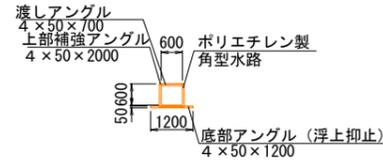
土工区分図

S=1:100

プレロード3段階

3段階	
内訳	単位
オープン掘削	m ²
路体盛土⑦	m ²
路肩盛土	m ²
畦畔盛土	m ²
床堀	m ²
埋戻	m ²
撤去	m ²
法面整形工切土	m
法面整形工盛土	m
法面工切土	m
法面工盛土	m

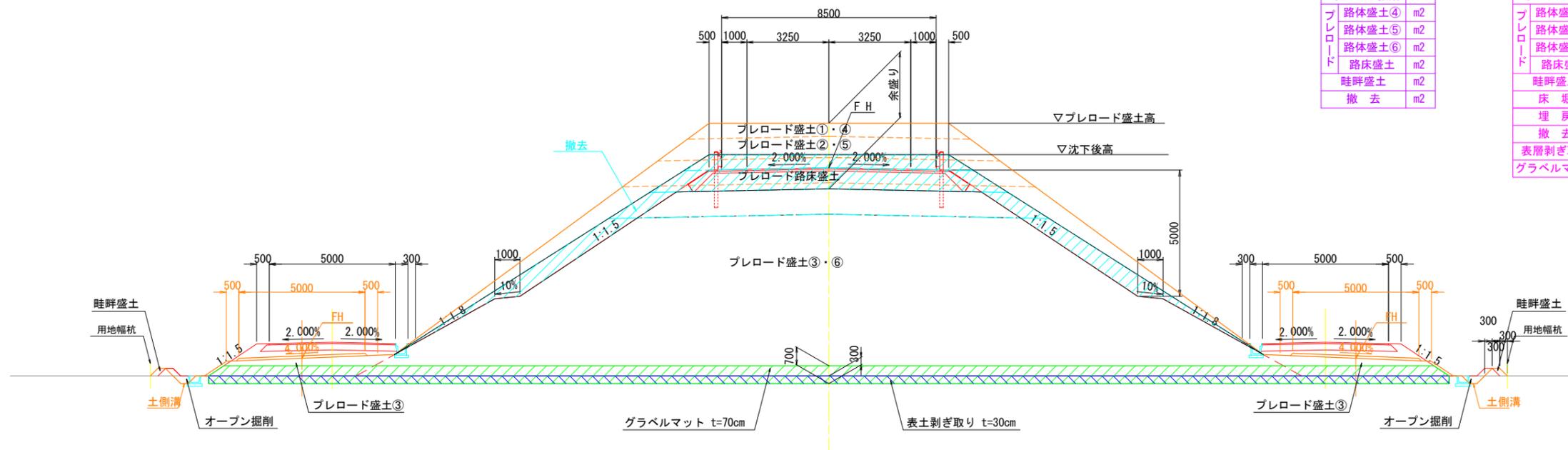
付替水路 (ポリ製U型水路B600-H600)



プレロード1・2段階

2段階	
内訳	単位
オープン掘削	m ²
路体盛土④	m ²
路体盛土⑤	m ²
路体盛土⑥	m ²
路床盛土	m ²
畦畔盛土	m ²
撤去	m ²

1段階	
内訳	単位
オープン掘削	m ²
路体盛土①	m ²
路体盛土②	m ²
路体盛土③	m ²
路床盛土	m ²
畦畔盛土	m ²
床堀	m ²
埋戻	m ²
撤去	m ²
表層剥ぎ取り	m ²
グラベルマット	m ²

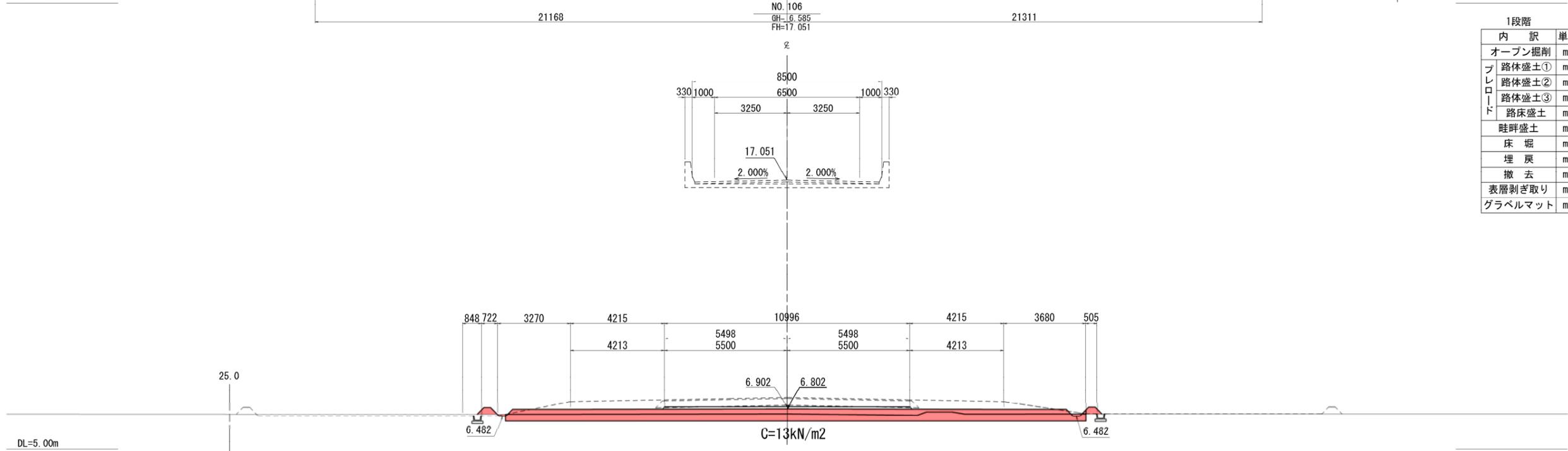
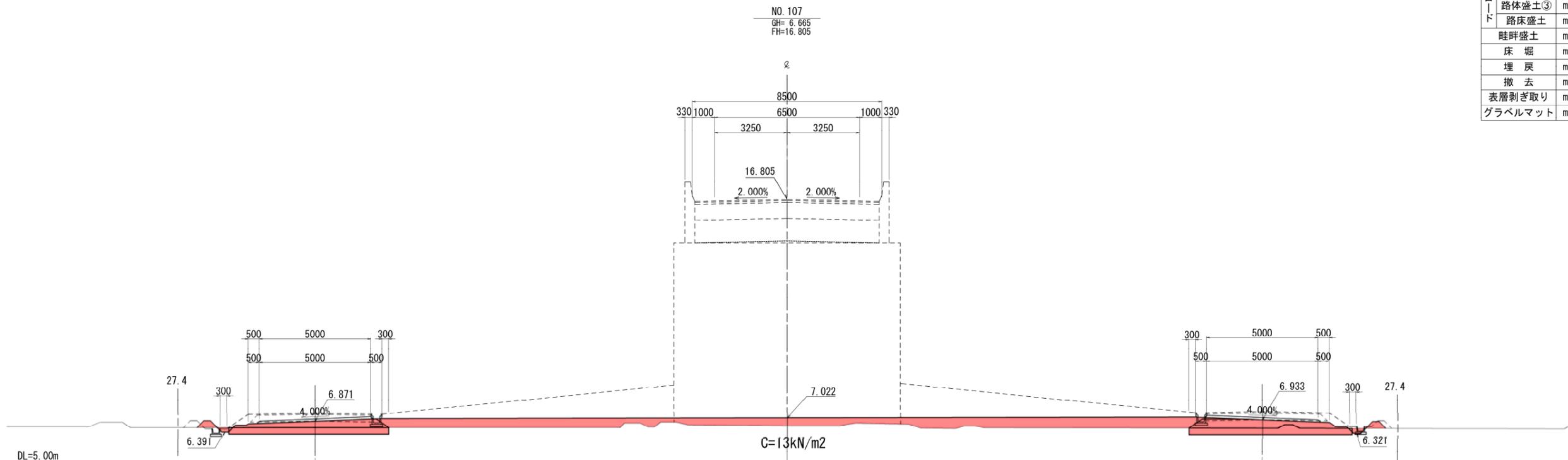


仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	土工区分図		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	8 / 64	

1段階		
内 訳	単 位	数 量
オープン掘削	m2	0.2
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	14.3
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.4
床 堀	m2	-
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-
表層剥ぎ取り	m2	4.5
グラベルマット	m2	8.2

1段階		
内 訳	単 位	数 量
オープン掘削	m2	0.1
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	-
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.4
床 堀	m2	-
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-
表層剥ぎ取り	m2	8.1
グラベルマット	m2	13.4

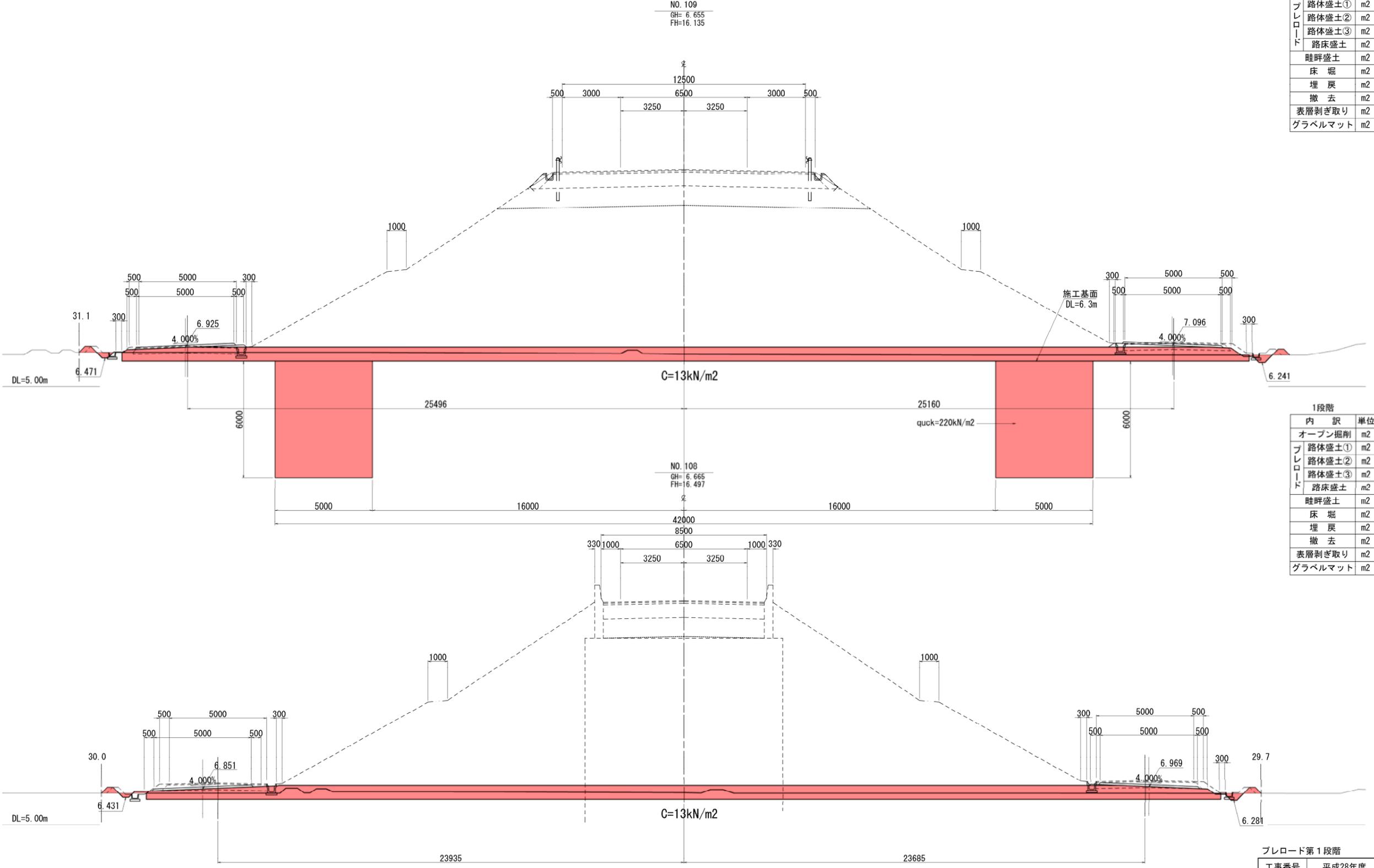


仕様書

ブレロード第1段階			
工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	横断図(1/19)		
縮 尺	1:100	位置	
設 計 者		設 計 年度	
宮城県道路公社	図番	9 / 64	

1段階		
内 訳	単 位	数 量
オープン掘削	m2	0.5
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	=0.7=
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.4
床 堀	m2	-
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-
表層剥ぎ取り	m2	21.2
グラベルマット	m2	39.9

1段階		
内 訳	単 位	数 量
オープン掘削	m2	0.3
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	=0.2=
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.4
床 堀	m2	-
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-
表層剥ぎ取り	m2	18.6
グラベルマット	m2	36.9

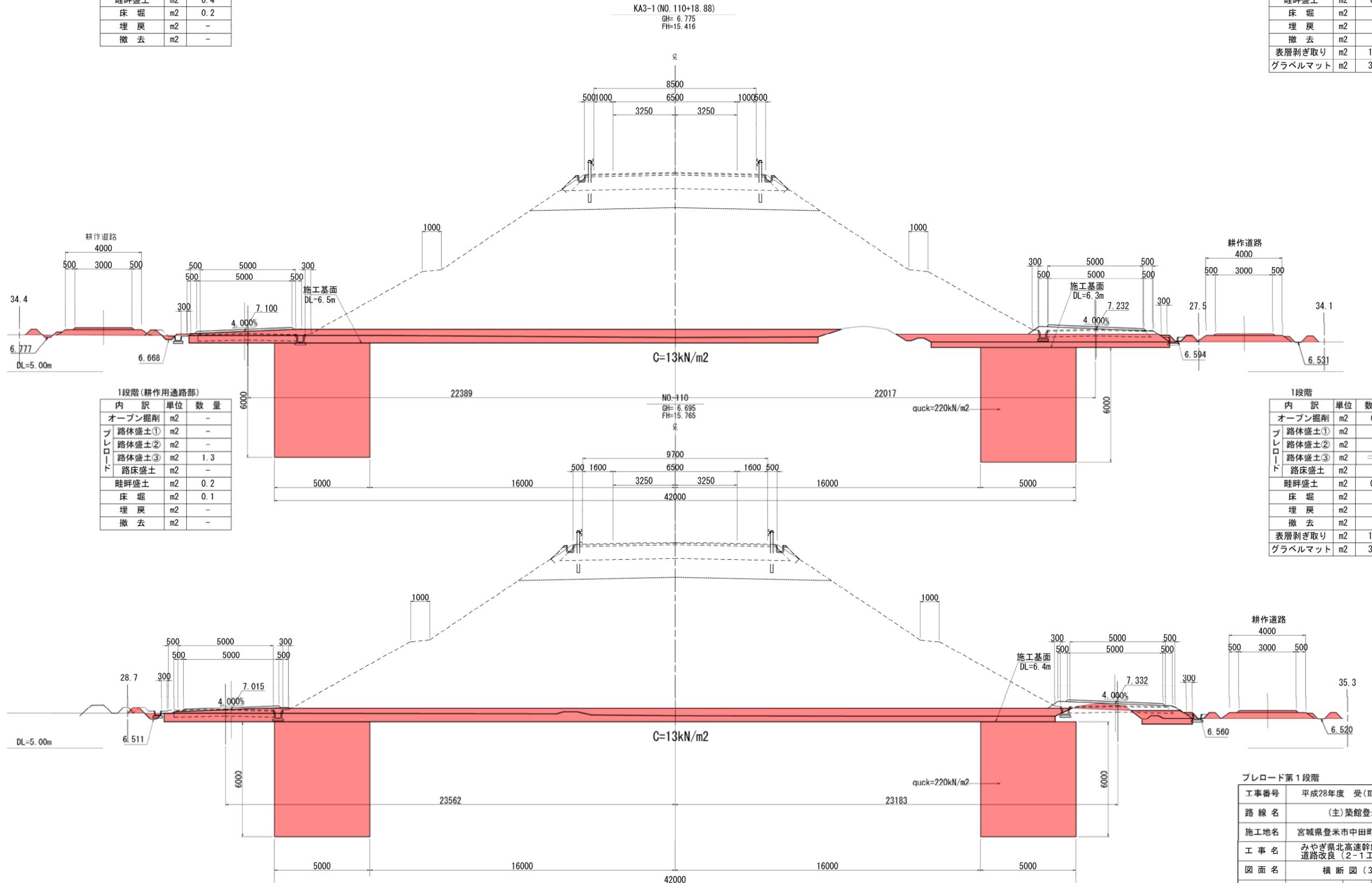


仕様書

プレロード第1段階			
工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	横断図(2/19)		
縮 尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	10 / 64	

内 訳	単 位	数 量
オープン掘削	m2	-
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	2.8
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.4
床 堀	m2	0.2
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-

内 訳	単 位	数 量
オープン掘削	m2	0.1
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	2.1
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.4
床 堀	m2	-
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-
表層剥ぎ取り	m2	14.6
グラベルマット	m2	31.8



内 訳	単 位	数 量
オープン掘削	m2	-
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	1.3
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.2
床 堀	m2	0.1
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-

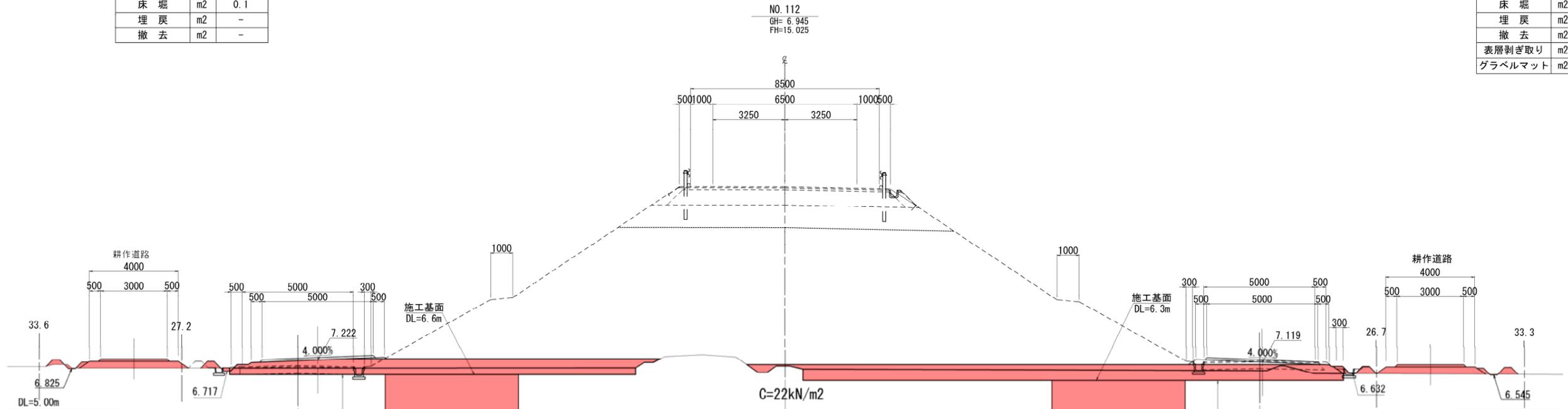
内 訳	単 位	数 量
オープン掘削	m2	0.2
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	1.6
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.4
床 堀	m2	-
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-
表層剥ぎ取り	m2	18.3
グラベルマット	m2	34.3

仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	横断図(3/19)		
縮 尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	11 / 64	

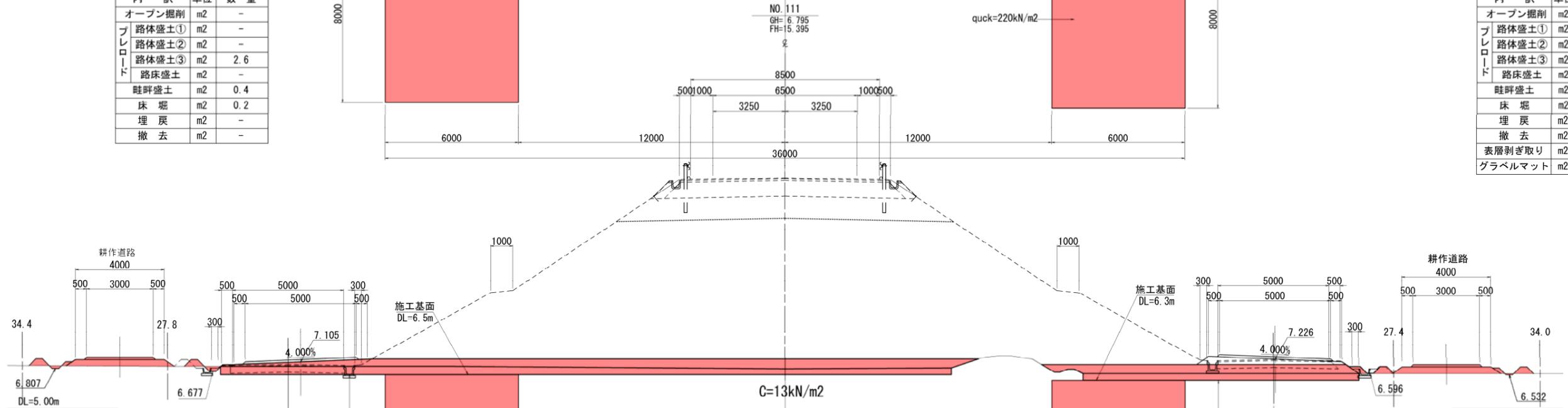
内 訳	単 位	数 量
オープン掘削	m2	-
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	3.1
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.5
床 堀	m2	0.1
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-

内 訳	単 位	数 量
オープン掘削	m2	0.1
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	-0.9
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.4
床 堀	m2	-
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-
表層剥ぎ取り	m2	16.4
グラベルマット	m2	29.7



内 訳	単 位	数 量
オープン掘削	m2	-
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	2.6
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.4
床 堀	m2	0.2
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-

内 訳	単 位	数 量
オープン掘削	m2	0.1
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	-
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.4
床 堀	m2	-
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-
表層剥ぎ取り	m2	14.4
グラベルマット	m2	31.3



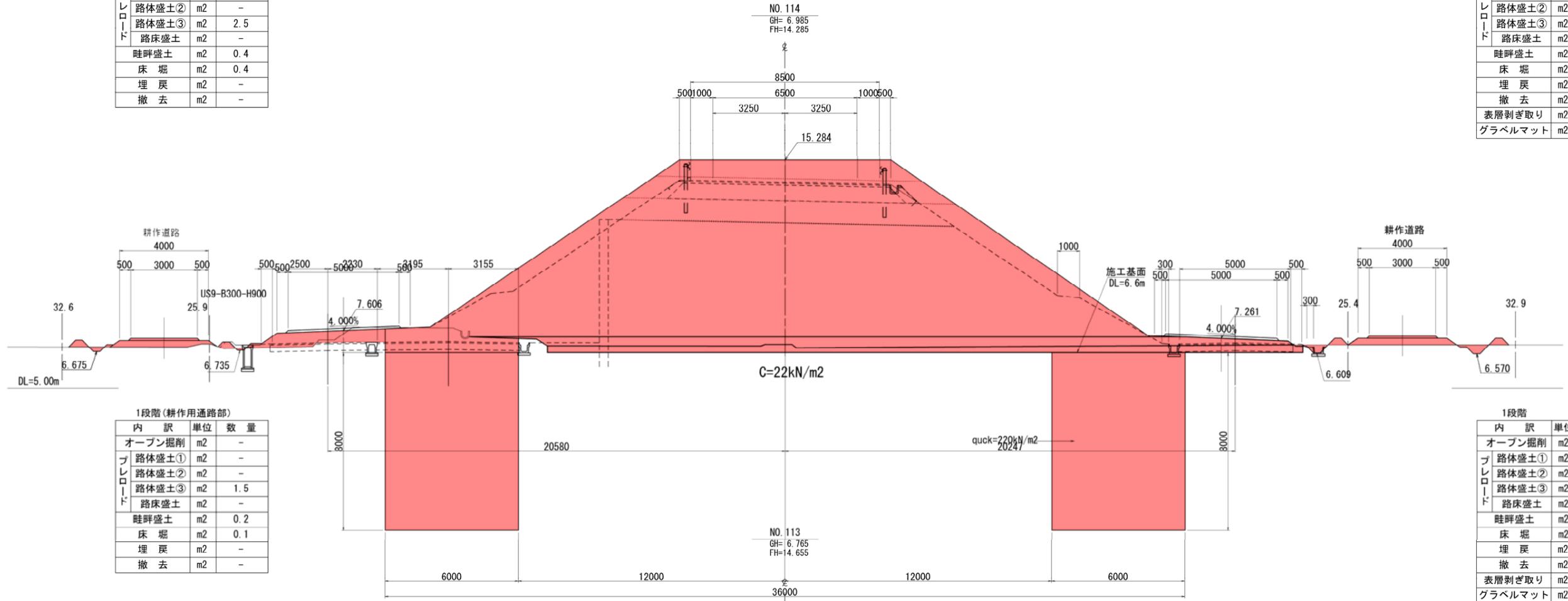
ブレロード第1段階

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	横断面(4/19)		
縮 尺	1:100	位置	
設 計 者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	12 / 64

仕様書

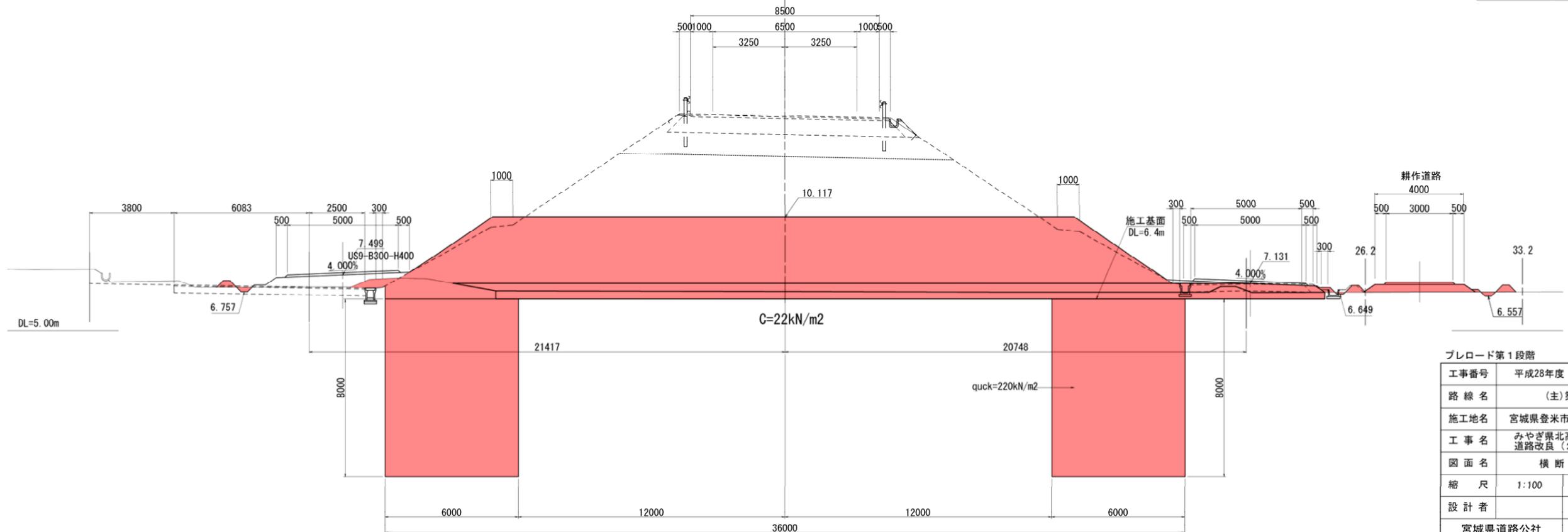
1段階(耕作用通路部)			
内 訳	単 位	数 量	
オープン掘削	m2	-	
ブ レ ロ ー ド	路体盛土①	m2	-
	路体盛土②	m2	-
	路体盛土③	m2	2.5
	路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.4	
床 堀	m2	0.4	
埋 戻	m2	-	
撤 去	m2	-	

1段階			
内 訳	単 位	数 量	
オープン掘削	m2	0.5	
ブ レ ロ ー ド	路体盛土①	m2	-
	路体盛土②	m2	9.0
	路体盛土③	m2	148.2
	路床盛土	m2	13.5
畦畔盛土	m2	0.3	
床 堀	m2	-	
埋 戻	m2	-	
撤 去	m2	14.4	
表層剥ぎ取り	m2	9.7	
グラベルマット	m2	23.4	



1段階(耕作用通路部)			
内 訳	単 位	数 量	
オープン掘削	m2	-	
ブ レ ロ ー ド	路体盛土①	m2	-
	路体盛土②	m2	-
	路体盛土③	m2	1.5
	路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.2	
床 堀	m2	0.1	
埋 戻	m2	-	
撤 去	m2	-	

1段階			
内 訳	単 位	数 量	
オープン掘削	m2	0.2	
ブ レ ロ ー ド	路体盛土①	m2	-
	路体盛土②	m2	-
	路体盛土③	m2	93.7
	路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.4	
床 堀	m2	-	
埋 戻	m2	-	
撤 去	m2	14.4	
表層剥ぎ取り	m2	12.4	
グラベルマット	m2	26.2	



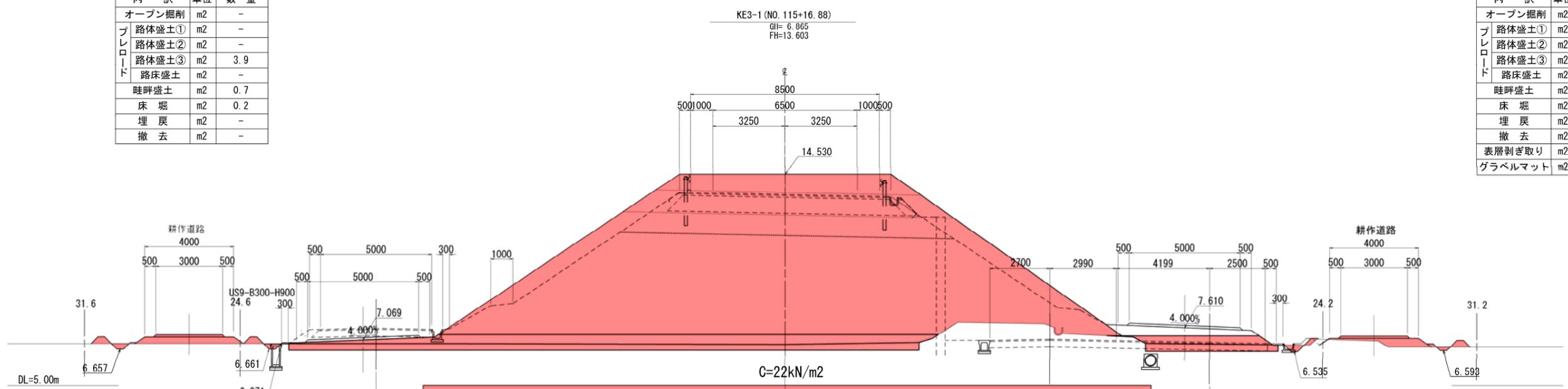
仕様書	
ブレロード第1段階	
工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号
路線名	(主)築館登米線
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事
図面名	横断面(5/19)
縮 尺	1:100 位置
設 計 者	設計年度
宮城県道路公社	図番 13 / 64

1段階(耕作用通路部)

内訳	単位	数量
オープン掘削	m2	-
ブレロード		
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	3.9
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.7
床堀	m2	0.2
埋戻	m2	-
撤去	m2	-

1段階

内訳	単位	数量
オープン掘削	m2	0.3
ブレロード		
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	9.0
路体盛土③	m2	122.7
路床盛土	m2	13.4
畦畔盛土	m2	0.3
床堀	m2	-
埋戻	m2	-
撤去	m2	-14.0
表層剥ぎ取り	m2	10.2
グラベルマット	m2	22.6

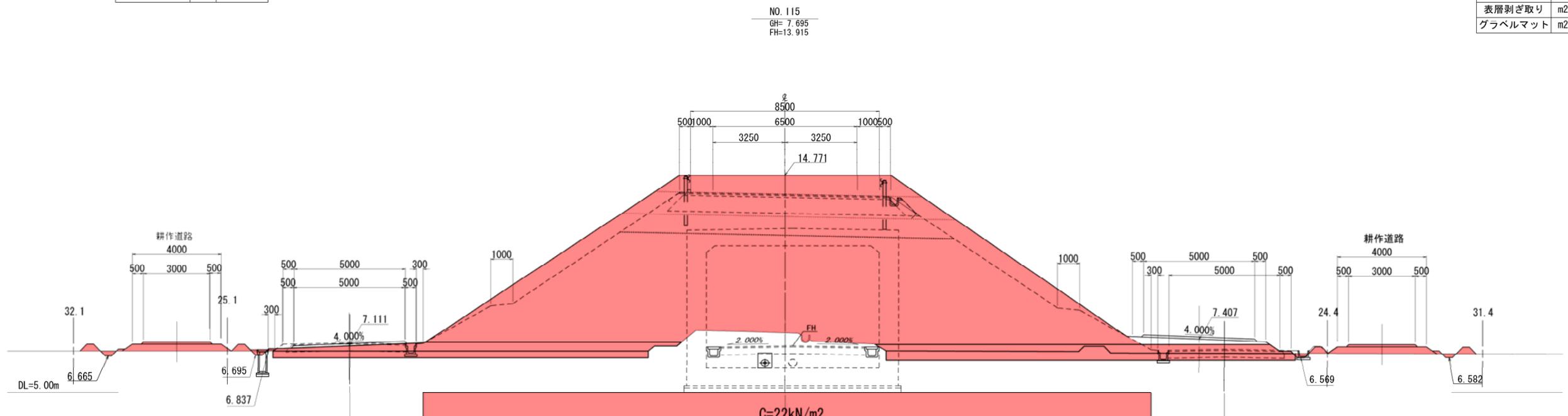


1段階(耕作用通路部)

内訳	単位	数量
オープン掘削	m2	-
ブレロード		
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	2.8
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.8
床堀	m2	0.2
埋戻	m2	-
撤去	m2	-

1段階

内訳	単位	数量
オープン掘削	m2	0.2
ブレロード		
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	9.1
路体盛土③	m2	133.3
路床盛土	m2	13.5
畦畔盛土	m2	0.4
床堀	m2	-
埋戻	m2	-
撤去	m2	-14.3
表層剥ぎ取り	m2	12.0
グラベルマット	m2	23.7



1段階(耕作用通路部)

内訳	単位	数量
オープン掘削	m2	-
ブレロード		
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	2.8
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.8
床堀	m2	0.2
埋戻	m2	-
撤去	m2	-

ブレロード第1段階

内訳	単位	数量
オープン掘削	m2	0.2
ブレロード		
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	9.1
路体盛土③	m2	133.3
路床盛土	m2	13.5
畦畔盛土	m2	0.4
床堀	m2	-
埋戻	m2	-
撤去	m2	-14.3
表層剥ぎ取り	m2	12.0
グラベルマット	m2	23.7

仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	横断面(6/19)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	14 / 64

1段階(耕作用通路部)

内 訳	単位	数 量
オープン掘削	m2	-
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	1.3
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.2
床 堀	m2	0.2
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-

1段階

内 訳	単位	数 量
オープン掘削	m2	0.4
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	0.6
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.4
床 堀	m2	-
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-
表層剥ぎ取り	m2	13.3
グラベルマット	m2	25.8

1段階(耕作用通路部)

内 訳	単位	数 量
オープン掘削	m2	-
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	2.1
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.2
床 堀	m2	0.3
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-

1段階

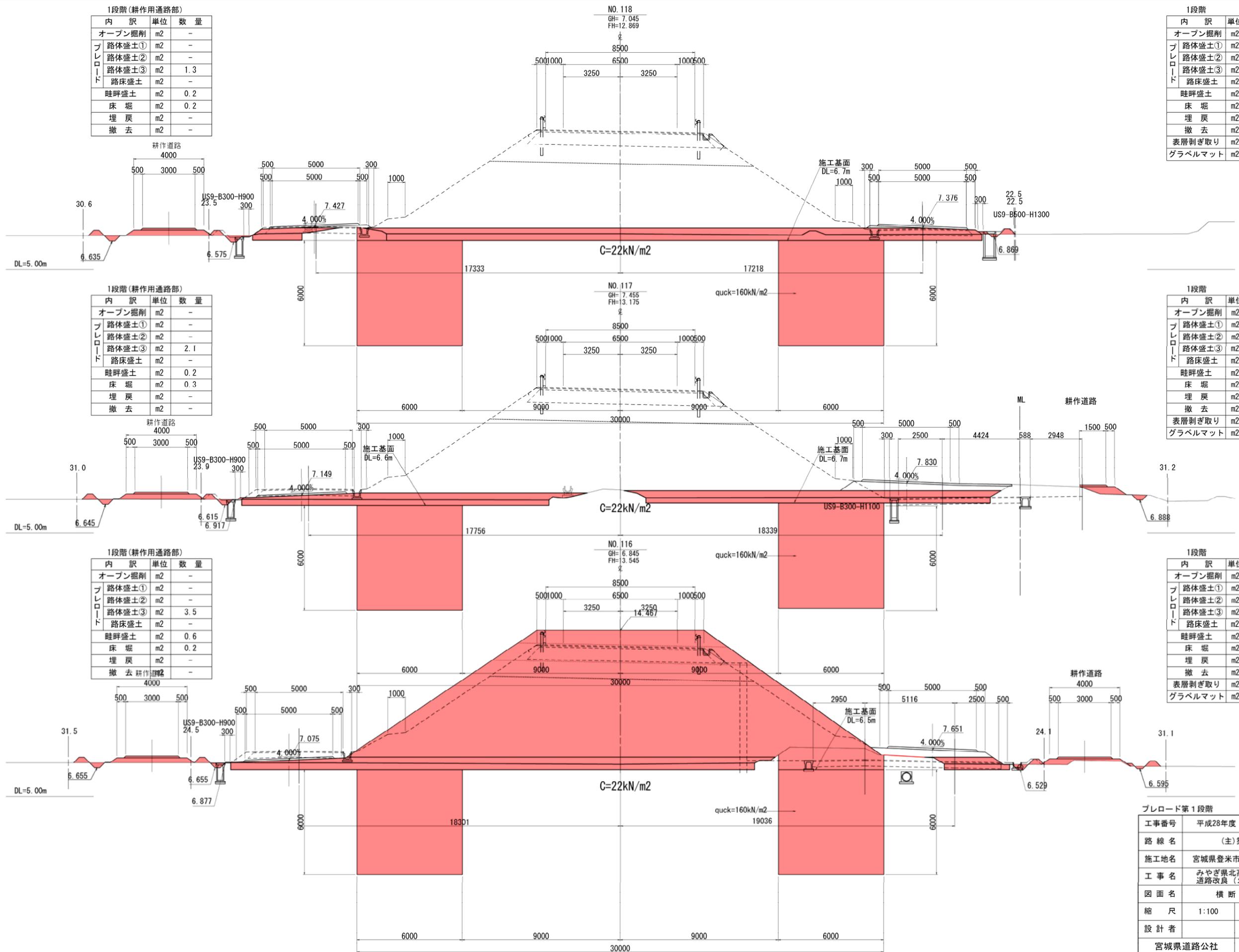
内 訳	単位	数 量
オープン掘削	m2	0.2
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	3.5
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.2
床 堀	m2	-
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-
表層剥ぎ取り	m2	11.9
グラベルマット	m2	25.7

1段階(耕作用通路部)

内 訳	単位	数 量
オープン掘削	m2	-
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	3.5
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.6
床 堀	m2	0.2
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-

1段階

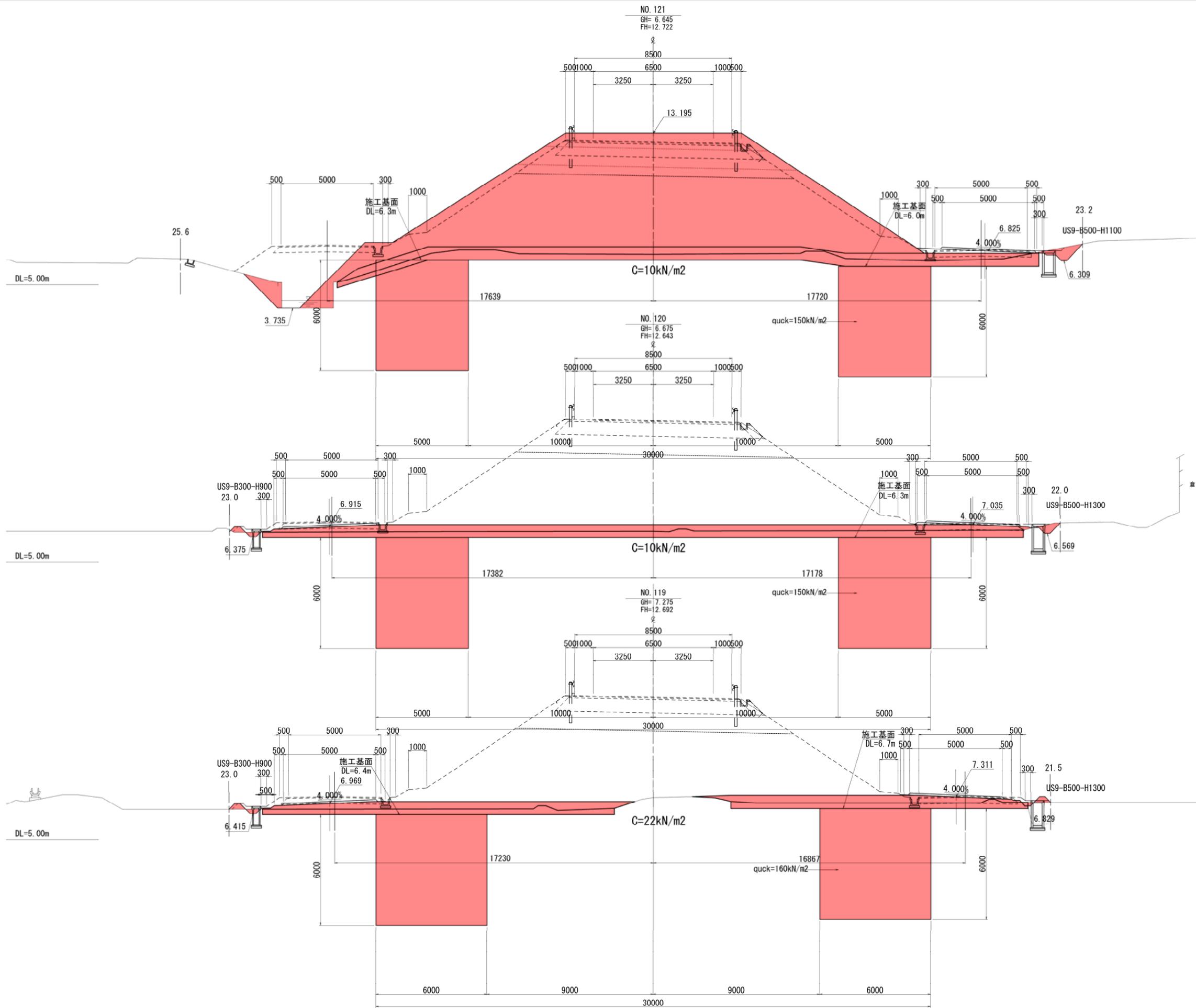
内 訳	単位	数 量
オープン掘削	m2	0.4
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	9.0
路体盛土③	m2	122.2
路床盛土	m2	13.4
畦畔盛土	m2	0.4
床 堀	m2	-
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	13.9
表層剥ぎ取り	m2	11.5
グラベルマット	m2	22.5



仕様書

プレロード第1段階

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	横断面(7/19)		
縮 尺	1:100	位置	
設 計 者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	15 / 64



1段階

内 訳	単 位	数 量
オープン掘削	m2	2.3
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	9.0
路体盛土③	m2	102.3
路床盛土	m2	13.7
畦畔盛土	m2	-
床 堀	m2	-
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	13.8
表層剥ぎ取り	m2	14.0
グラベルマット	m2	26.3

1段階

内 訳	単 位	数 量
オープン掘削	m2	0.5
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	0.3
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.2
床 堀	m2	-
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-
表層剥ぎ取り	m2	14.6
グラベルマット	m2	27.7

1段階

内 訳	単 位	数 量
オープン掘削	m2	0.2
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	0.2
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.4
床 堀	m2	-
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-
表層剥ぎ取り	m2	11.0
グラベルマット	m2	23.4

仕様書

プレロード第1段階

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	横断図(8/19)		
縮 尺	1:100	位置	
設 計 者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	16 / 64	

1段階(耕作用通路部)

内 訳	単位	数 量
オープン掘削	m2	-
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	1.3
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.2
床 堀	m2	0.1
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-

1段階

内 訳	単位	数 量
オープン掘削	m2	0.4
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	34.8
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.2
床 堀	m2	0.3
埋 戻	m2	0.2
撤 去	m2	-
表層剥ぎ取り	m2	16.0
グラベルマット	m2	31.4

1段階(耕作用通路部)

内 訳	単位	数 量
オープン掘削	m2	-
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	2.6
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.4
床 堀	m2	0.1
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-

1段階

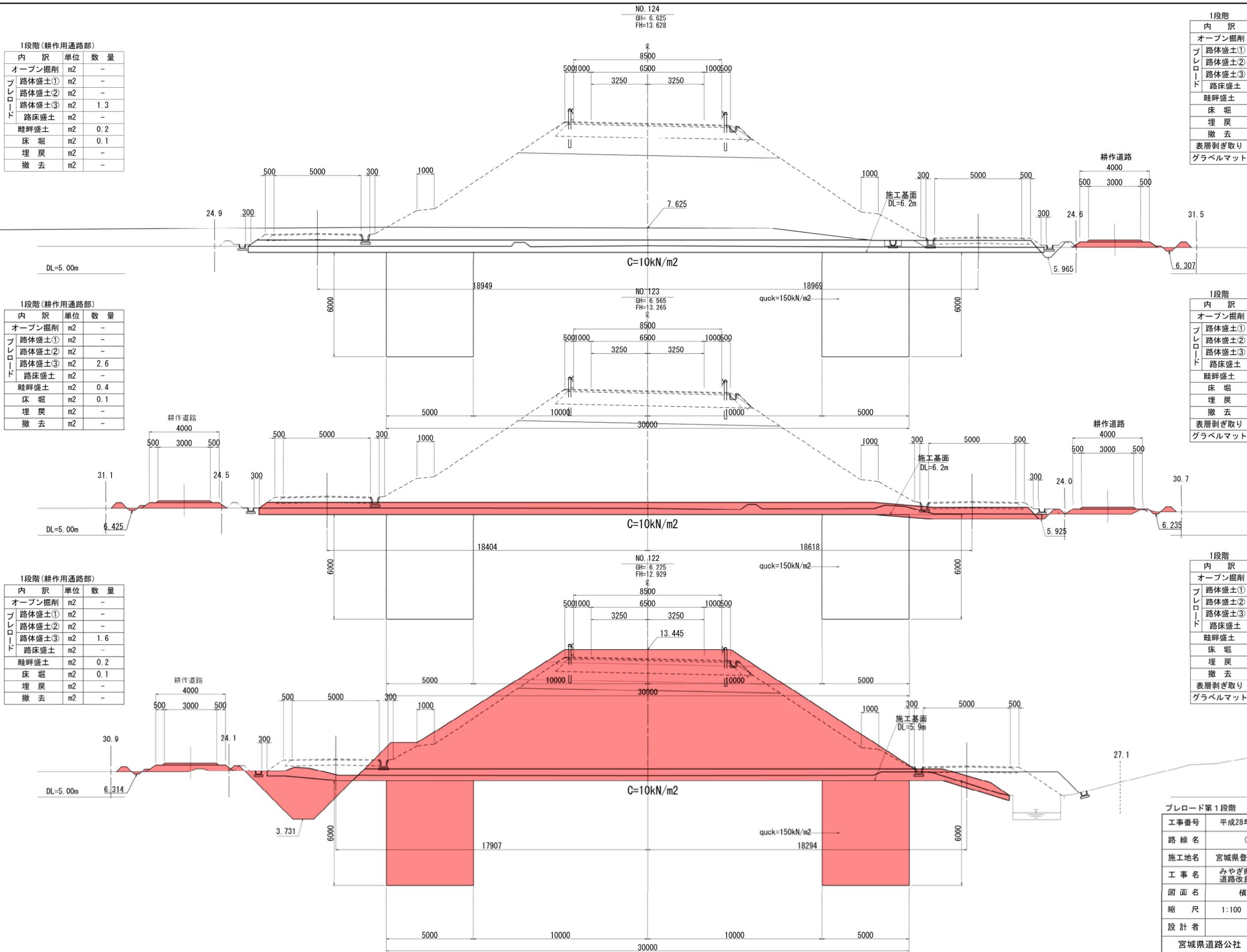
内 訳	単位	数 量
オープン掘削	m2	0.1
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	-
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.2
床 堀	m2	-
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-
表層剥ぎ取り	m2	17.0
グラベルマット	m2	31.0

1段階(耕作用通路部)

内 訳	単位	数 量
オープン掘削	m2	-
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	1.6
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.2
床 堀	m2	0.1
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	-

1段階

内 訳	単位	数 量
オープン掘削	m2	8.8
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	9.1
路体盛土③	m2	126.7
路床盛土	m2	13.7
畦畔盛土	m2	0.2
床 堀	m2	-
埋 戻	m2	-
撤 去	m2	14.8
表層剥ぎ取り	m2	14.2
グラベルマット	m2	25.9



仕様書

プレロード第1段階

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	横断面(9/19)		
縮 尺	1:100	位置	
設 計 者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	17 / 64

NO. 127
GH=7.185
FH=13.928

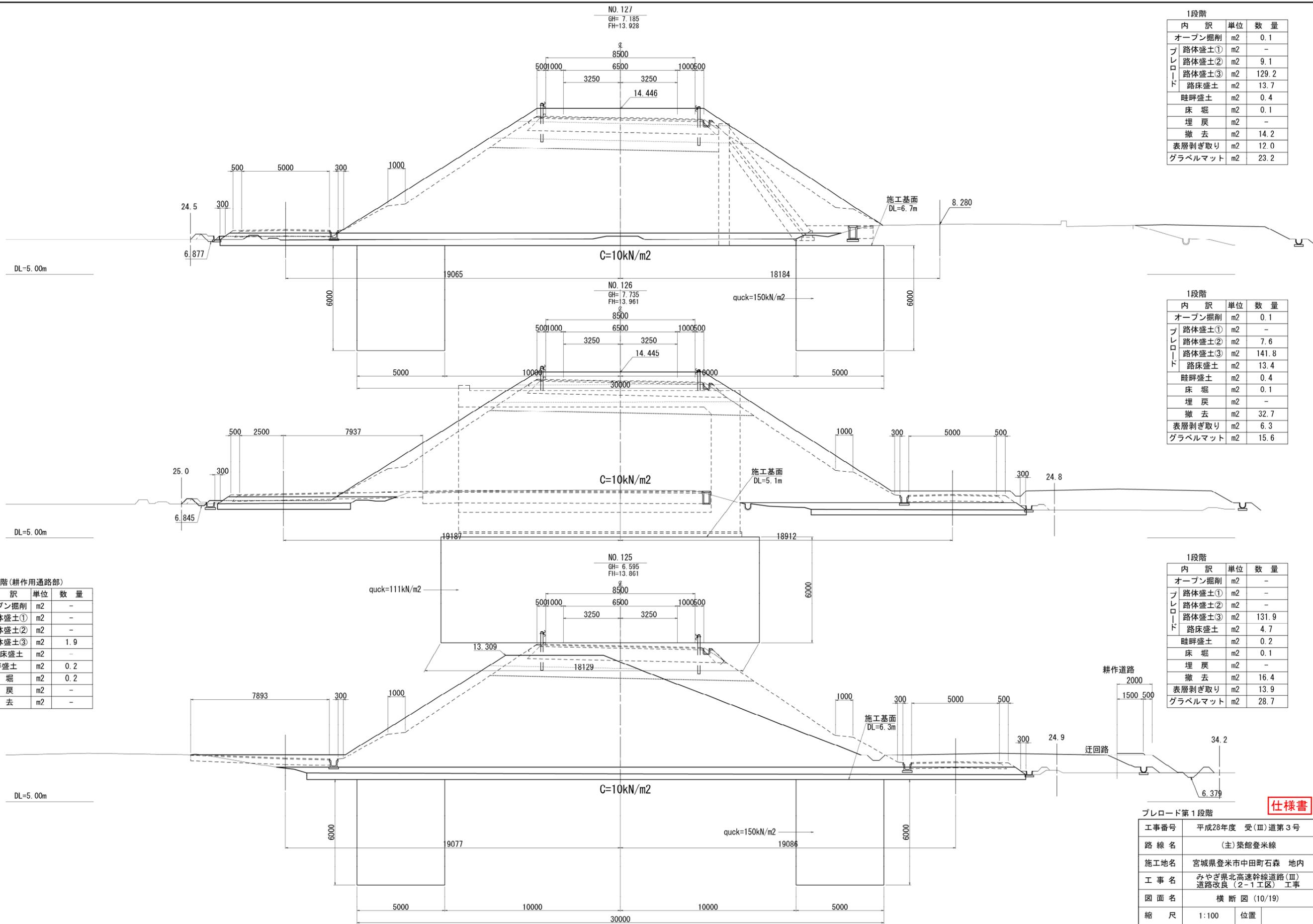
1段階			
内 訳	単 位	数 量	
オープン掘削	m2	0.1	
ブ レ ロ ー ド	路体盛土①	m2	-
	路体盛土②	m2	9.1
	路体盛土③	m2	129.2
	路床盛土	m2	13.7
畦畔盛土	m2	0.4	
床 堀	m2	0.1	
埋 戻	m2	-	
撤 去	m2	14.2	
表層剥ぎ取り	m2	12.0	
グラベルマット	m2	23.2	

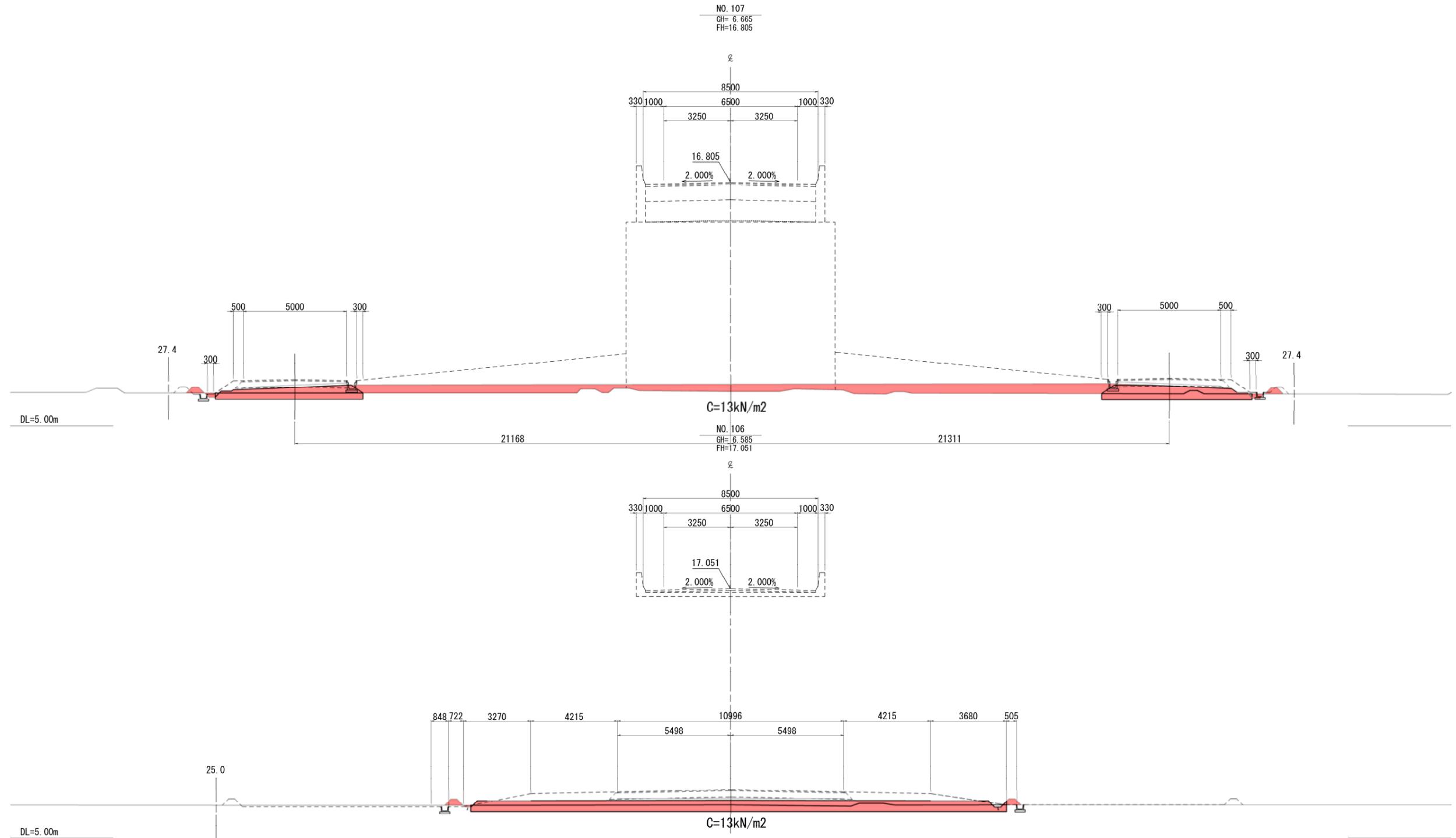
1段階			
内 訳	単 位	数 量	
オープン掘削	m2	0.1	
ブ レ ロ ー ド	路体盛土①	m2	-
	路体盛土②	m2	7.6
	路体盛土③	m2	141.8
	路床盛土	m2	13.4
畦畔盛土	m2	0.4	
床 堀	m2	0.1	
埋 戻	m2	-	
撤 去	m2	32.7	
表層剥ぎ取り	m2	6.3	
グラベルマット	m2	15.6	

1段階			
内 訳	単 位	数 量	
オープン掘削	m2	-	
ブ レ ロ ー ド	路体盛土①	m2	-
	路体盛土②	m2	-
	路体盛土③	m2	131.9
	路床盛土	m2	4.7
畦畔盛土	m2	0.2	
床 堀	m2	0.1	
埋 戻	m2	-	
撤 去	m2	16.4	
表層剥ぎ取り	m2	13.9	
グラベルマット	m2	28.7	

1段階(耕作用通路部)			
内 訳	単 位	数 量	
オープン掘削	m2	-	
ブ レ ロ ー ド	路体盛土①	m2	-
	路体盛土②	m2	-
	路体盛土③	m2	1.9
	路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.2	
床 堀	m2	0.2	
埋 戻	m2	-	
撤 去	m2	-	

仕様書			
ブレロード第1段階			
工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	横断面(10/19)		
縮 尺	1:100	位置	
設 計 者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	18 / 64

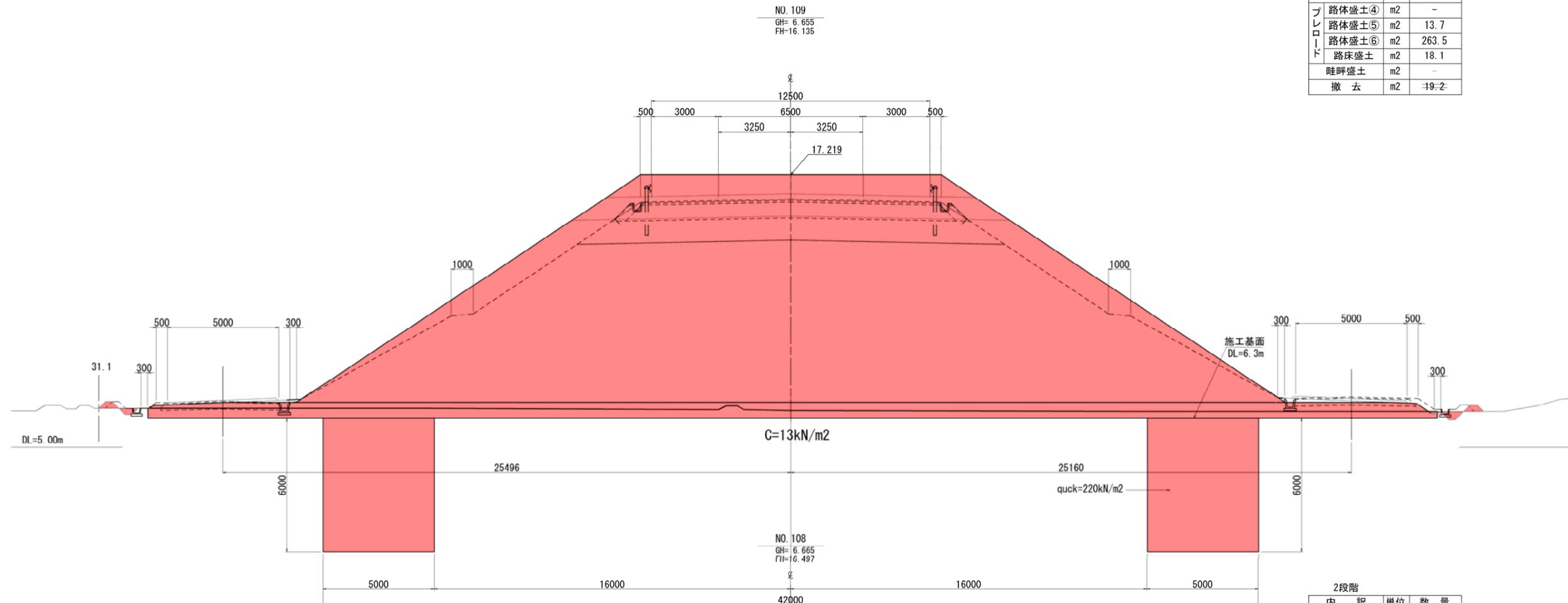




プレロード第2段階

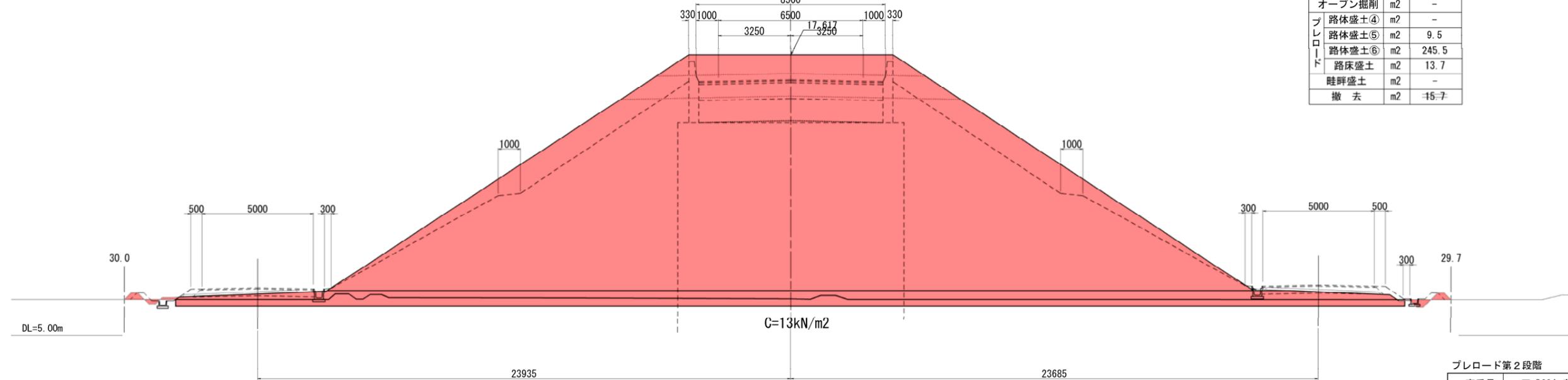
仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	横断面(1/19)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	19 / 64	



2段階

内訳	単位	数量
オープン掘削	m ²	-
路体盛土④	m ²	-
路体盛土⑤	m ²	13.7
路体盛土⑥	m ²	263.5
路床盛土	m ²	18.1
畦畔盛土	m ²	-
撤去	m ²	-19.2



2段階

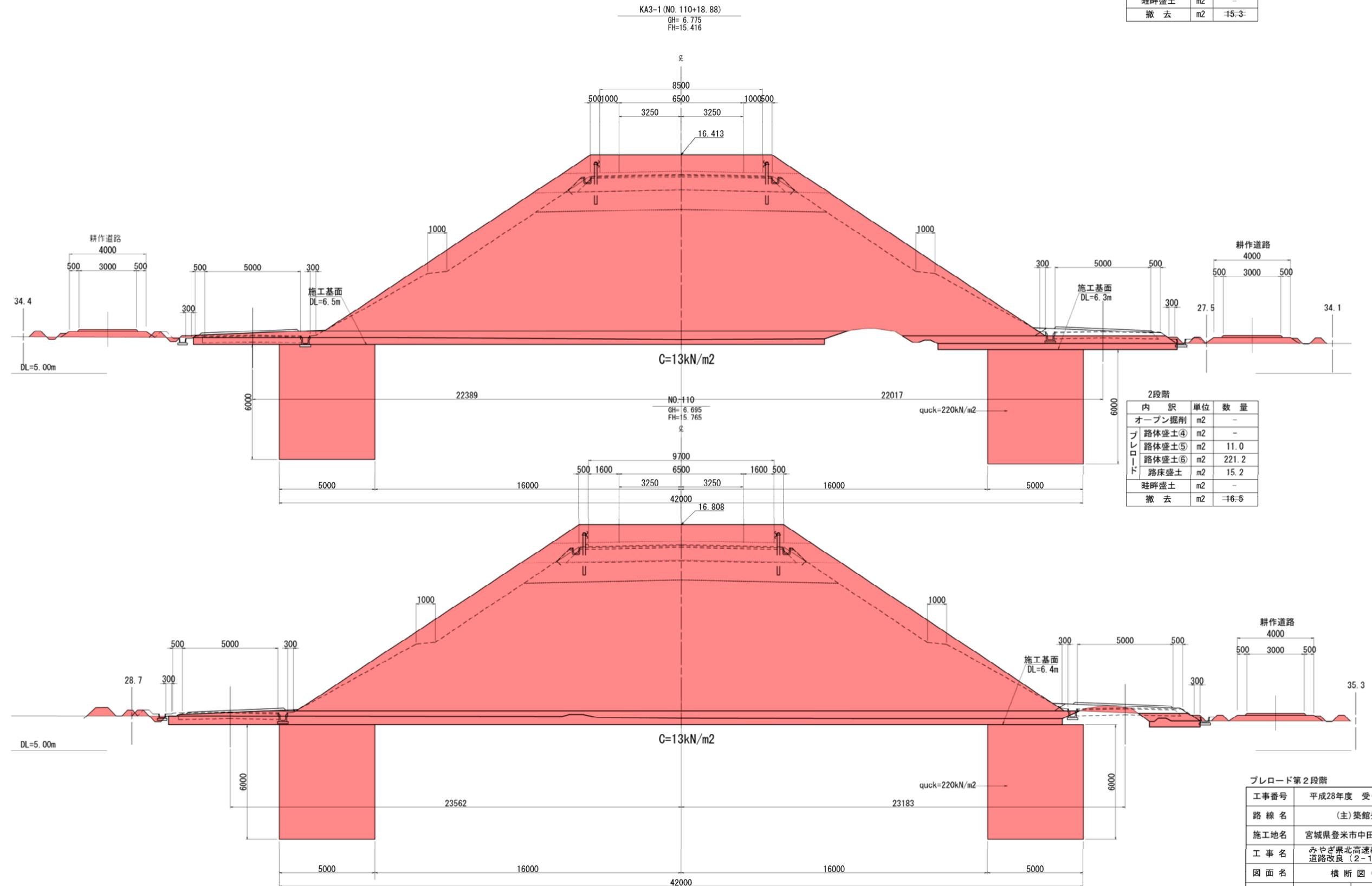
内訳	単位	数量
オープン掘削	m ²	-
路体盛土④	m ²	-
路体盛土⑤	m ²	9.5
路体盛土⑥	m ²	245.5
路床盛土	m ²	13.7
畦畔盛土	m ²	-
撤去	m ²	-15.7

プレロード第2段階

仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	横断面(2/19)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	20 / 64	

2段階		
内訳	単位	数量
オープン掘削	m ²	-
路体盛土④	m ²	-
路体盛土⑤	m ²	9.8
路体盛土⑥	m ²	193.4
路床盛土	m ²	14.0
畦畔盛土	m ²	-
撤去	m ²	-15.3



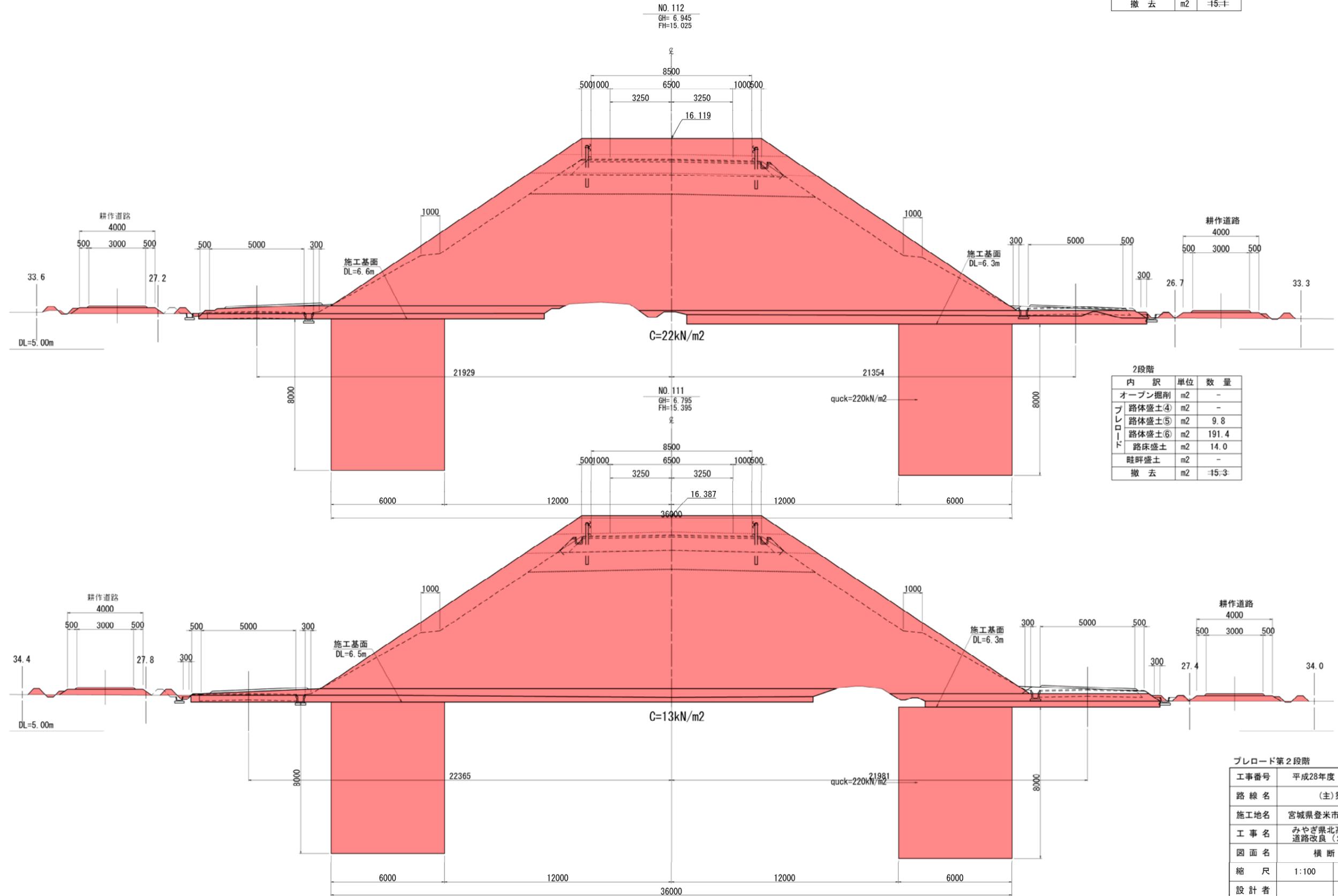
2段階		
内訳	単位	数量
オープン掘削	m ²	-
路体盛土④	m ²	-
路体盛土⑤	m ²	11.0
路体盛土⑥	m ²	221.2
路床盛土	m ²	15.2
畦畔盛土	m ²	-
撤去	m ²	-16.5

仕様書

ブレロード第2段階			
工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	横断面(3/19)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	21 / 64

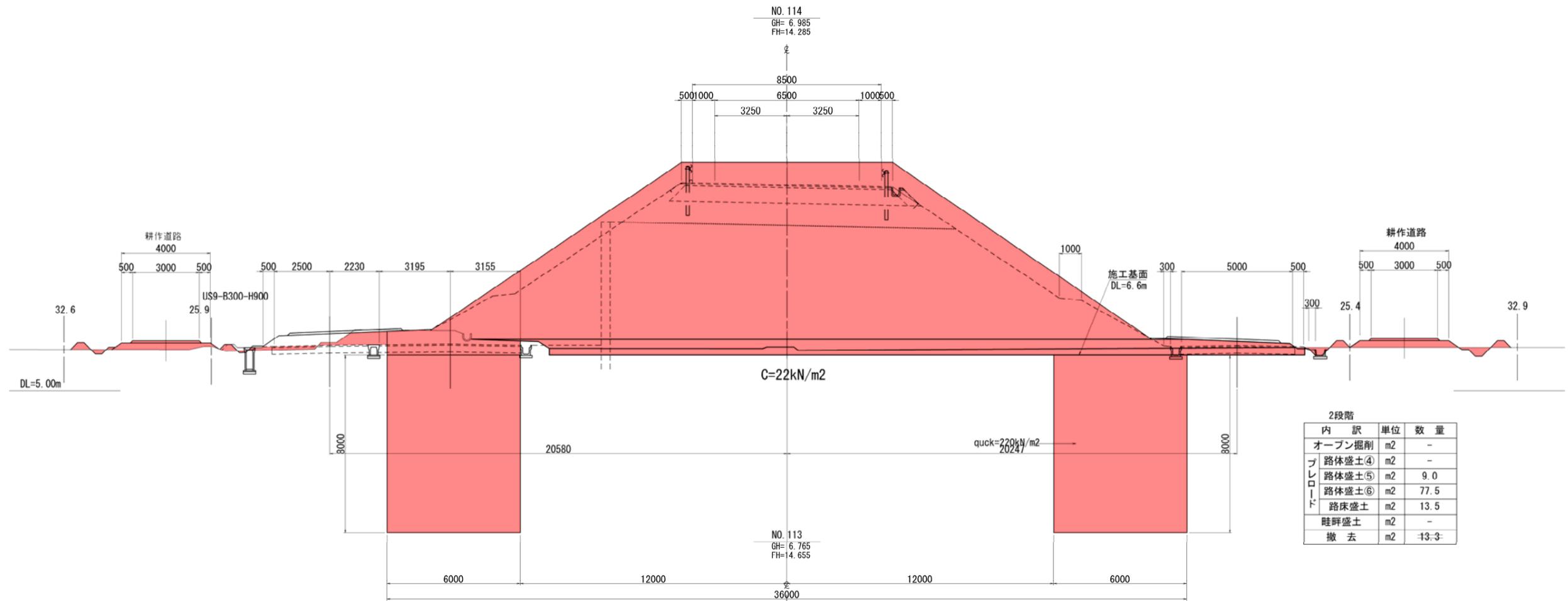
2段階		
内訳	単位	数量
オープン掘削	m ²	-
路体盛土④	m ²	-
路体盛土⑤	m ²	9.4
路体盛土⑥	m ²	182.6
路床盛土	m ²	13.7
畦畔盛土	m ²	-
撤去	m ²	15.1

2段階		
内訳	単位	数量
オープン掘削	m ²	-
路体盛土④	m ²	-
路体盛土⑤	m ²	9.8
路体盛土⑥	m ²	191.4
路床盛土	m ²	14.0
畦畔盛土	m ²	-
撤去	m ²	15.3



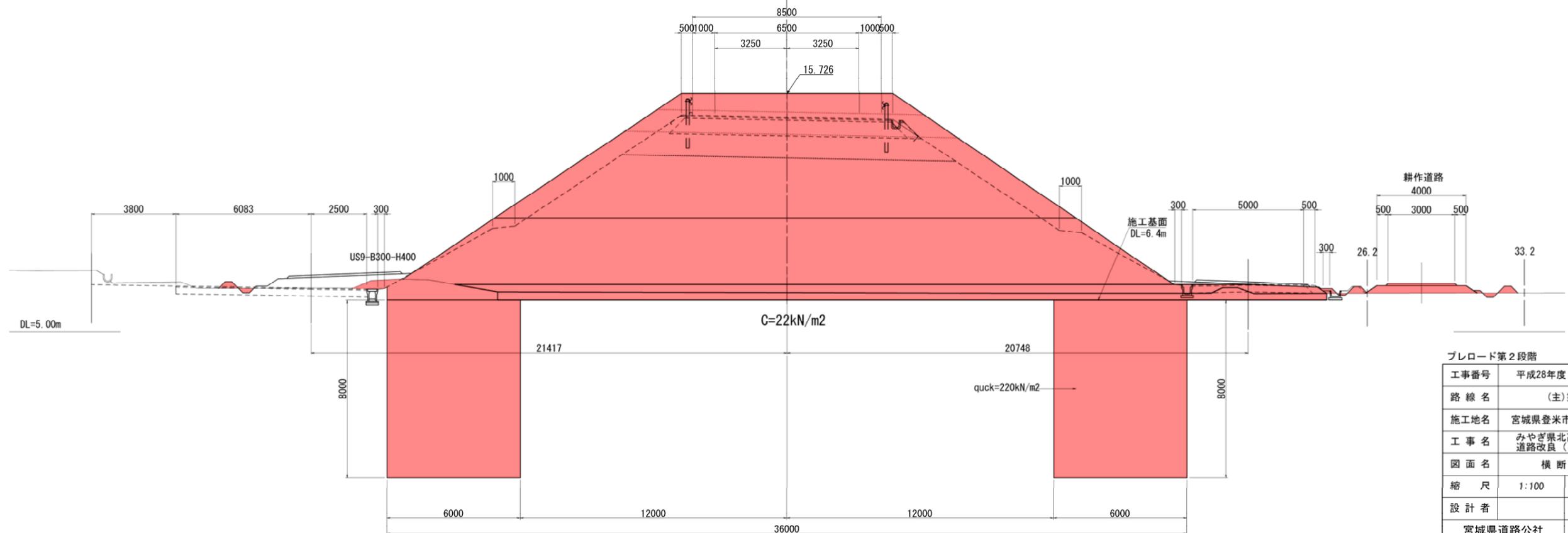
仕様書

ブレロード第2段階			
工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	横断面(4/19)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	22 / 64



2段階

内訳	単位	数量
オープン掘削	m2	-
路体盛土④	m2	-
路体盛土⑤	m2	9.0
路体盛土⑥	m2	77.5
路床盛土	m2	13.5
畦畔盛土	m2	-
撤去	m2	-13.3

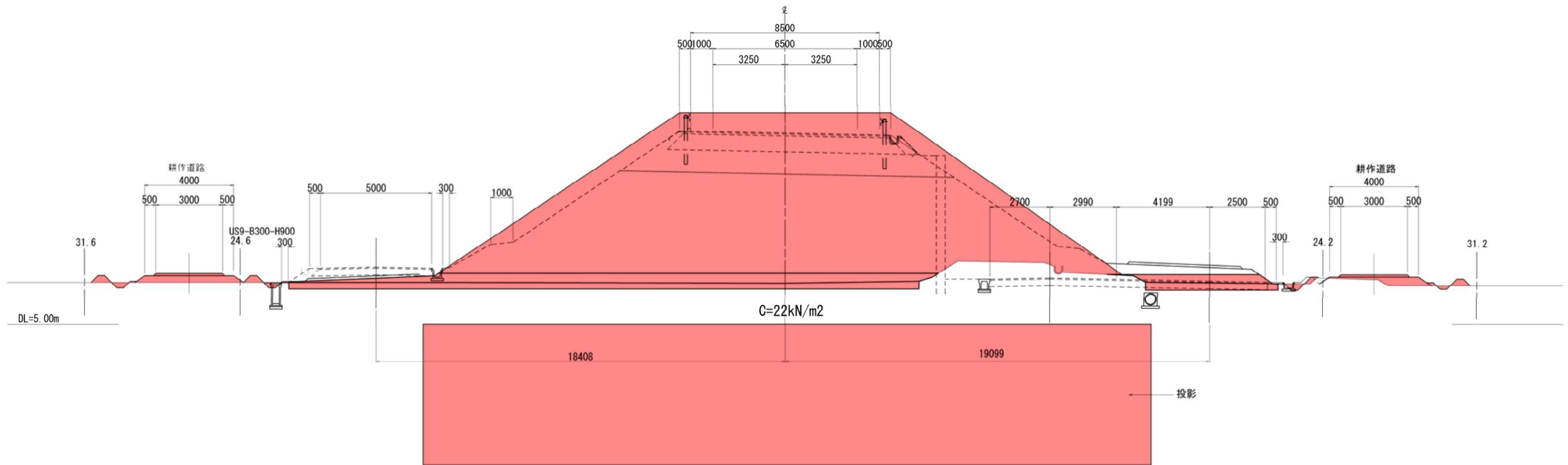


プレロード第2段階

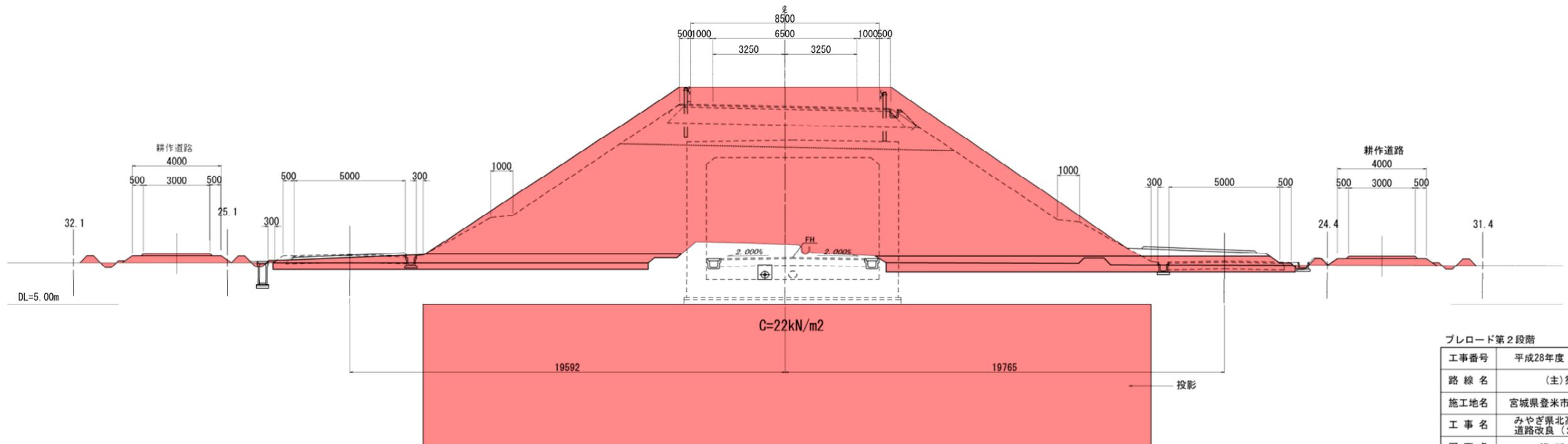
仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	横断面図(5/19)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	23 / 64

KE3-1 (NO. 115+16.88)
 GH=6.865
 FH=13.603

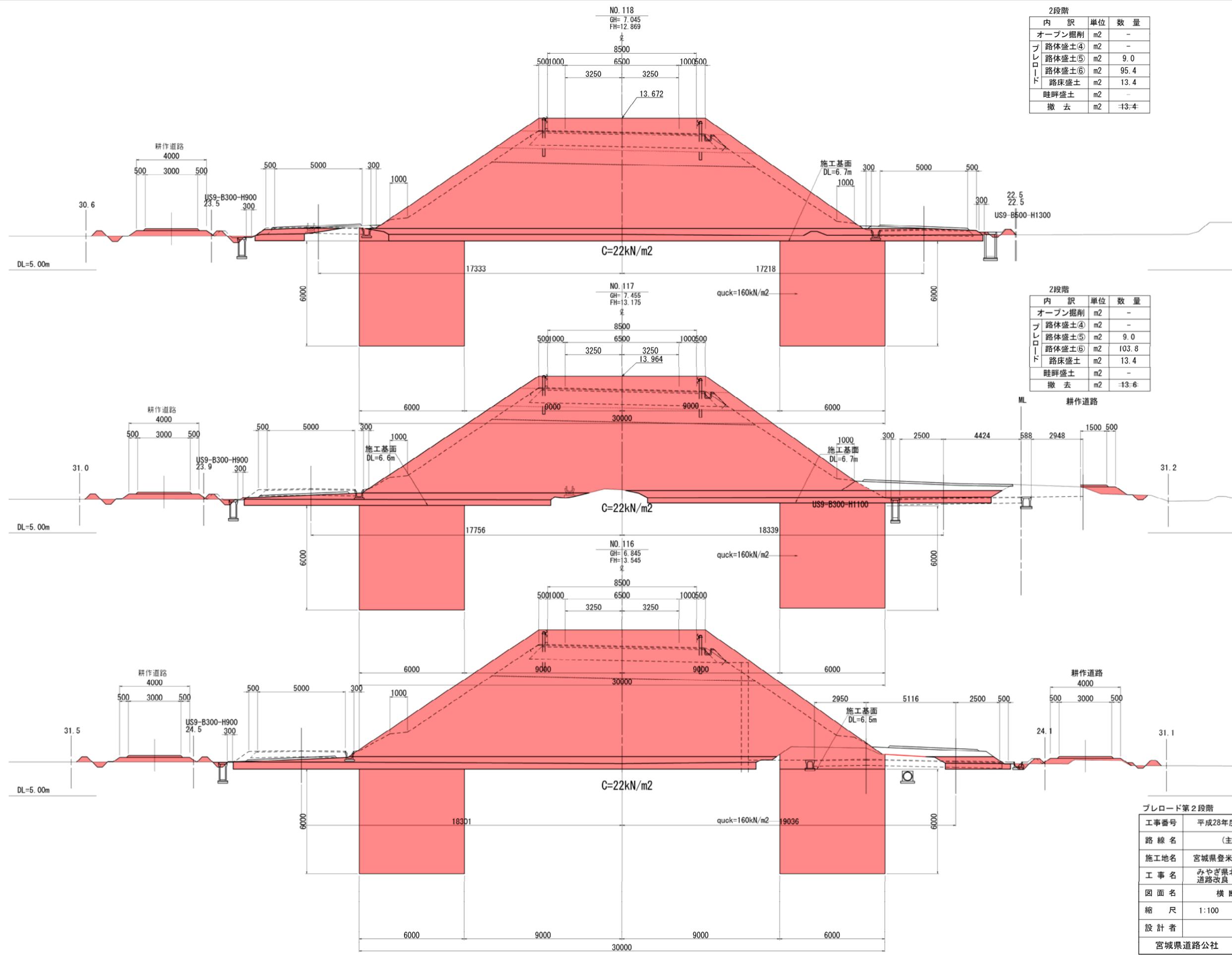


NO. 115
 GH=7.695
 FH=13.915



仕様書

プレロード第2段階			
工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	横断図(6/19)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	24 / 64	



2段階

内 訳	単 位	数 量
オープン掘削	m2	-
路体盛土④	m2	-
路体盛土⑤	m2	9.0
路体盛土⑥	m2	95.4
路床盛土	m2	13.4
畦畔盛土	m2	-
撤 去	m2	-13.4

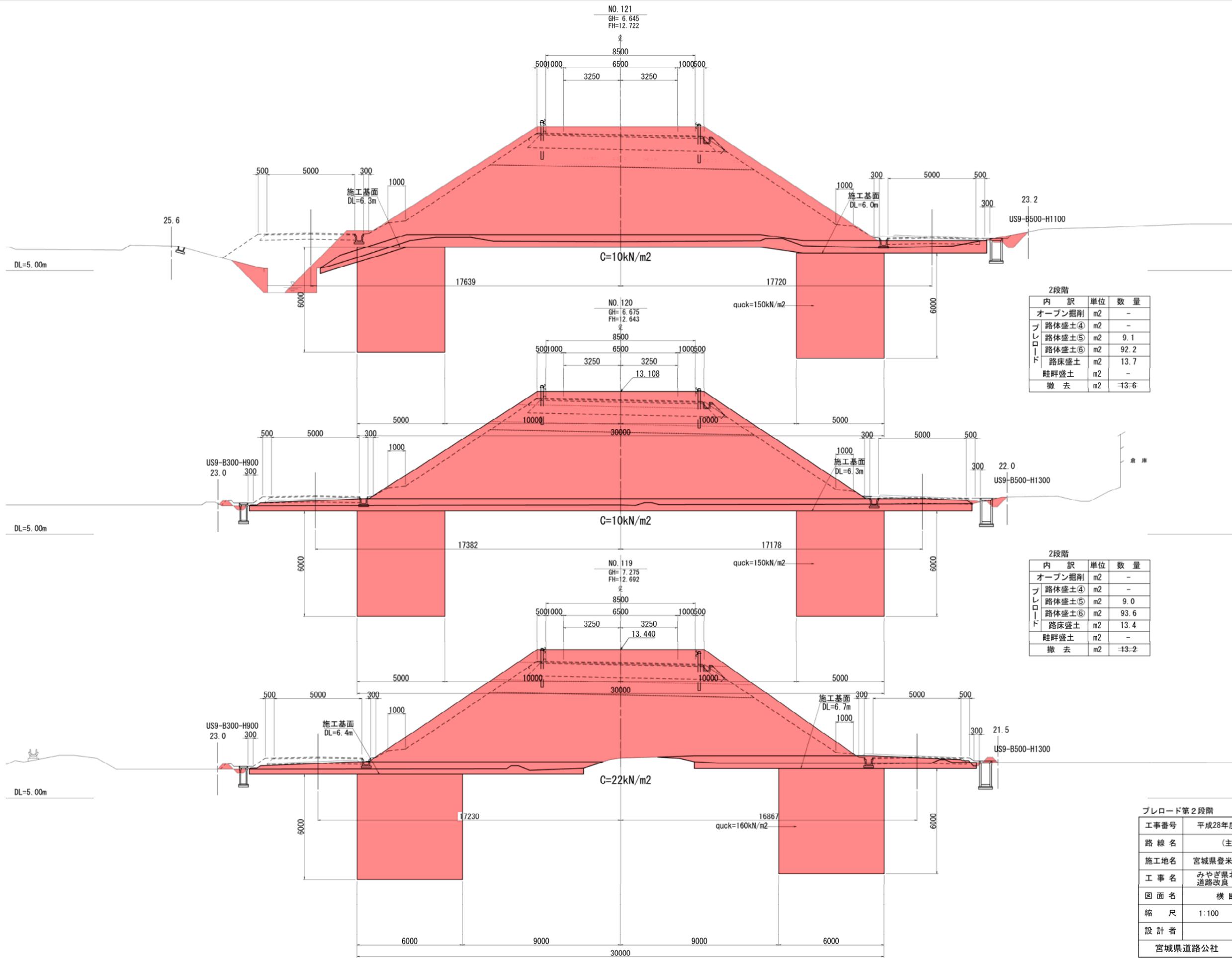
2段階

内 訳	単 位	数 量
オープン掘削	m2	-
路体盛土④	m2	-
路体盛土⑤	m2	9.0
路体盛土⑥	m2	103.8
路床盛土	m2	13.4
畦畔盛土	m2	-
撤 去	m2	-13.6

仕様書

プレロード第2段階

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	横断図(7/19)		
縮 尺	1:100	位置	
設 計 者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	25 / 64



仕様書

プレロード第2段階

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	横断面図(8/19)		
縮 尺	1:100	位置	
設 計 者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	26 / 64

2段階(耕作通路部)

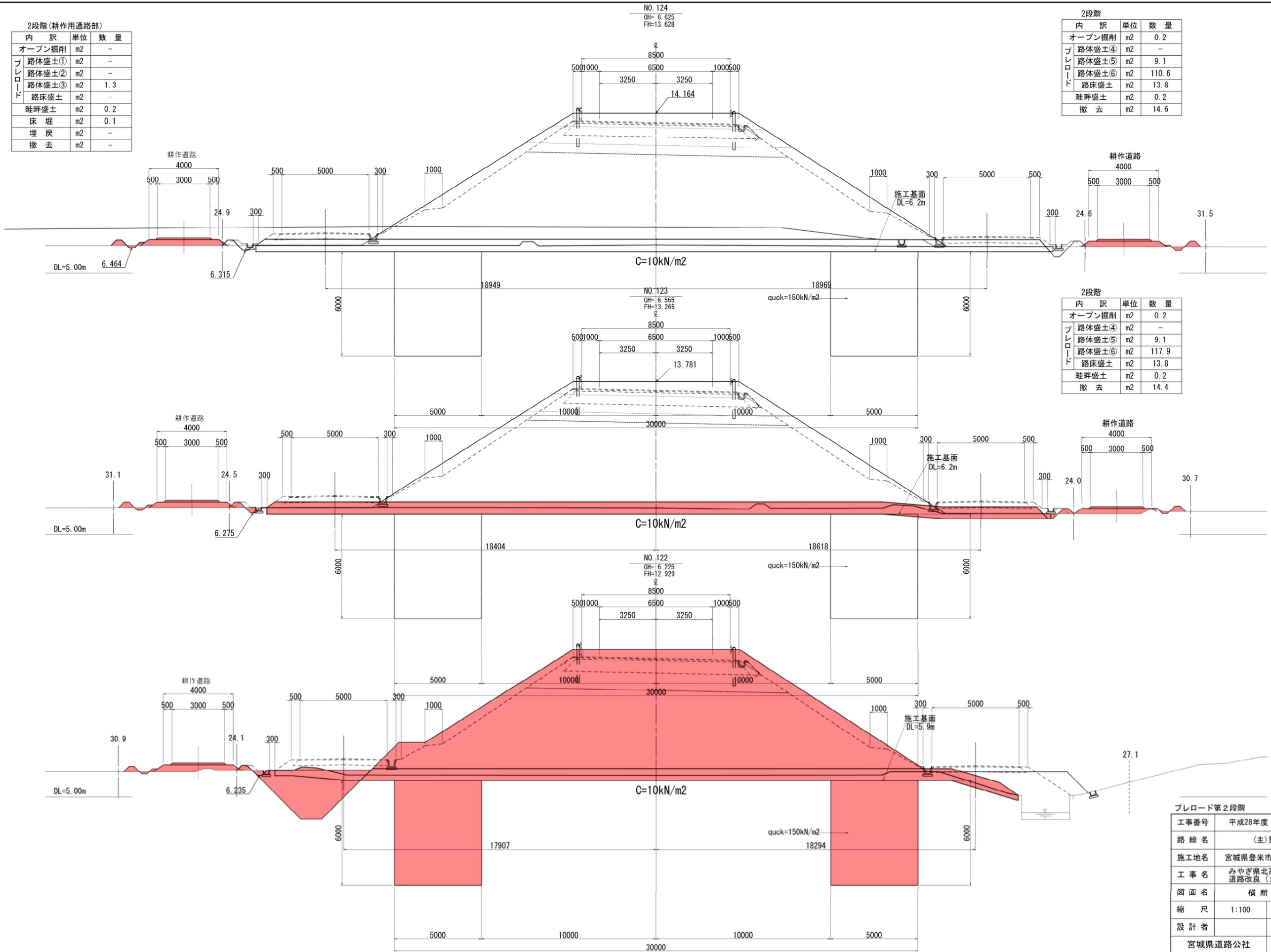
内訳	単位	数量
オープン掘削	m ²	-
路体盛土①	m ²	-
路体盛土②	m ²	-
路体盛土③	m ²	1.3
路床盛土	m ²	-
畦畔盛土	m ²	0.2
床堀	m ²	0.1
埋戻	m ²	-
撤去	m ²	-

2段階

内訳	単位	数量
オープン掘削	m ²	0.2
路体盛土④	m ²	-
路体盛土⑤	m ²	9.1
路体盛土⑥	m ²	110.6
路床盛土	m ²	13.8
畦畔盛土	m ²	0.2
撤去	m ²	14.6

2段階

内訳	単位	数量
オープン掘削	m ²	0.2
路体盛土④	m ²	-
路体盛土⑤	m ²	9.1
路体盛土⑥	m ²	117.9
路床盛土	m ²	13.8
畦畔盛土	m ²	0.2
撤去	m ²	14.4



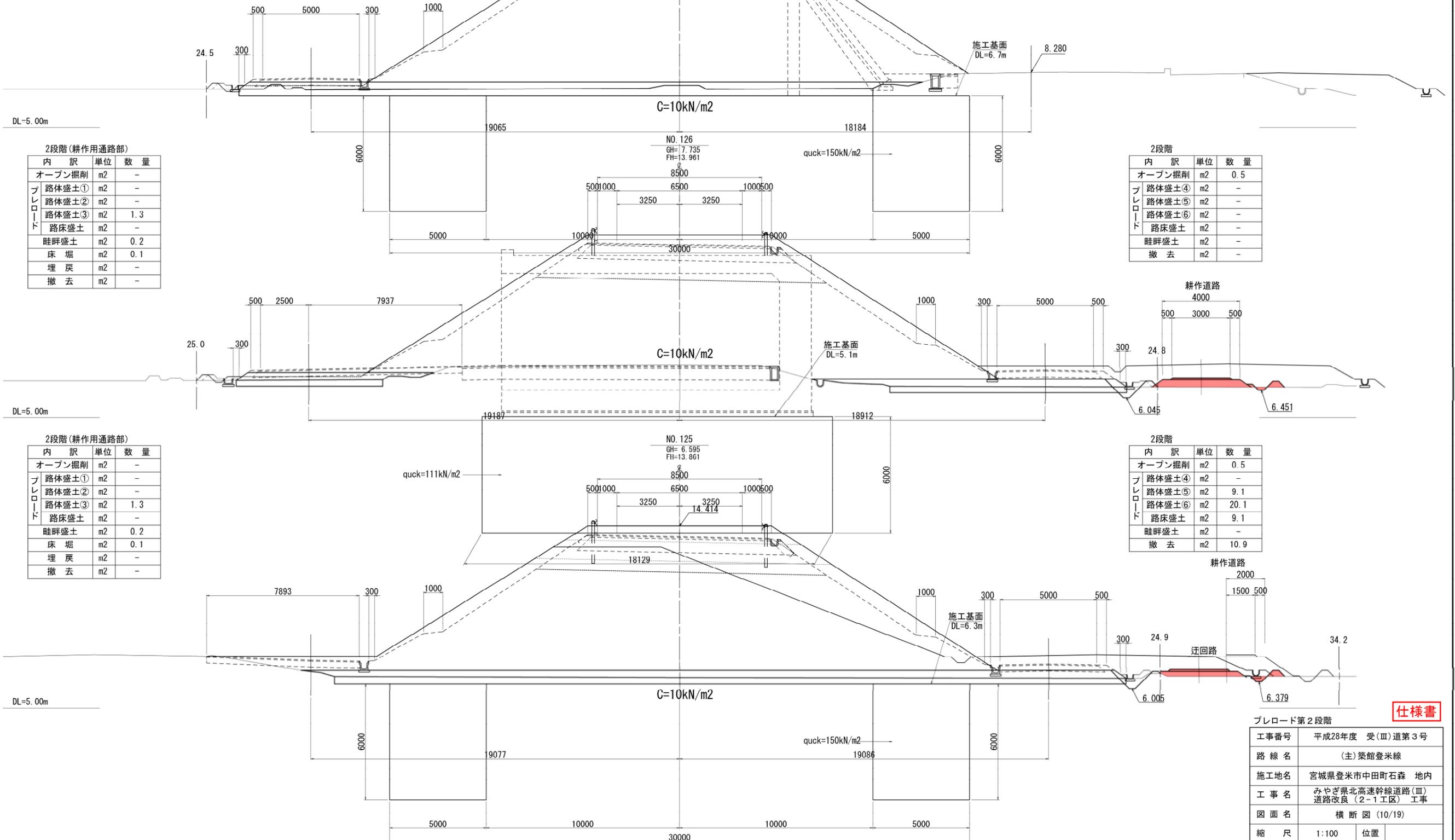
仕様書

ブレロード第2段階

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	横断面(9/19)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	27 / 64

NO. 127
GH= 7.185
FH=13.928

8500
5001000 6500 1000500
3250 3250



2段階(耕作用通路部)

内訳	単位	数量
オープン掘削	m2	-
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	1.3
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.2
床堀	m2	0.1
埋戻	m2	-
撤去	m2	-

2段階

内訳	単位	数量
オープン掘削	m2	0.5
路体盛土④	m2	-
路体盛土⑤	m2	-
路体盛土⑥	m2	-
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	-
撤去	m2	-

2段階(耕作用通路部)

内訳	単位	数量
オープン掘削	m2	-
路体盛土①	m2	-
路体盛土②	m2	-
路体盛土③	m2	1.3
路床盛土	m2	-
畦畔盛土	m2	0.2
床堀	m2	0.1
埋戻	m2	-
撤去	m2	-

2段階

内訳	単位	数量
オープン掘削	m2	0.5
路体盛土④	m2	-
路体盛土⑤	m2	9.1
路体盛土⑥	m2	20.1
路床盛土	m2	9.1
畦畔盛土	m2	-
撤去	m2	10.9

プレロード第2段階

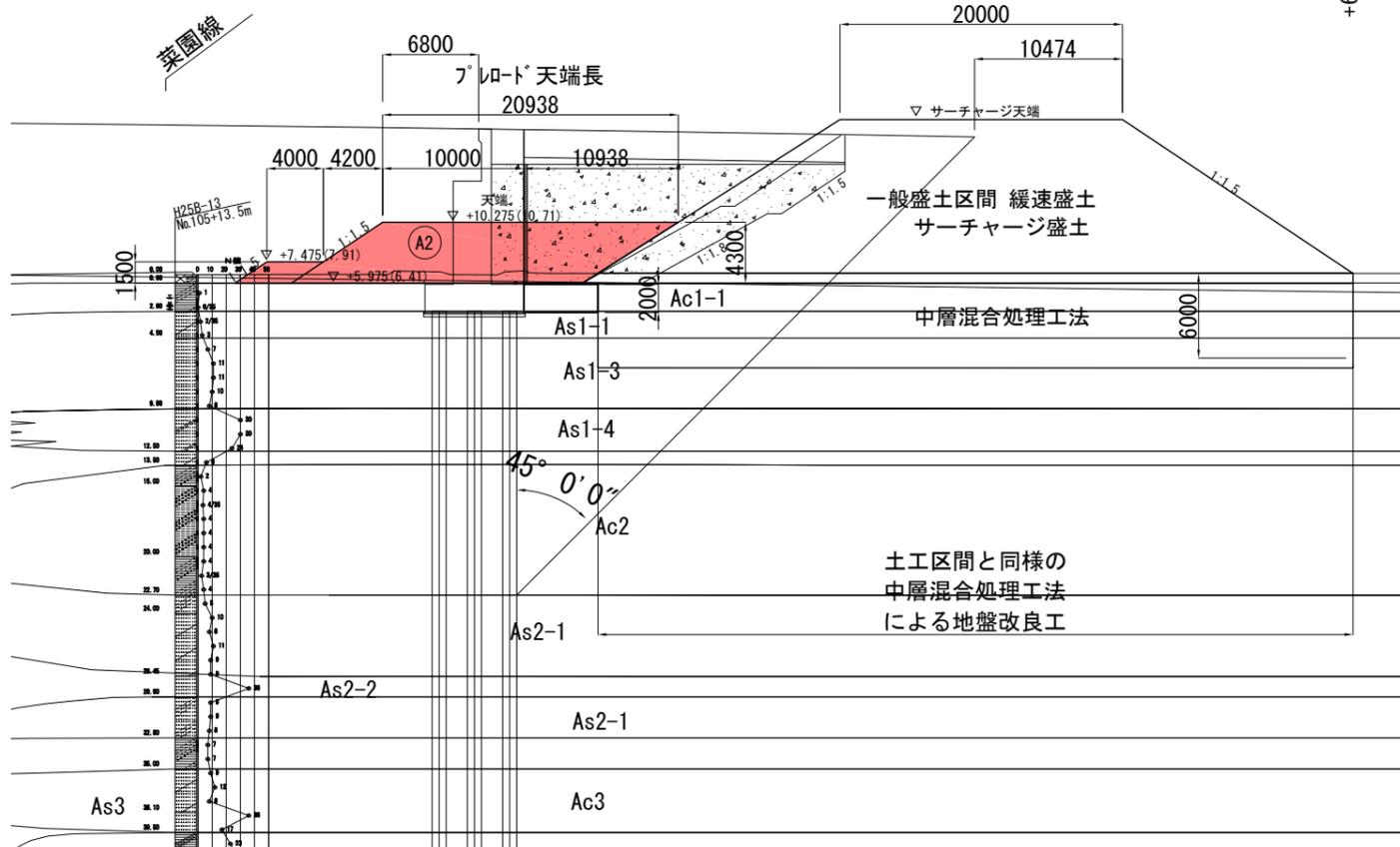
工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	横断面(10/19)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	28 / 64

仕様書

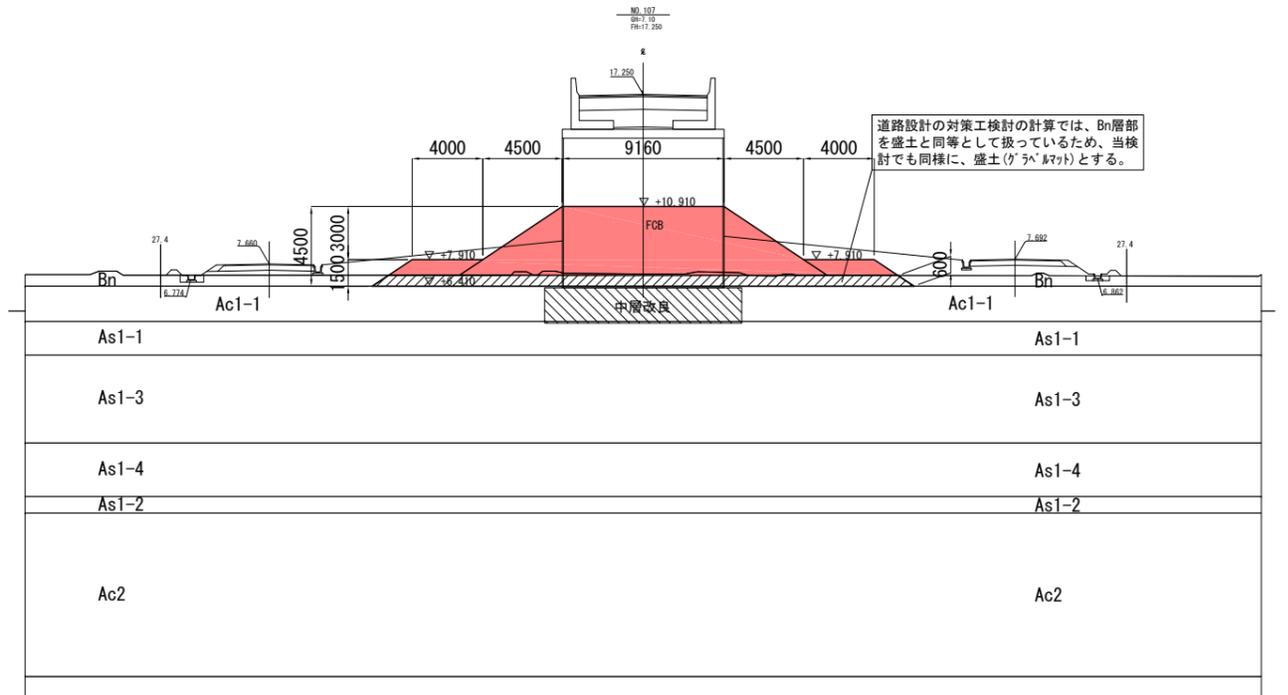
A 2 橋台部 プレロード盛土断面図

縦断図 S=1:250

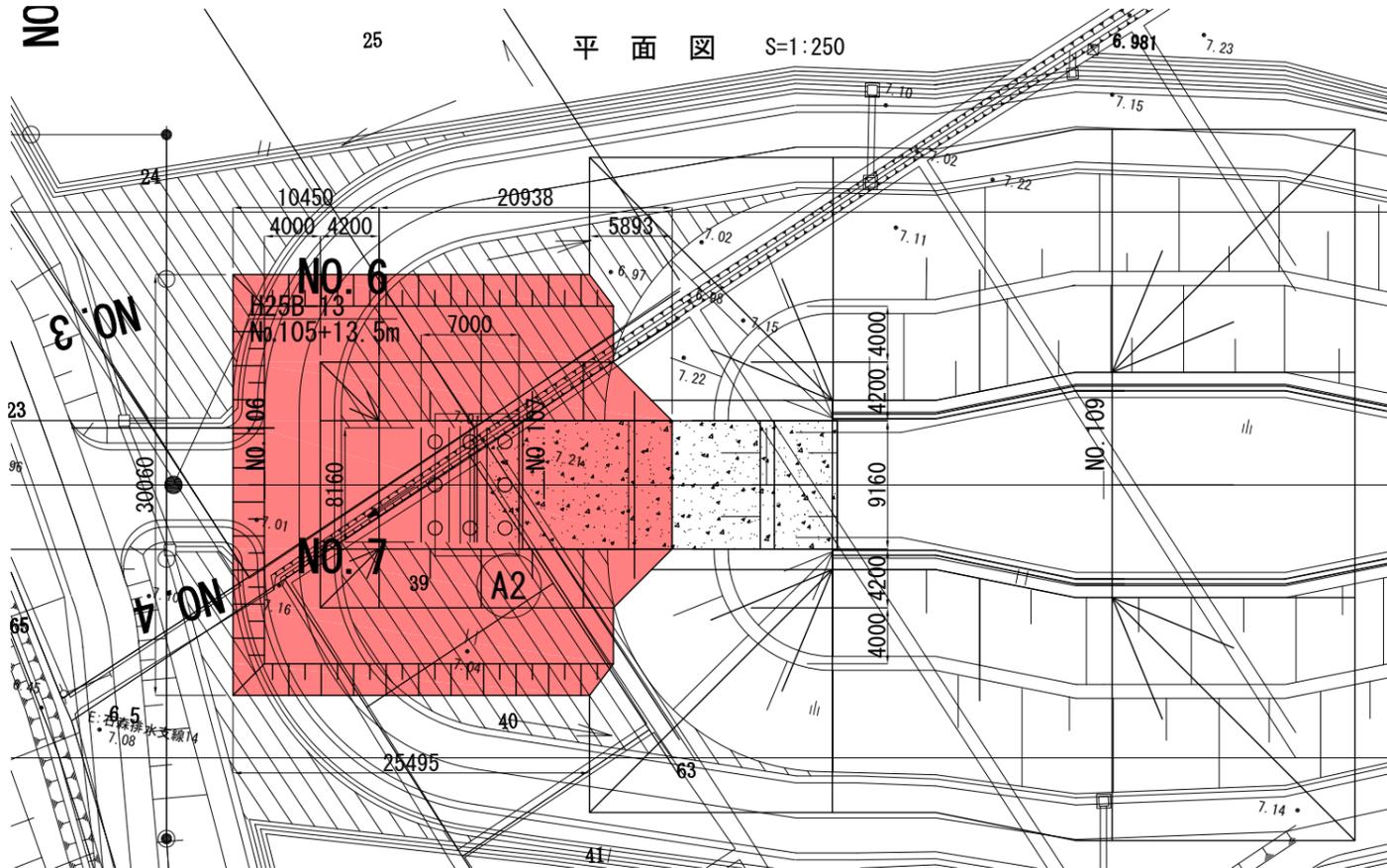
191
+6.66



横断面図 S=1:200



NO 25 平面図 S=1:250



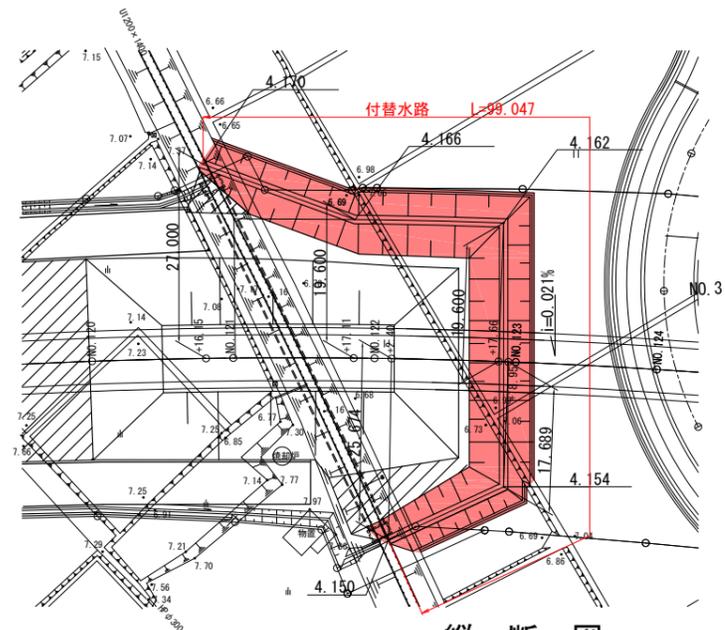
仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	A 2 橋台部 プレロード盛土断面図		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	29 / 64	

切廻し水路工

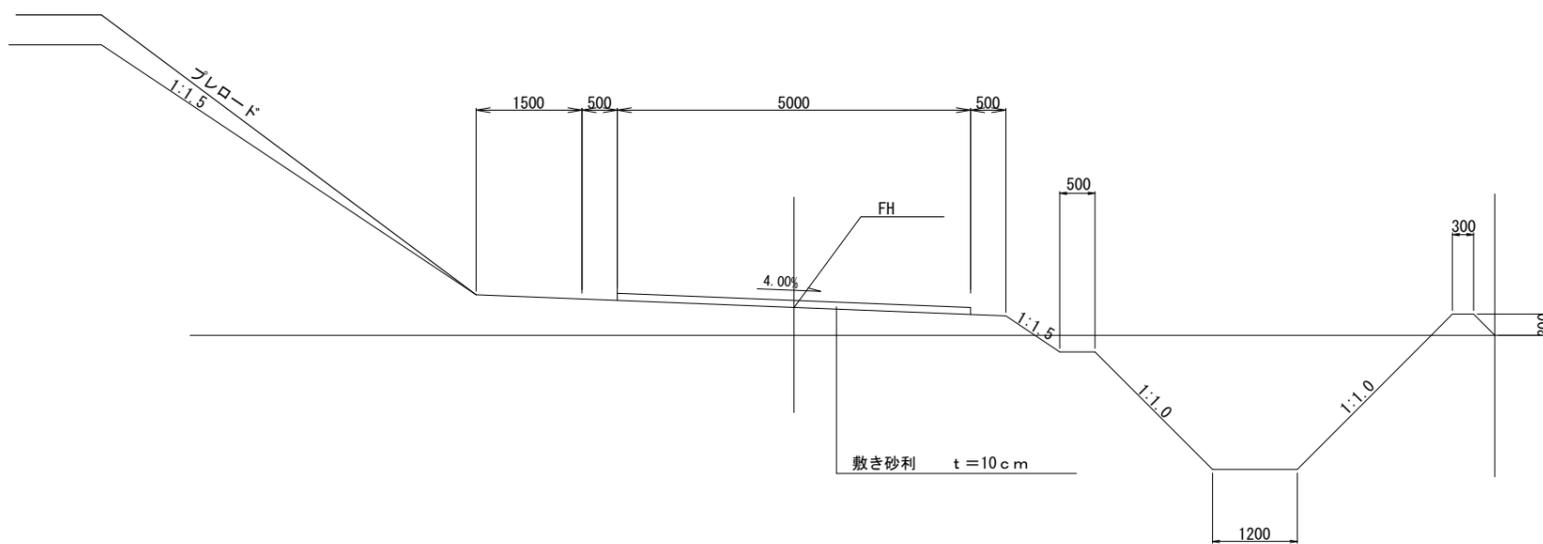
平面図

S=1:500



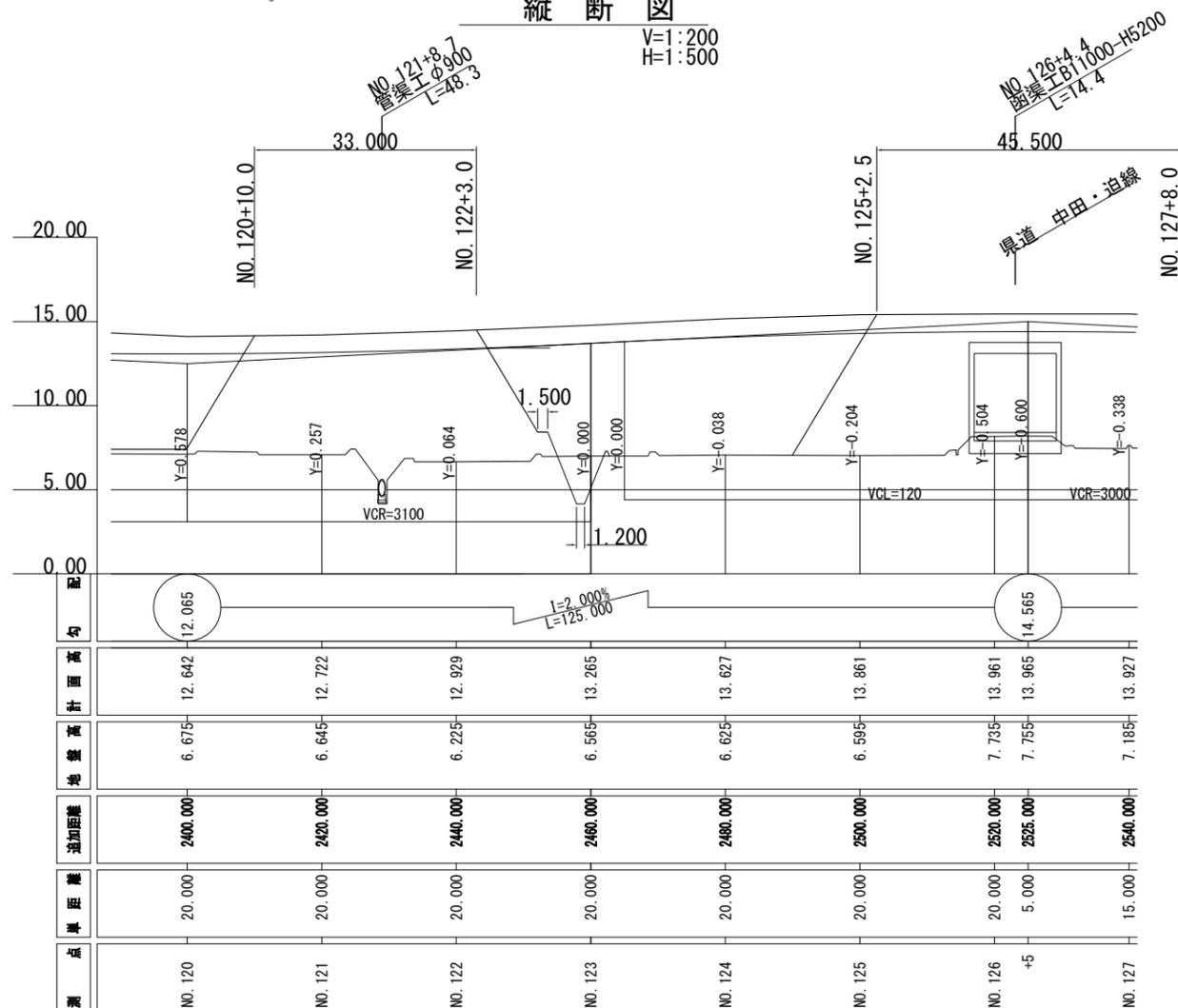
横断図

S=1:50



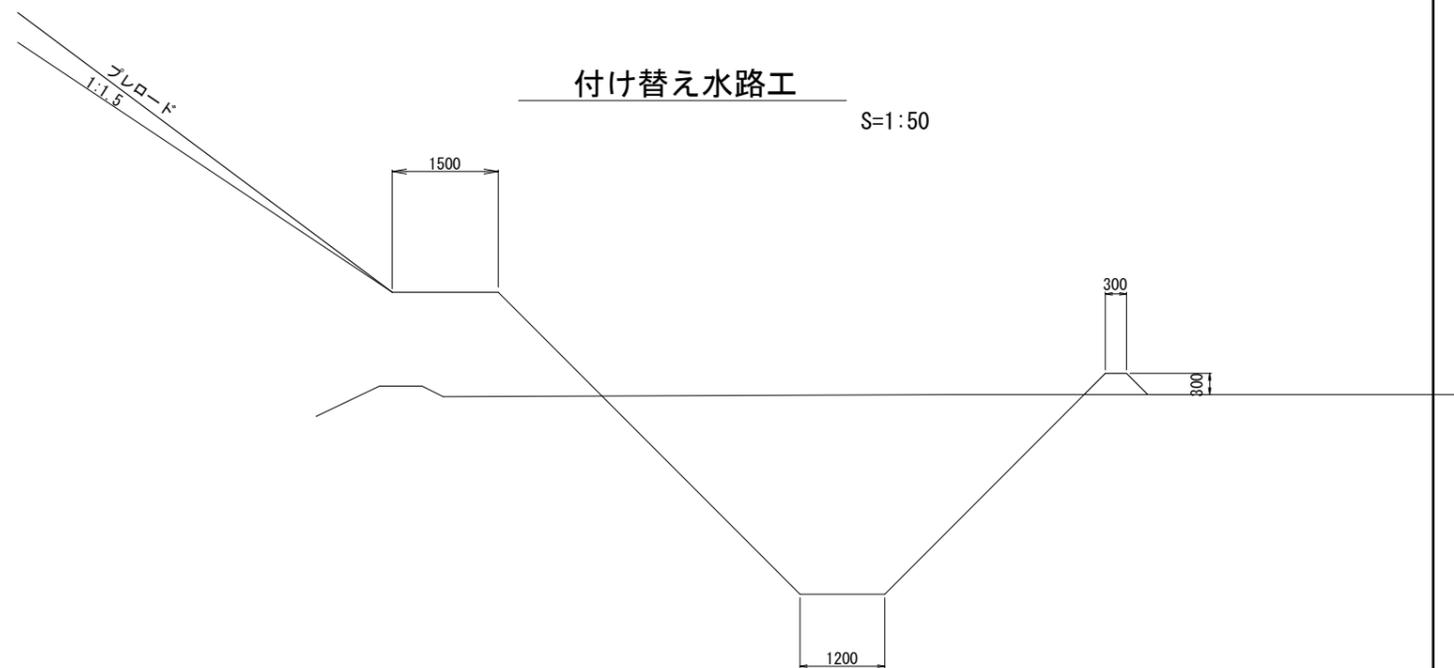
縦断図

V=1:200
H=1:500



付け替え水路工

S=1:50



仕様書

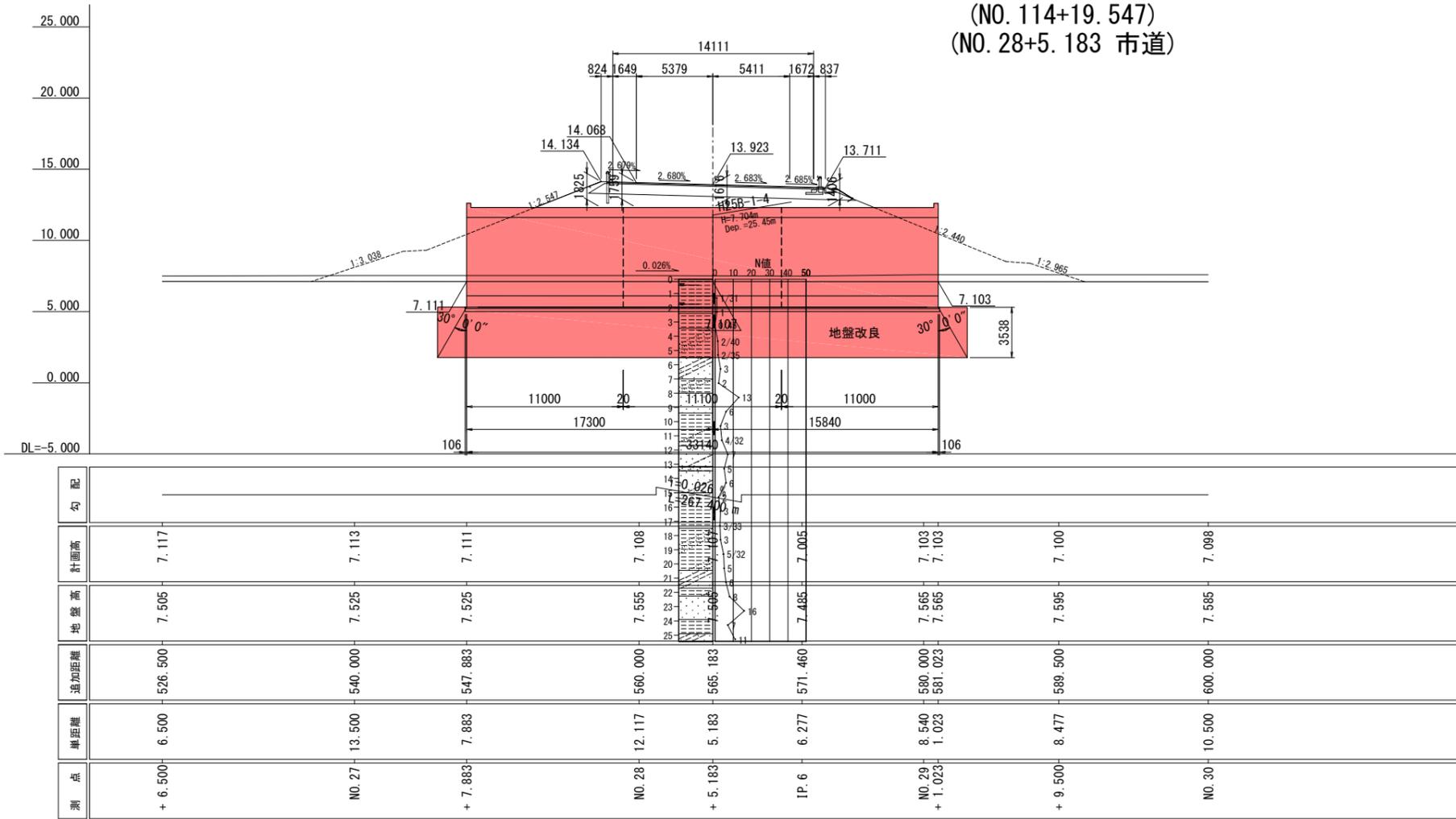
工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	切廻し水路工		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	30 / 64	

※本図の標高は測地成果2011によるものである。

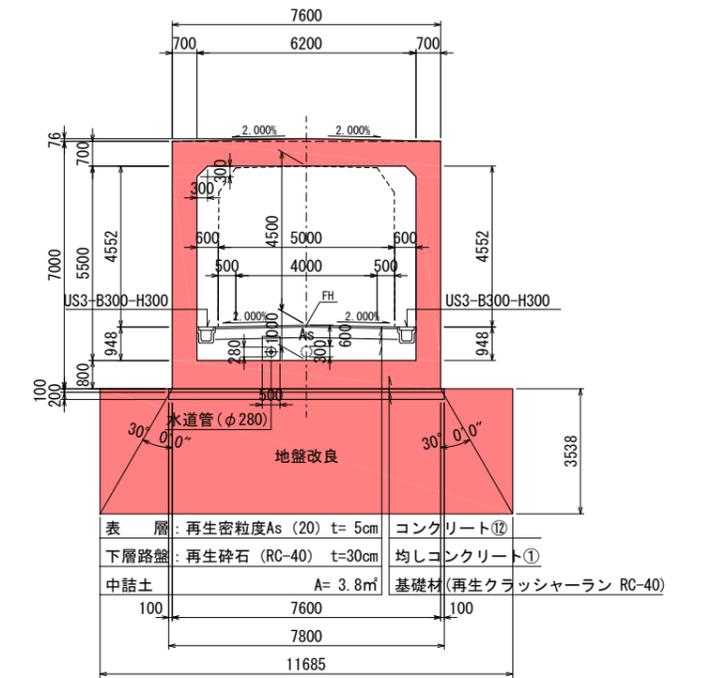
側面図 S=1:200

第1号函渠工一般図

(NO. 114+19.547)
(NO. 28+5.183 市道)



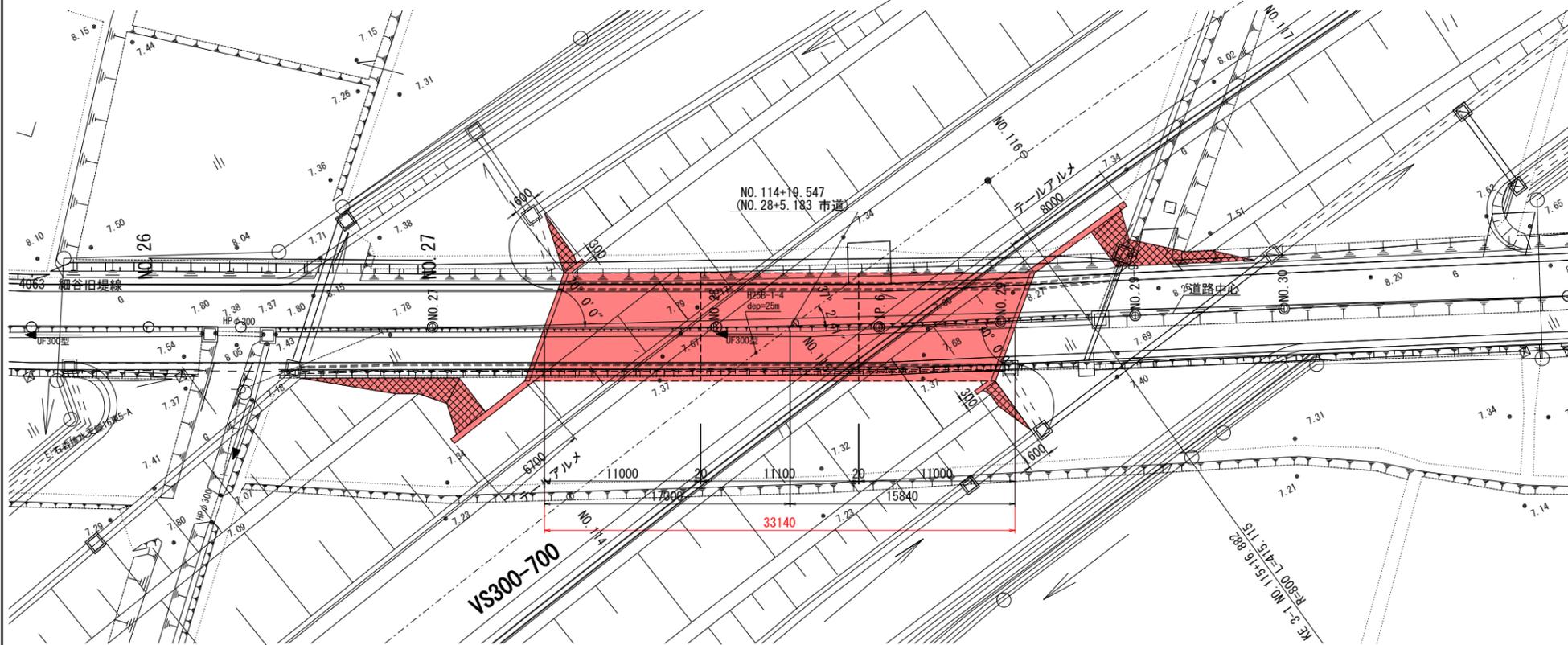
断面図 S=1:100



設計条件

内空幅	6.200	m
内空高	5.500	m
土被り	1.406~1.825	m
交差角	37° 2' 41"	
単位体積重量	舗装	22.5 KN/m ³
	土砂	19 KN/m ³
	鉄筋コンクリート	24.5 KN/m ³
鉛直荷重	土圧係数	1.000
	活荷重	T-25
水平荷重	土圧係数	0.5
	活荷重	5.0 KN/m ²
衝撃係数	0.3	

平面図 S=1:200



使用材料の規格および許容応力度

コンクリート	
設計基準強度	24 N/mm ²
許容曲げ圧縮強度	8 (6) N/mm ²
許容せん断応力度	0.23 N/mm ²
許容付着応力度	1.6 N/mm ²
鉄筋 (SD345)	
許容引張応力度	160 (頂版180) N/mm ²

仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	第1号函渠工一般図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	31 / 64	

第1号函渠工構造図(1/2)

(NO. 114+19.547)
(NO. 28+5.183 市道)

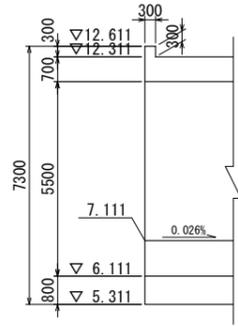
左側翼壁

S=1:100

右側翼壁

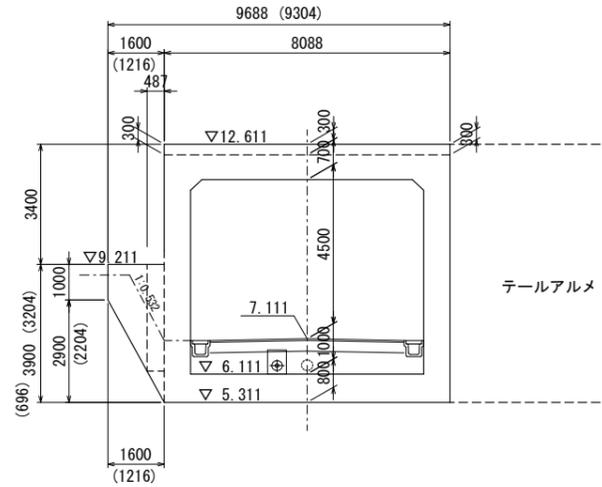
S=1:100

断面図



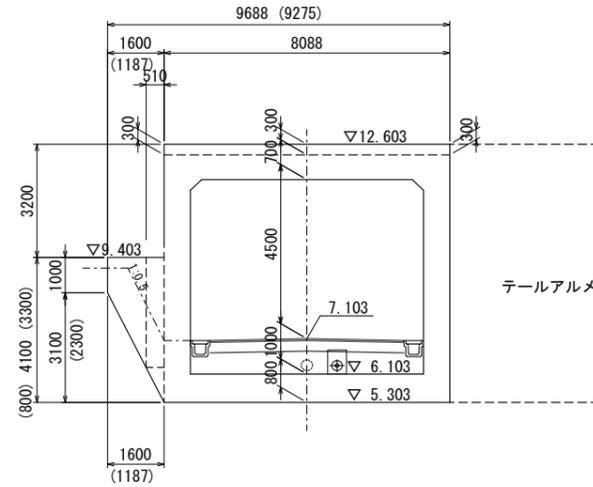
正面図

※ () 内数値は背面寸法を示す。

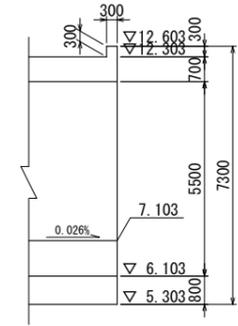


正面図

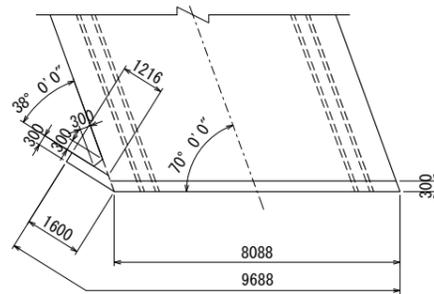
※ () 内数値は背面寸法を示す。



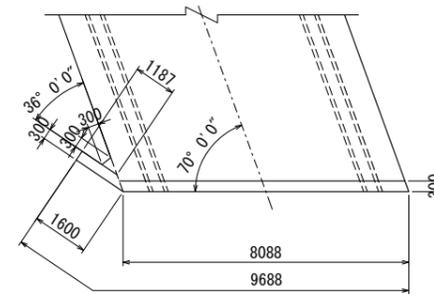
断面図



平面図



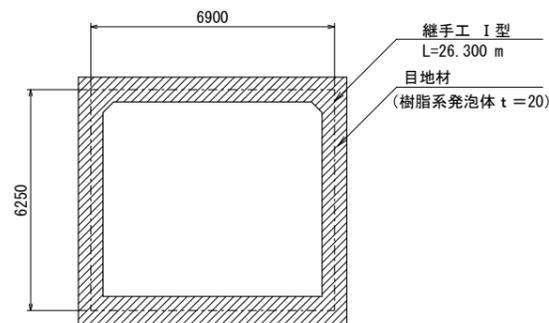
平面図



継手詳細図

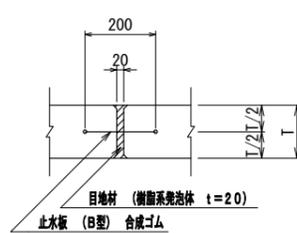
断面図

S=1:100



側面図

S=1:10



仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	第1号函渠工構造図(1/2)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	32 / 64	

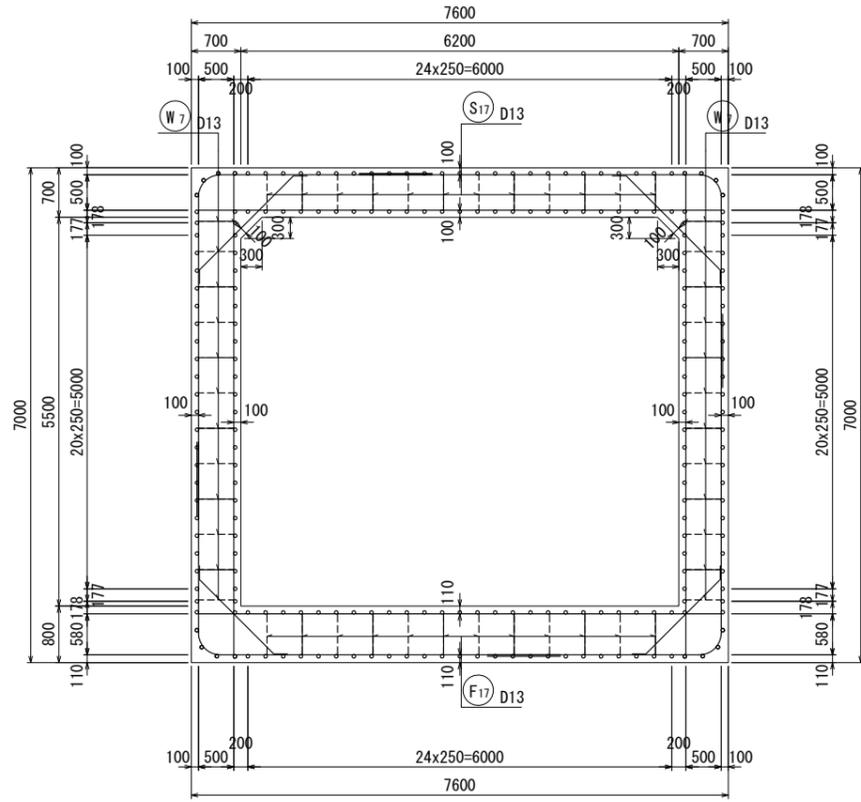
第1号函渠工配筋図(1/12)

(NO. 114+19.547)

(NO. 28+5.183 市道)

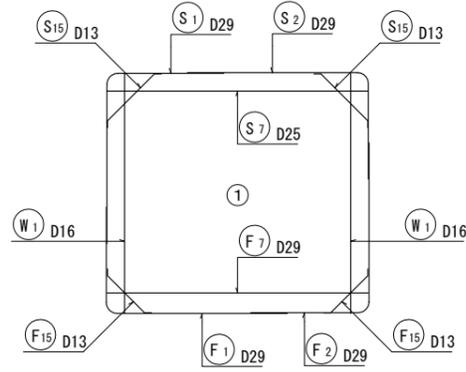
①③ブロック共通(1/4)

断面図 S=1:50

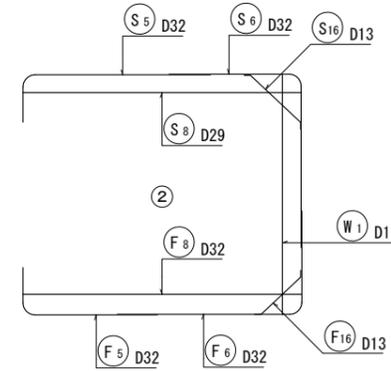
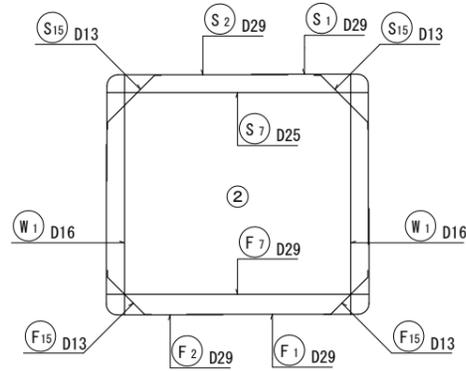
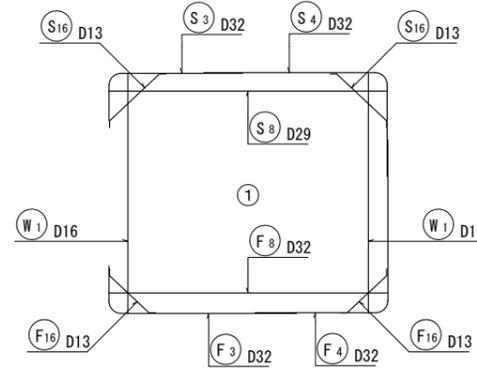


主鉄筋組立図

標準部

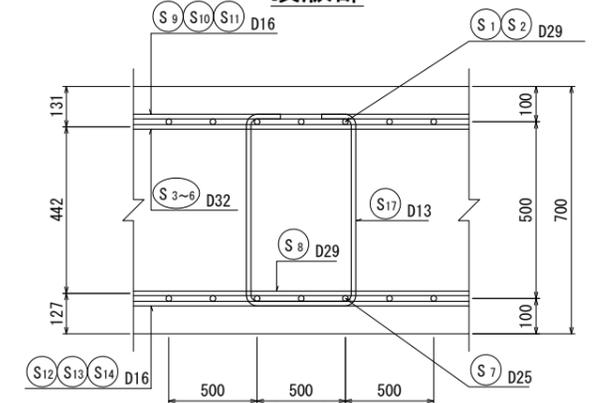


斜角部

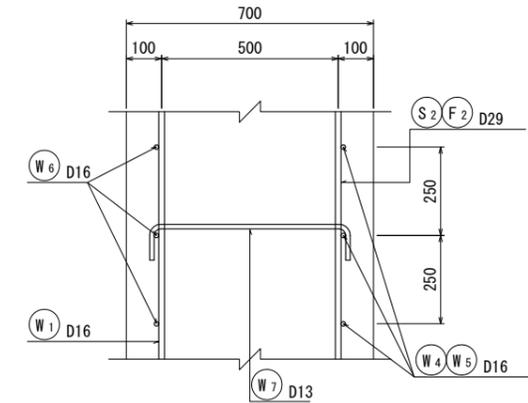


組立図 S=1:10

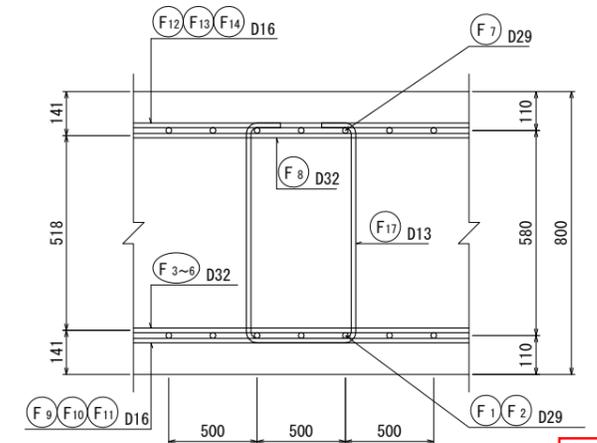
頂版部



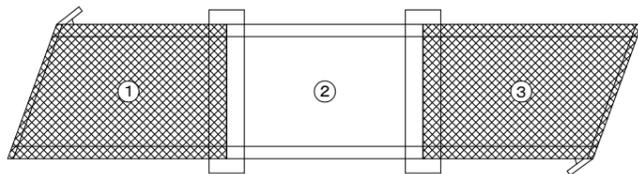
側壁部



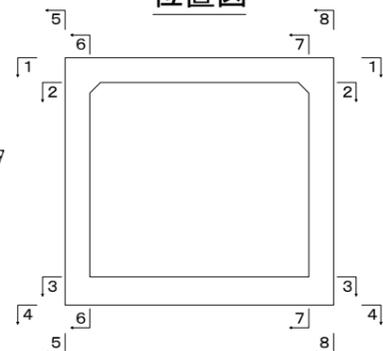
底版部



案内図



位置図



仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	第1号函渠工配筋図(1/12)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	33 / 64	

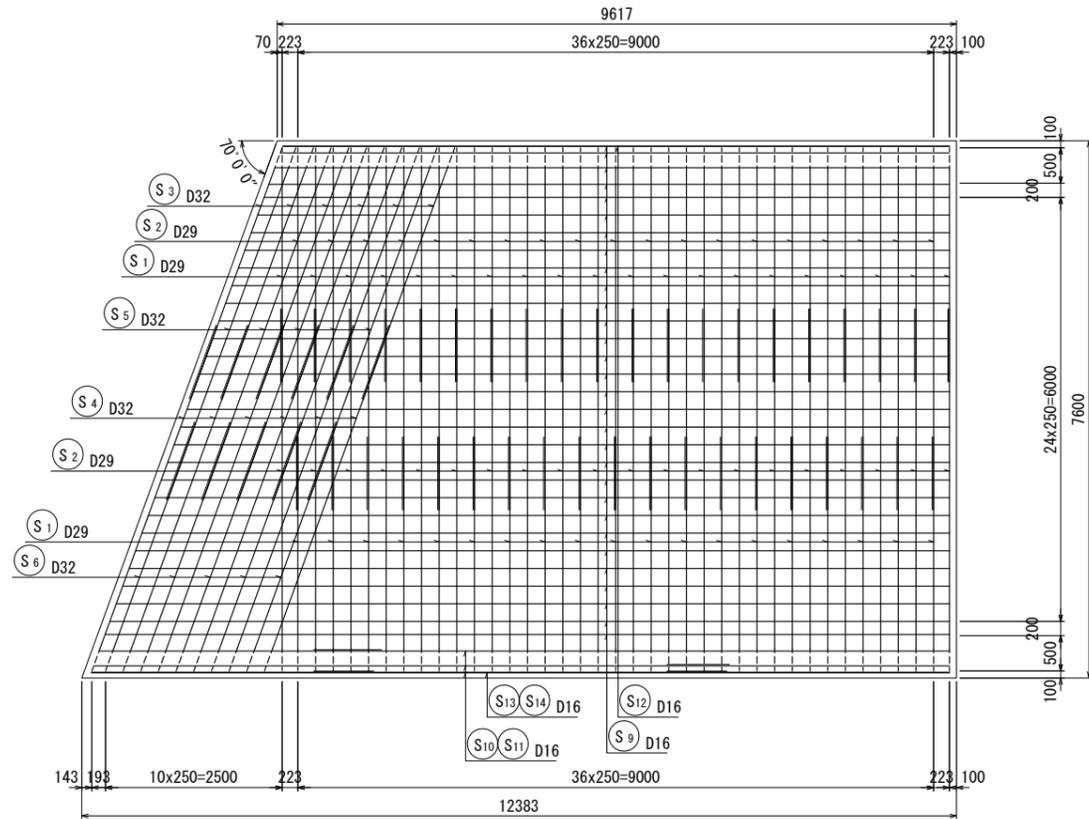
第1号函渠工配筋図(2/12)

(NO. 114+19.547)

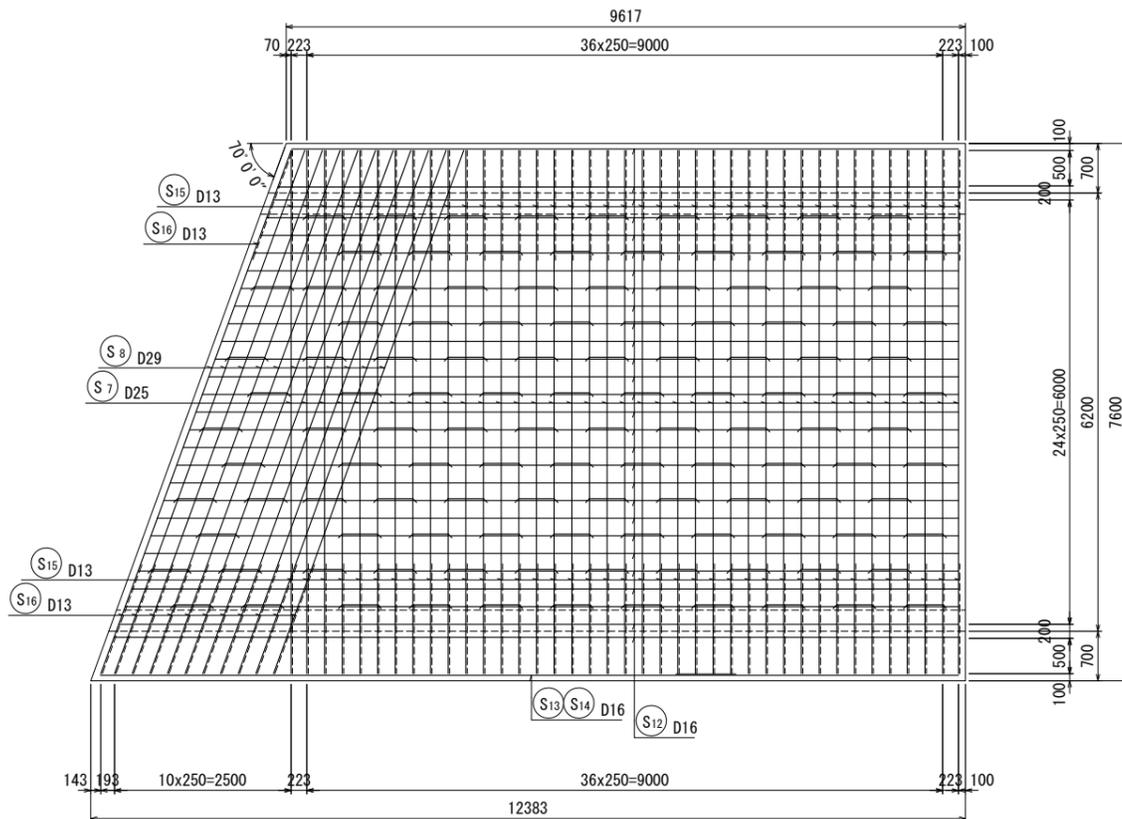
(NO. 28+5.183 市道)

①③ブロック共通(2/4)

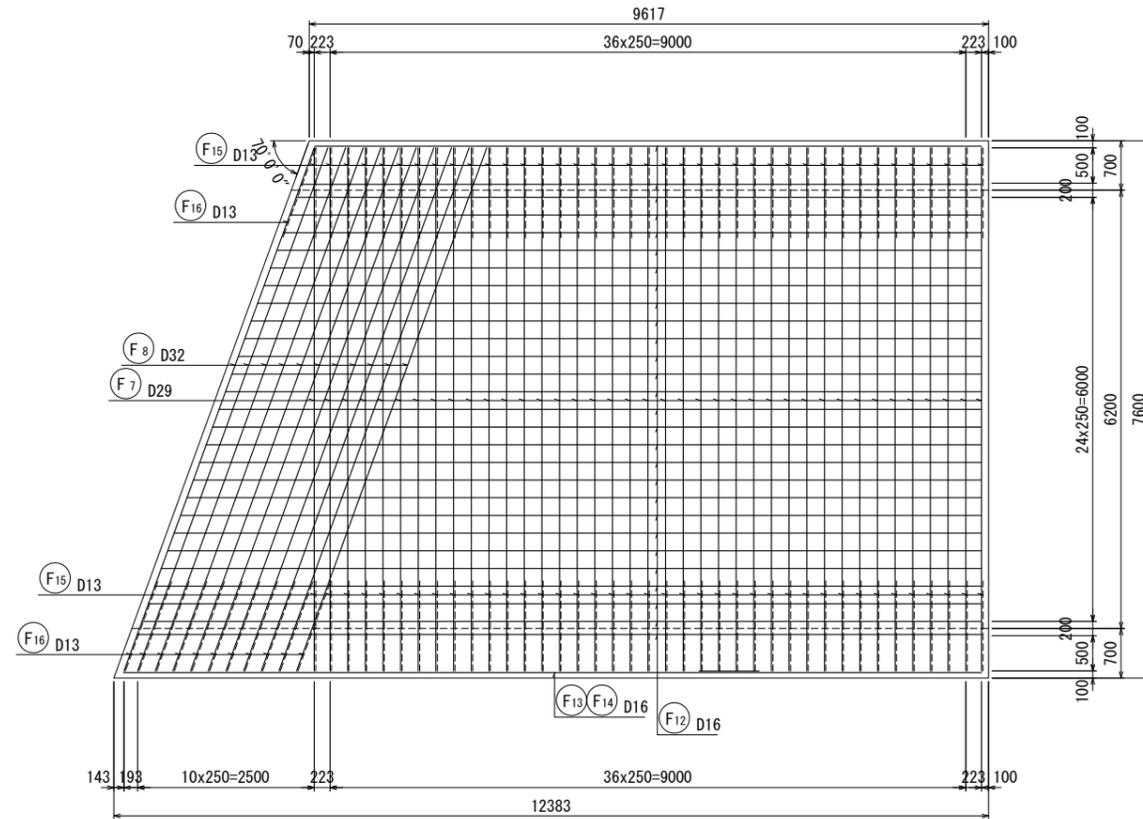
頂版上面図(1-1)



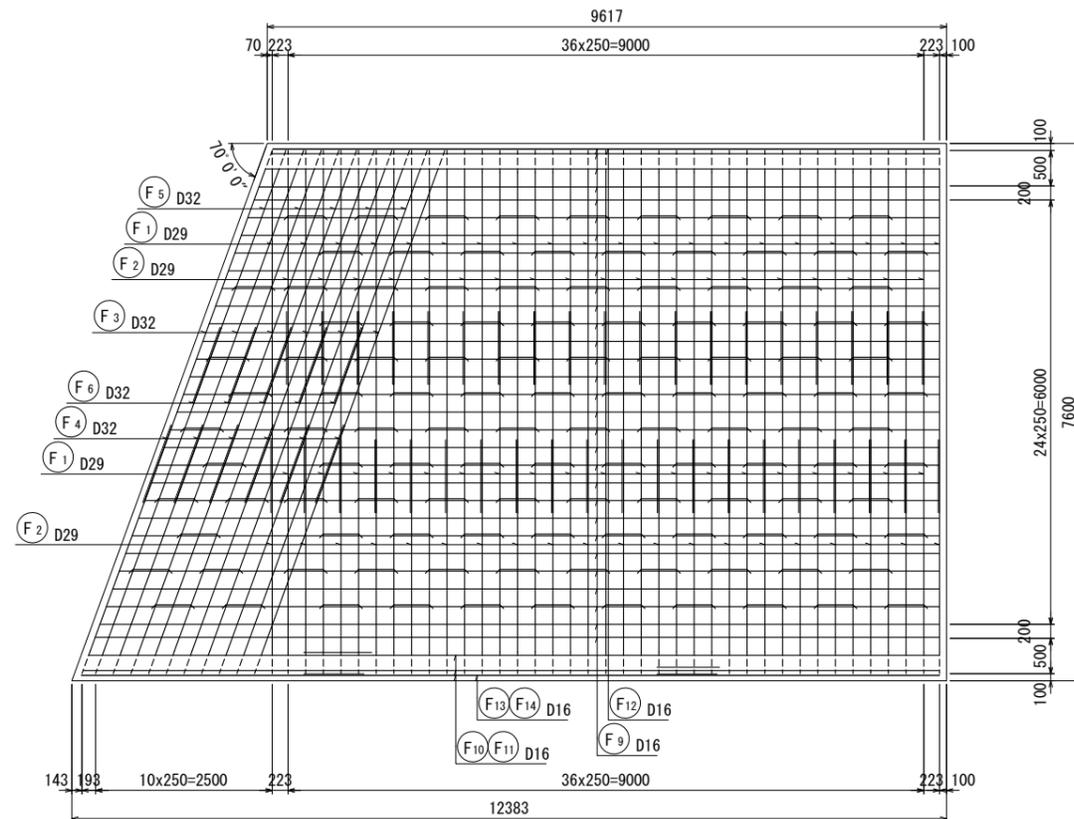
頂版下面図(2-2)



底版上面図(3-3)



底版下面図(4-4)



仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	第1号函渠工配筋図(2/12)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	34 / 64	

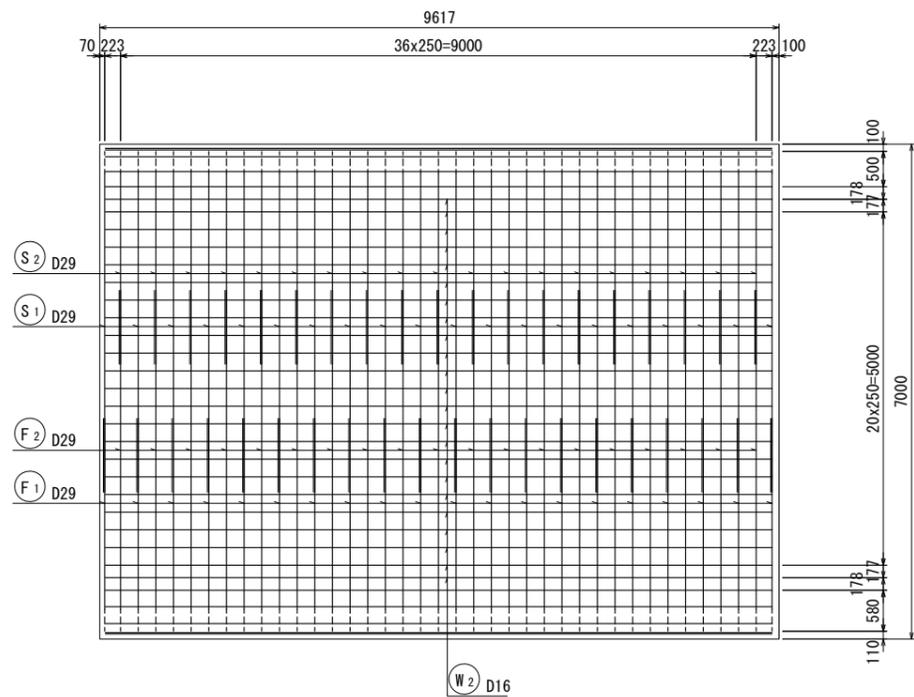
第1号函渠工配筋図(3/12)

(NO. 114+19.547)

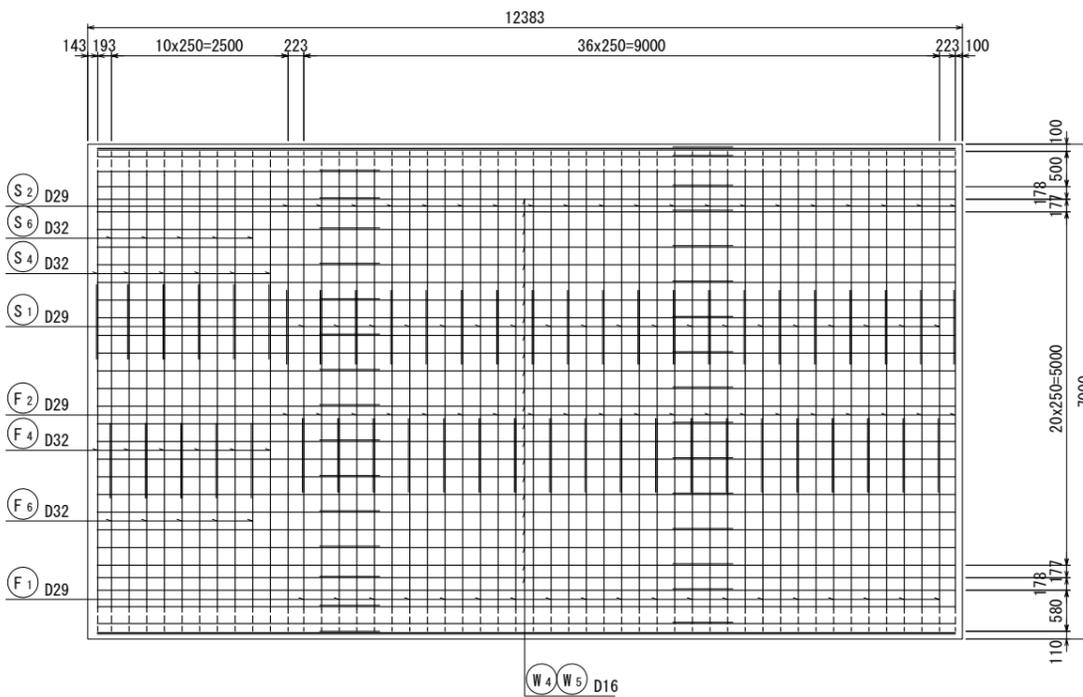
(NO. 28+5.183 市道)

①③ブロック共通(3/4)

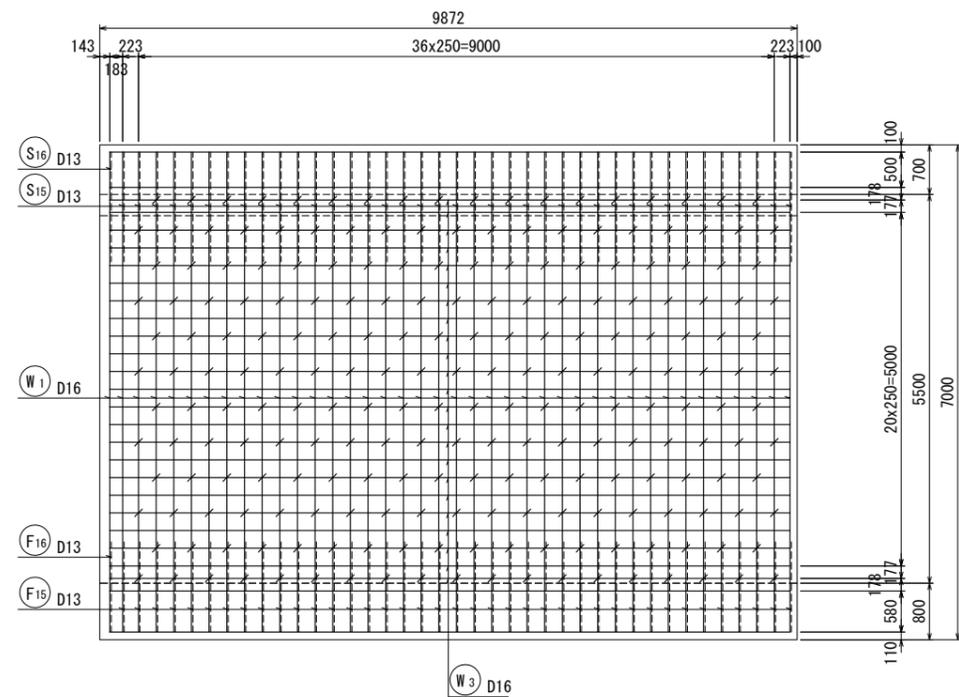
左側壁外面図(5-5)



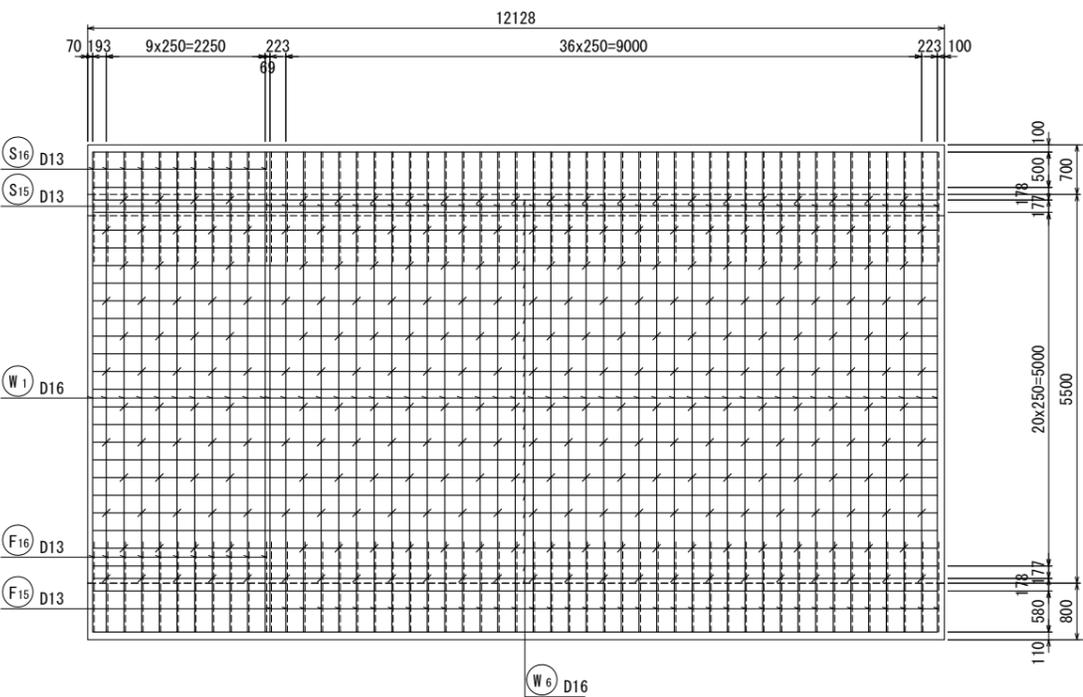
右側壁外面図(8-8)



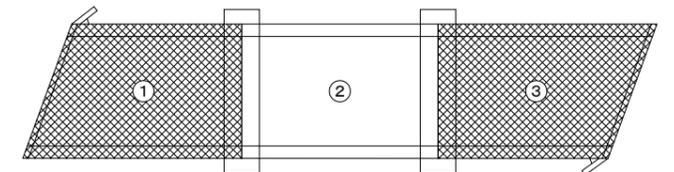
左側壁内面図(6-6)



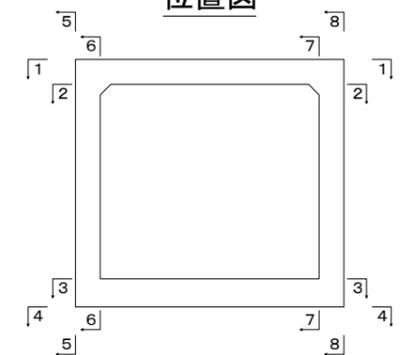
右側壁内面図(7-7)



案内図



位置図



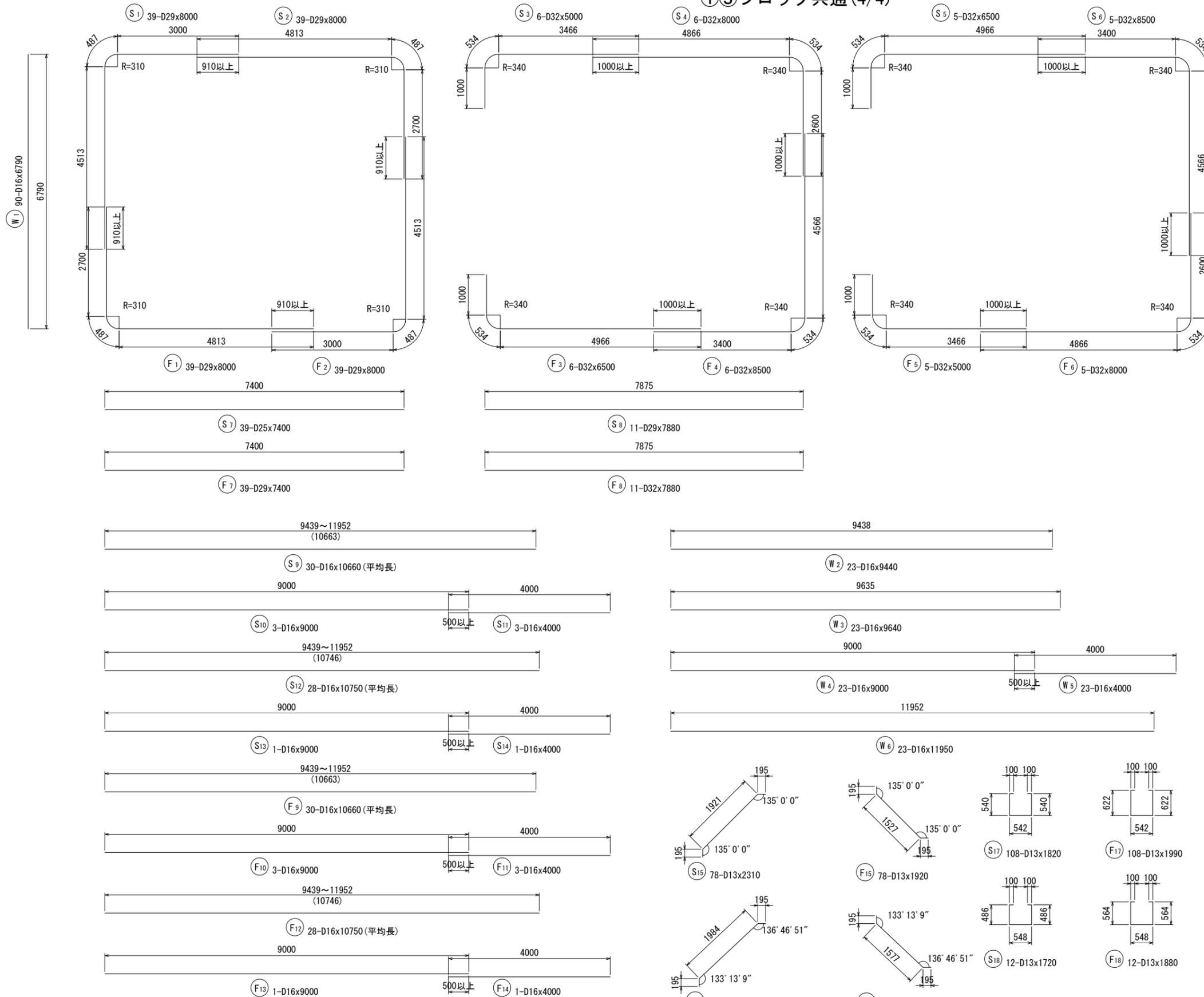
仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	第1号函渠工配筋図(3/12)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	35 / 64	

第1号函渠工配筋図(4/12)

(NO. 114+19.547)
(NO. 28+5.183 市道)

①③ブロック共通(4/4)



記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1	D29	8000	39	5.04	40.32	1572	
S2	D29	8000	39	5.04	40.32	1572	
S3	D32	5000	6	6.23	31.15	187	
S4	D32	8000	6	6.23	49.84	299	
S5	D32	6500	5	6.23	40.50	203	
S6	D32	8500	5	6.23	52.96	265	
S7	D25	7400	39	3.98	29.45	1149	
S8	D29	7880	11	5.04	39.72	437	
S9	D16	10660	30	1.56	16.63	499	(平均長)
S10	D16	9000	3	1.56	14.04	42	
S11	D16	4000	3	1.56	6.24	19	
S12	D16	10750	28	1.56	16.77	470	(平均長)
S13	D16	9000	1	1.56	14.04	14	
S14	D16	4000	1	1.56	6.24	6	
S15	D13	2310	78	0.995	2.30	179	
S16	D13	2370	12	0.995	2.36	28	
S17	D13	1820	108	0.995	1.81	195	
S18	D13	1720	12	0.995	1.71	21	
W1	D16	6790	90	1.56	10.59	953	
W2	D16	9440	23	1.56	14.73	339	
W3	D16	9640	23	1.56	15.04	346	
W4	D16	9000	23	1.56	14.04	323	
W5	D16	4000	23	1.56	6.24	144	
W6	D16	11950	23	1.56	18.64	429	
W7	D13	770	444	0.995	0.77	342	
W8	D13	810	54	0.995	0.81	44	
F1	D29	8000	39	5.04	40.32	1572	
F2	D29	8000	39	5.04	40.32	1572	
F3	D32	6500	6	6.23	40.50	243	
F4	D32	8500	6	6.23	52.96	318	
F5	D32	5000	5	6.23	31.15	156	
F6	D32	8000	5	6.23	49.84	249	
F7	D29	7400	39	5.04	37.30	1455	
F8	D32	7880	11	6.23	49.09	540	
F9	D16	10660	30	1.56	16.63	499	(平均長)
F10	D16	9000	3	1.56	14.04	42	
F11	D16	4000	3	1.56	6.24	19	
F12	D16	10750	28	1.56	16.77	470	(平均長)
F13	D16	9000	1	1.56	14.04	14	
F14	D16	4000	1	1.56	6.24	6	
F15	D13	1920	78	0.995	1.91	149	
F16	D13	1970	12	0.995	1.96	24	
F17	D13	1990	108	0.995	1.98	214	
F18	D13	1880	12	0.995	1.87	22	
				D32	2460	kg	
				D29	8180	kg	
				D25	1149	kg	
				D16	4634	kg	
				D13	1218	kg	
				合計	17641	kg	
							(1ブロック当り)

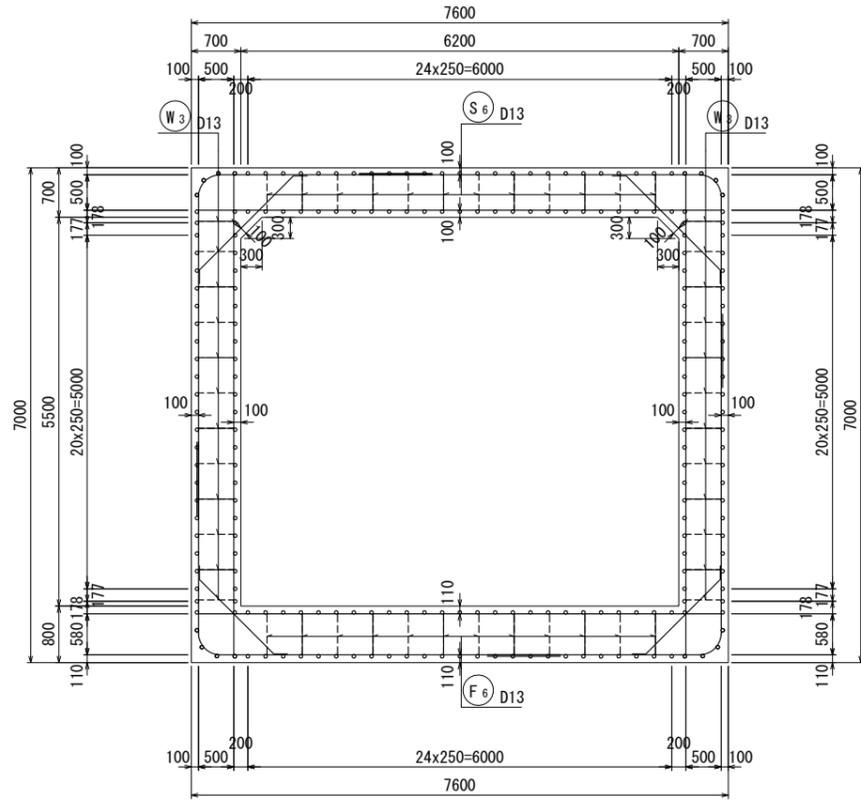
仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	第1号函渠工配筋図(4/12)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	36 / 64	

第1号函渠工配筋図(5/12)

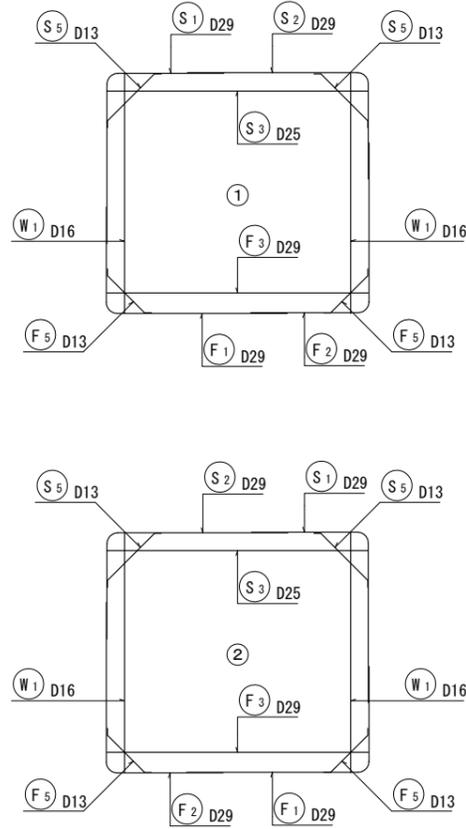
(NO. 114+19.547)
(NO. 28+5.183 市道)
②ブロック(1/4)

断面図 S=1:50



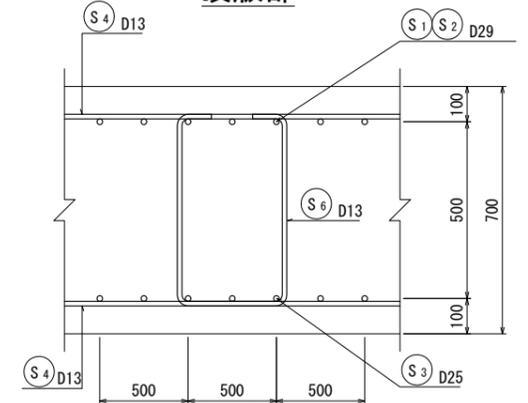
主鉄筋組立図

標準部

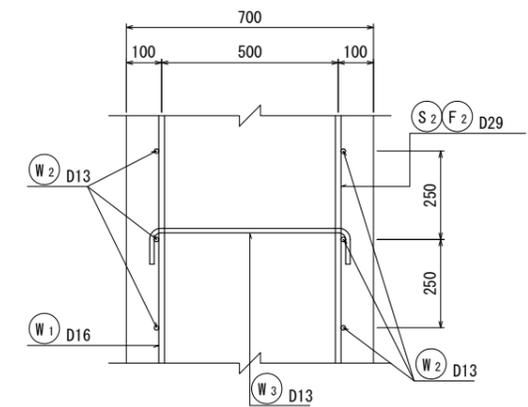


組立図 S=1:10

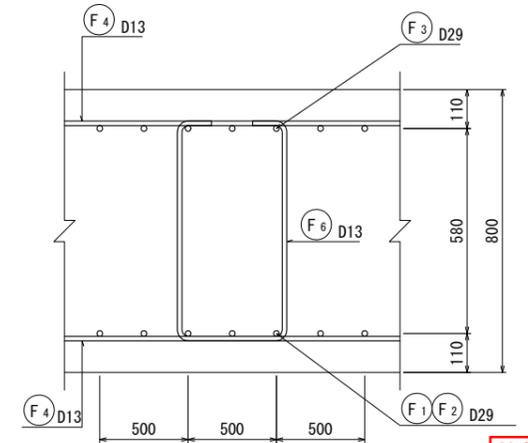
頂版部



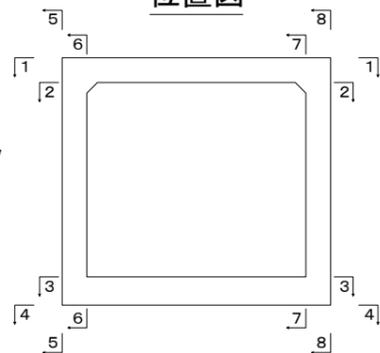
側壁部



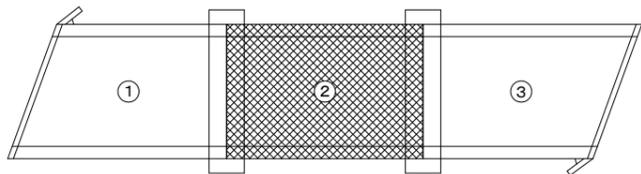
底版部



位置図



案内図



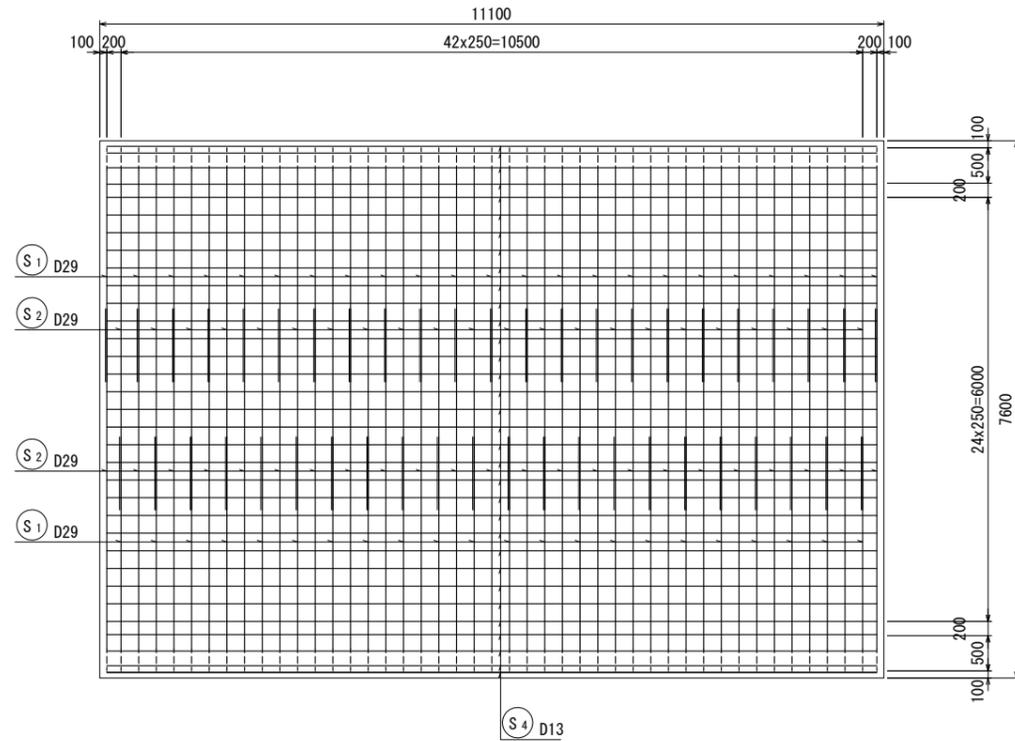
仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	第1号函渠工配筋図(5/12)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	37 / 64	

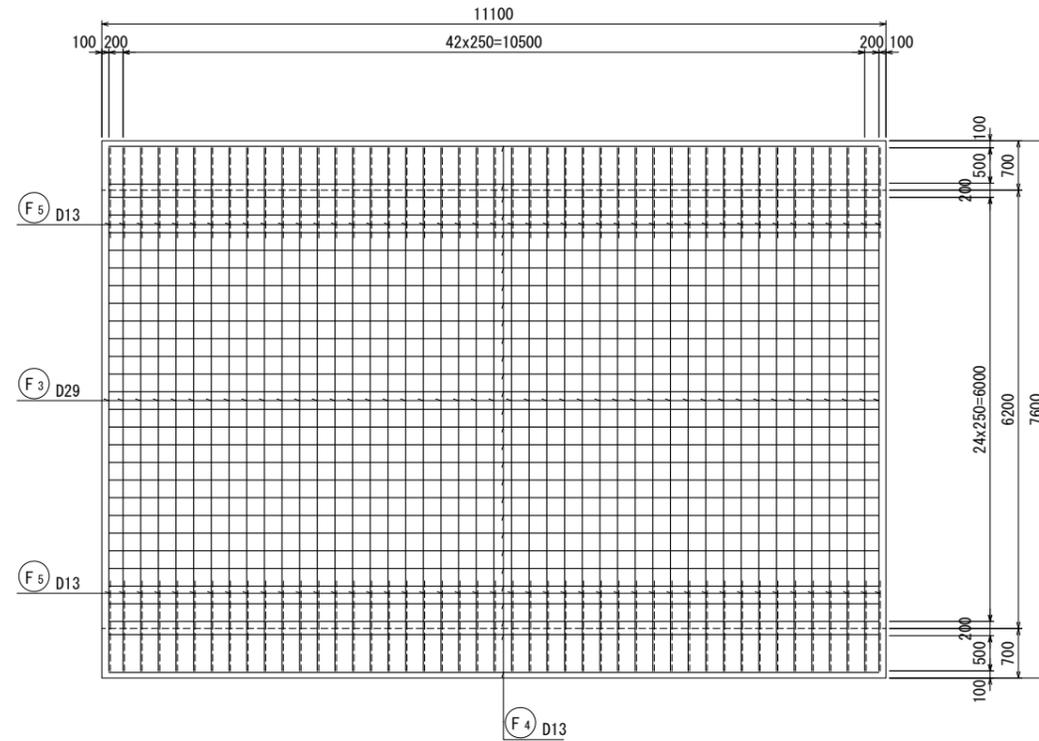
第1号函渠工配筋図(6/12)

(NO. 114+19.547)
(NO. 28+5.183 市道)
②ブロック(2/4)

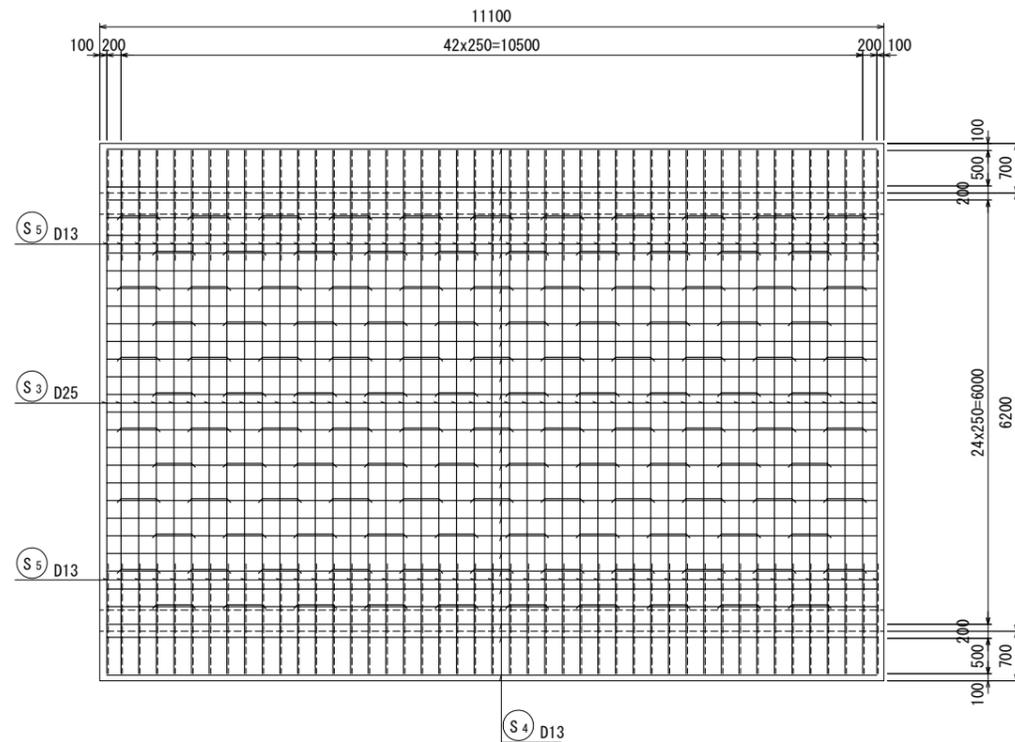
頂版上面図(1-1)



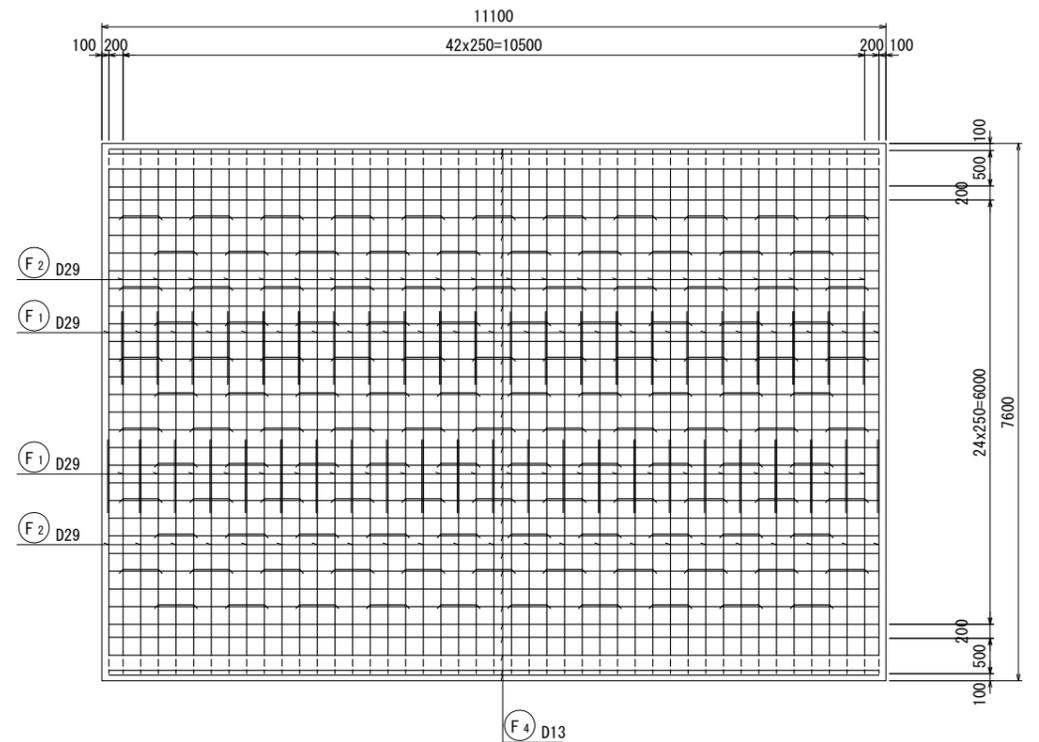
底版上面図(3-3)



頂版下面図(2-2)



底版下面図(4-4)



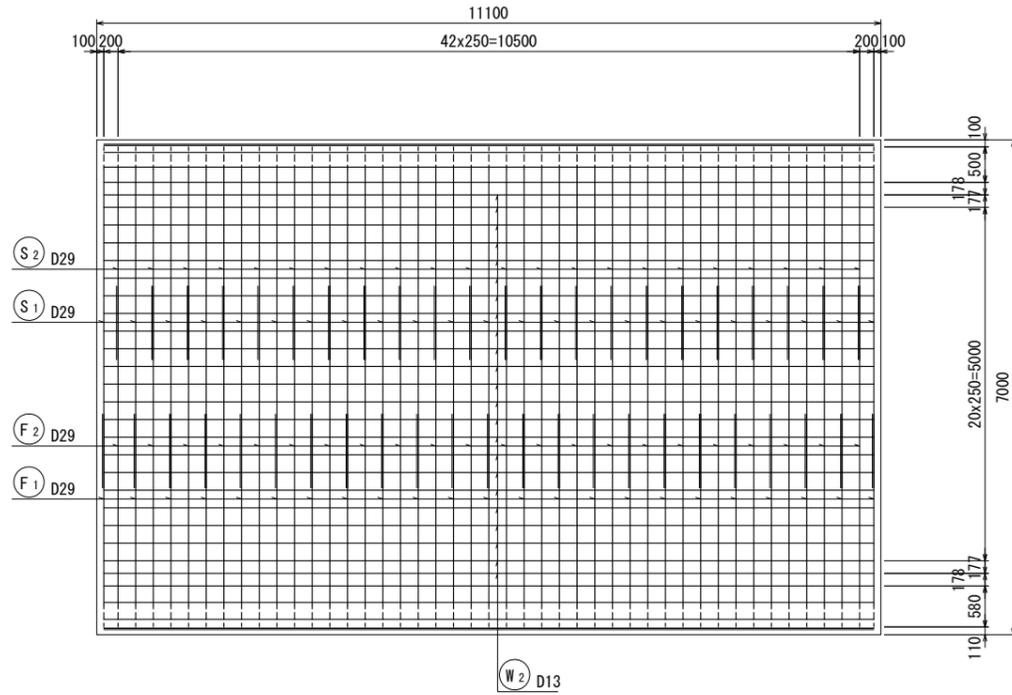
仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	第1号函渠工配筋図(6/12)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	38 / 64	

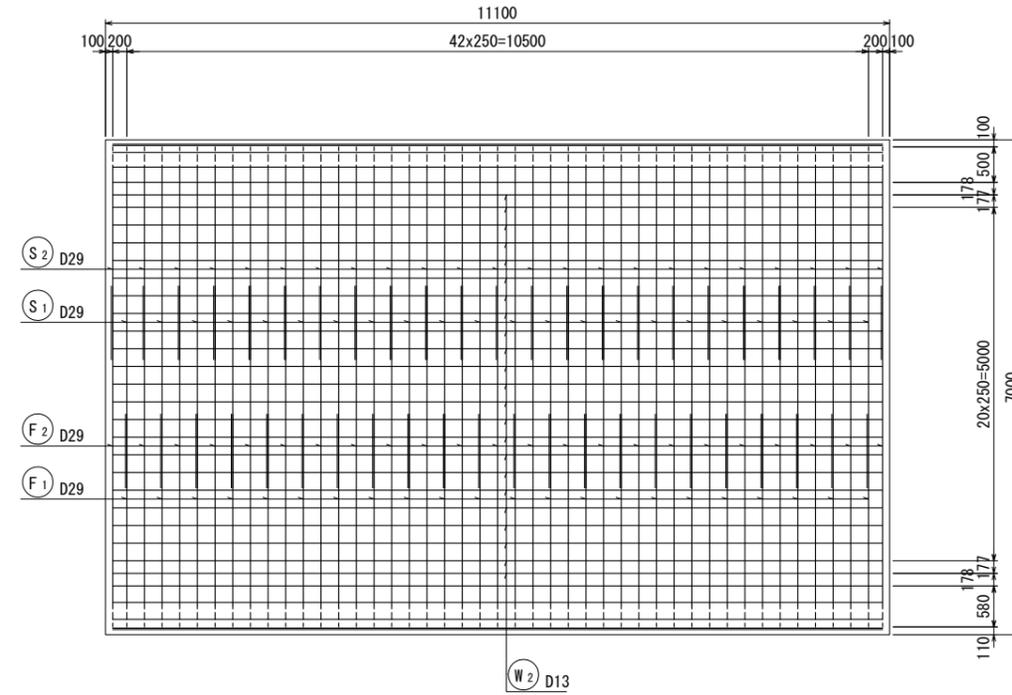
第1号函渠工配筋図(7/12)

(NO. 114+19.547)
 (NO. 28+5.183 市道)
 ②ブロック(3/4)

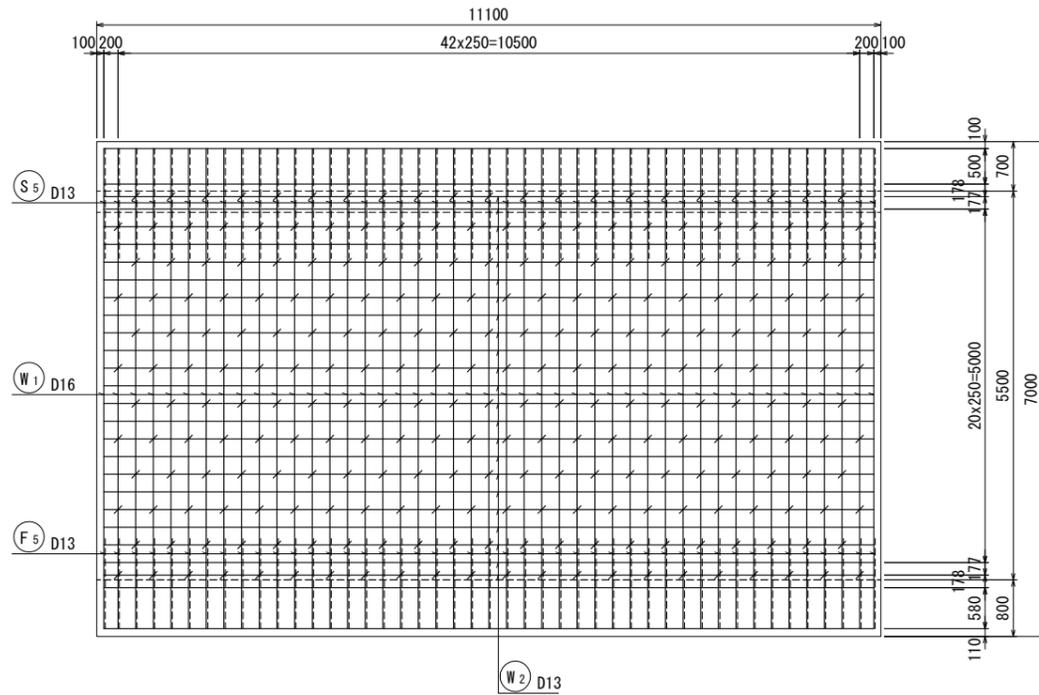
左側壁外面図(5-5)



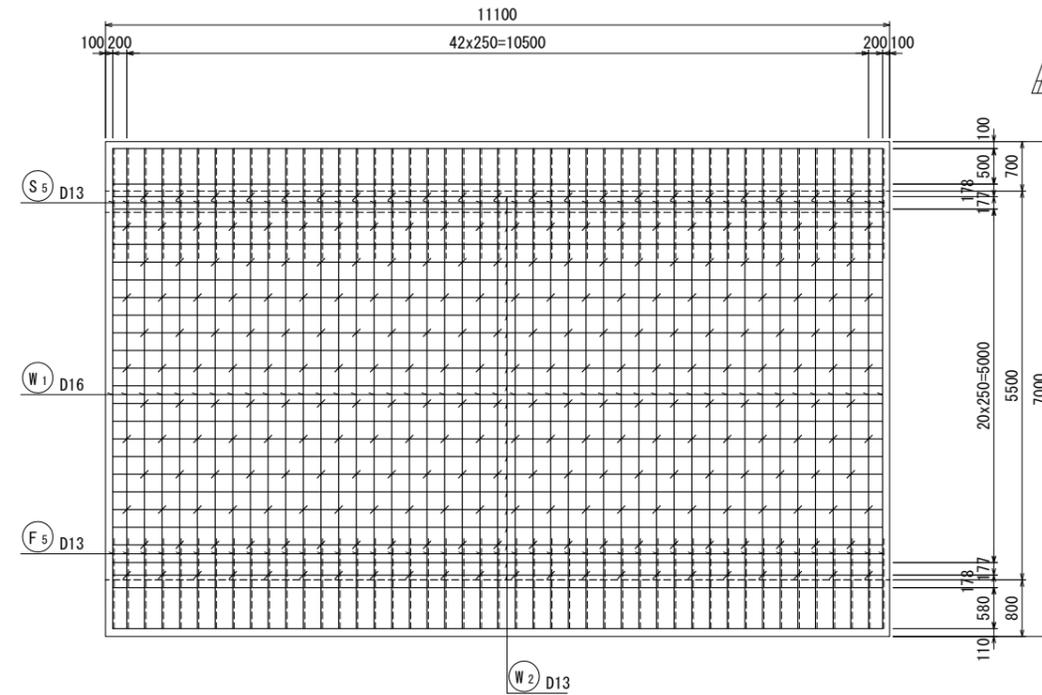
右側壁外面図(8-8)



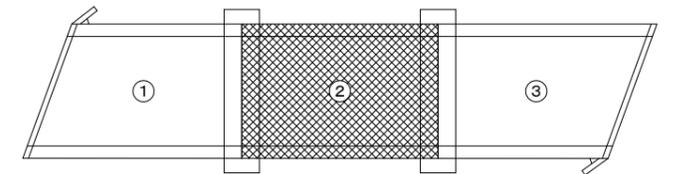
左側壁内面図(6-6)



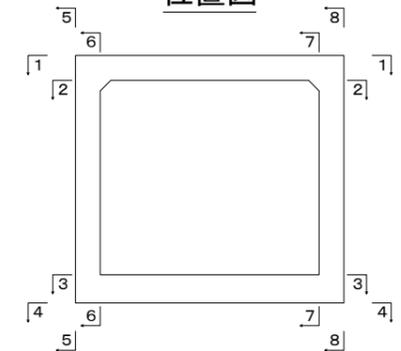
右側壁内面図(7-7)



案内図



位置図

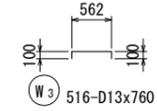
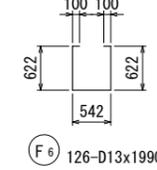
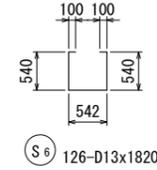
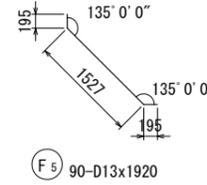
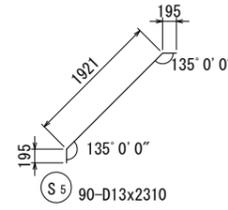
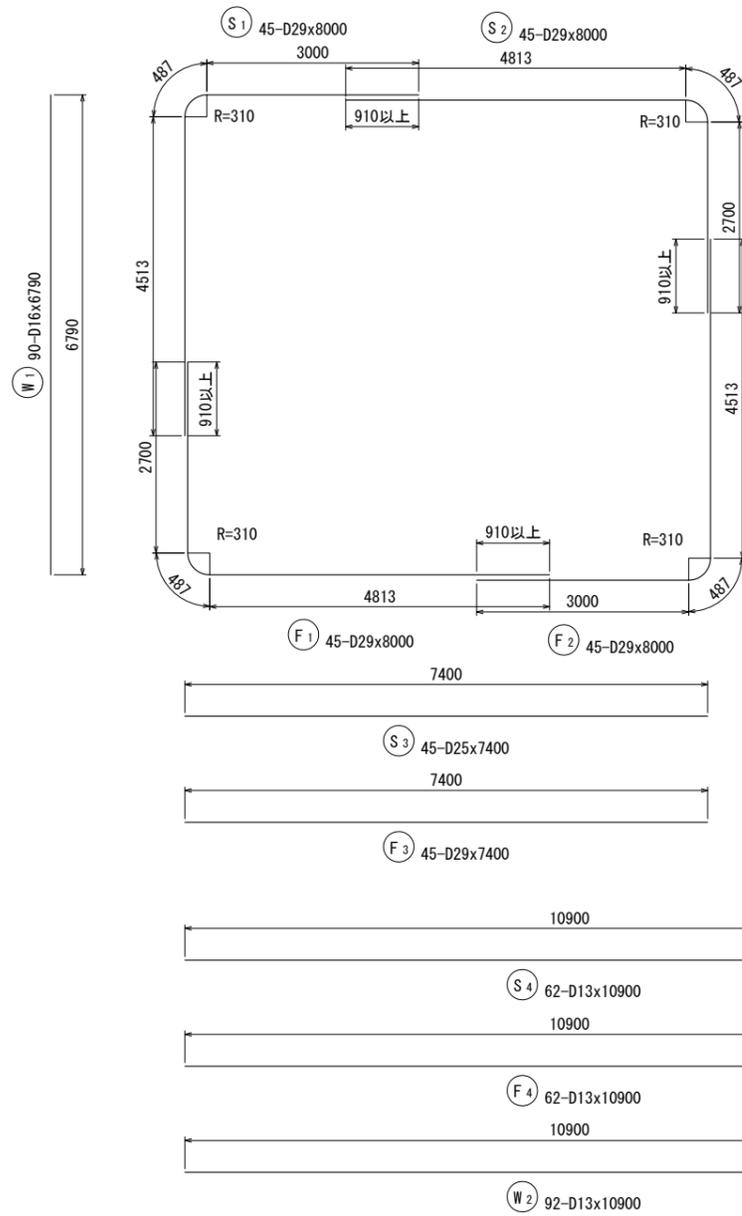


仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	第1号函渠工配筋図(7/12)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	39 / 64	

第1号函渠工配筋図(8/12)

(NO. 114+19.547)
 (NO. 28+5.183 市道)
 ②ブロック(4/4)



鉄筋重量表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
S1	D29	8000	45	5.04	40.32	1814	
S2	D29	8000	45	5.04	40.32	1814	
S3	D25	7400	45	3.98	29.45	1325	
S4	D13	10900	62	0.995	10.85	673	
S5	D13	2310	90	0.995	2.30	207	
S6	D13	1820	126	0.995	1.81	228	
W1	D16	6790	90	1.56	10.59	953	
W2	D13	10900	92	0.995	10.85	998	
W3	D13	760	516	0.995	0.76	392	
F1	D29	8000	45	5.04	40.32	1814	
F2	D29	8000	45	5.04	40.32	1814	
F3	D29	7400	45	5.04	37.30	1679	
F4	D13	10900	62	0.995	10.85	673	
F5	D13	1920	90	0.995	1.91	172	
F6	D13	1990	126	0.995	1.98	249	
						D29	8935 kg
						D25	1325 kg
						D16	953 kg
						D13	3592 kg
						合計	14805 kg

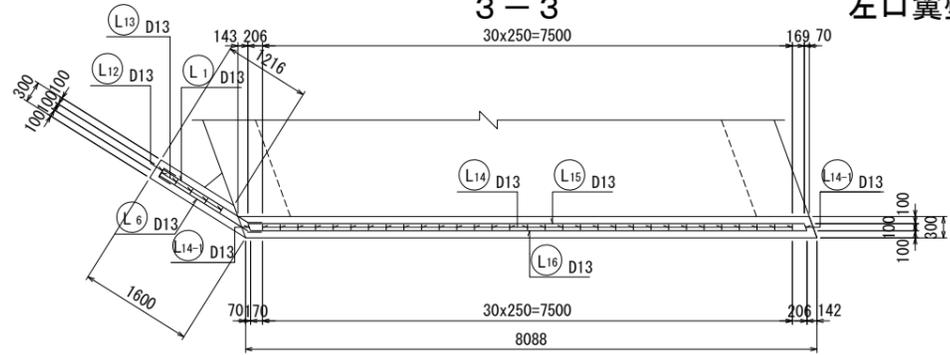
仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	第1号函渠工配筋図(8/12)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	40 / 64	

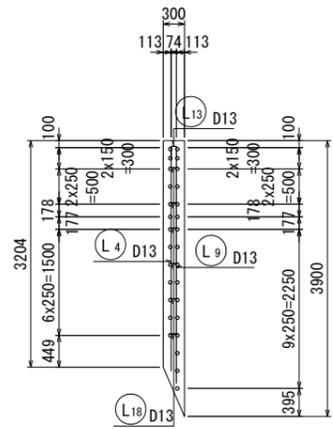
第1号函渠工配筋図(9/12)

(NO. 114+19.547)
(NO. 28+5.183 市道)
左口翼壁(1/2)

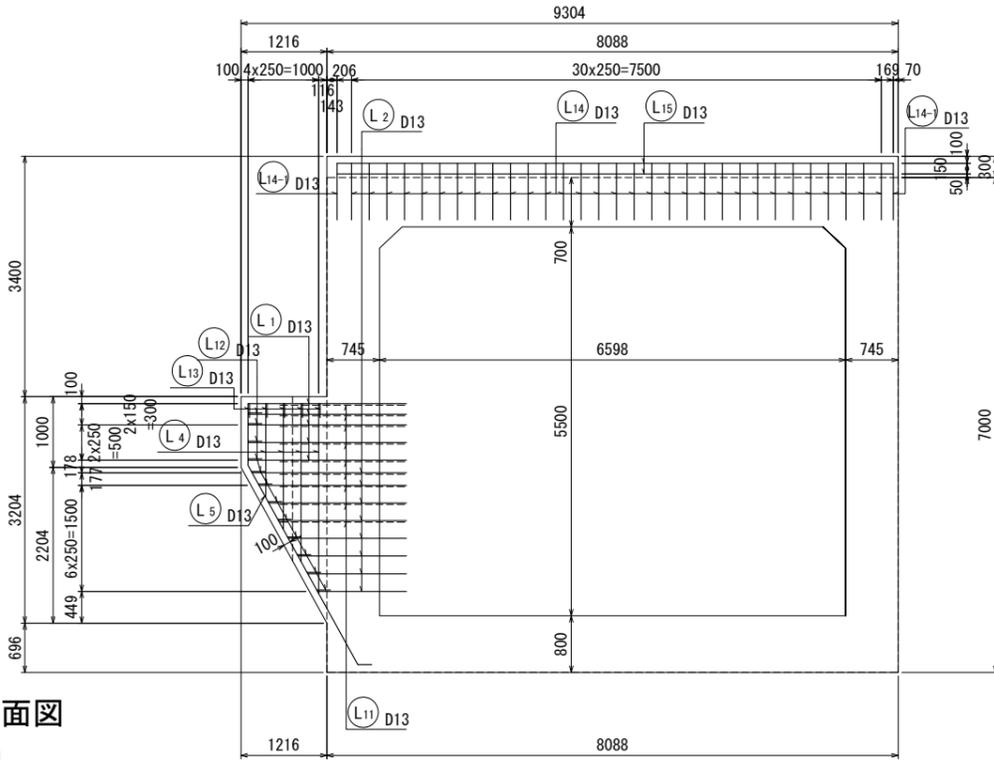
天端平面図
3-3



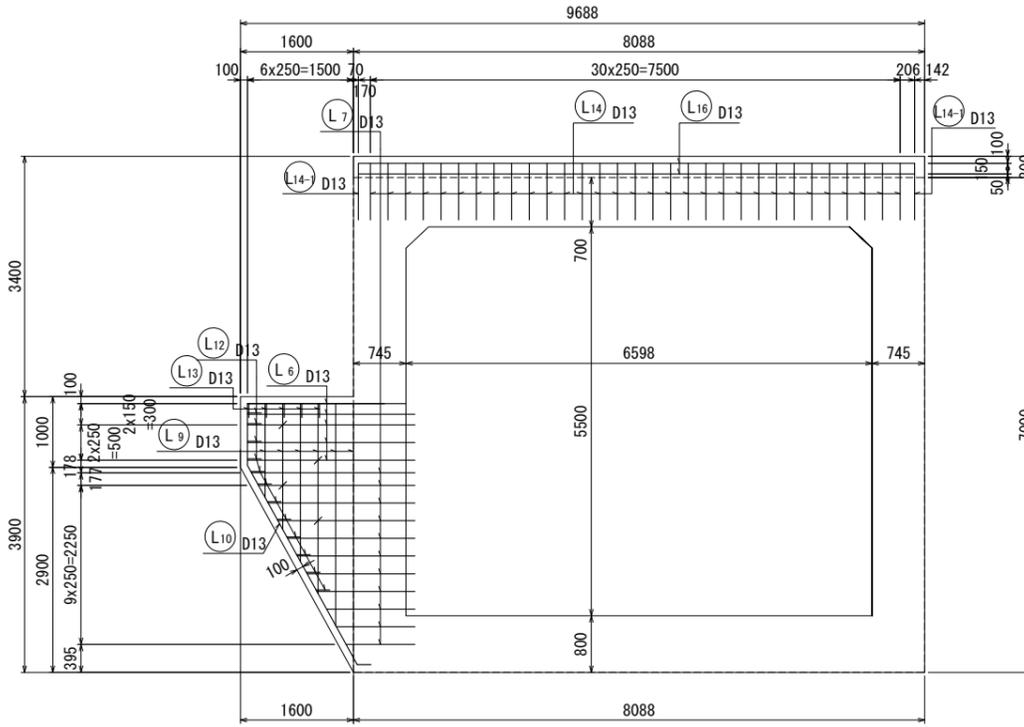
左翼壁断面図
5-5



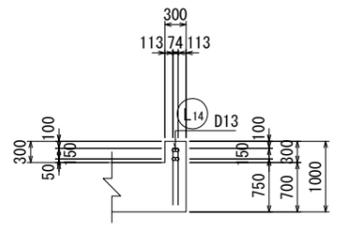
背面図
1-1



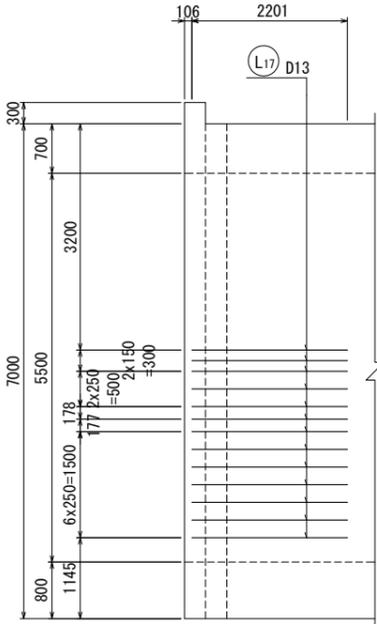
前面図
2-2



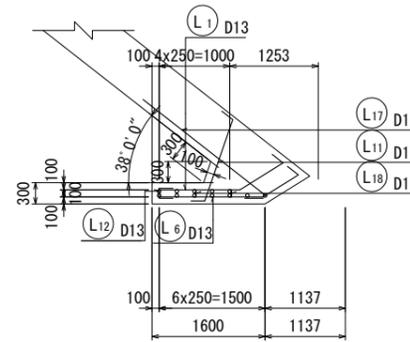
土留壁断面図
6-6



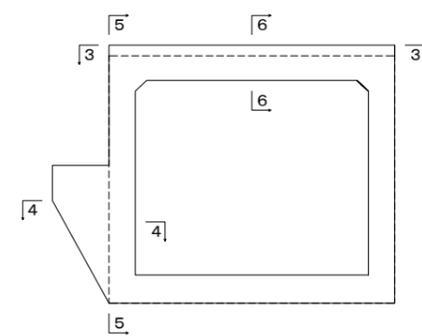
左補強筋側面図



左翼壁平断面図
4-4



位置図

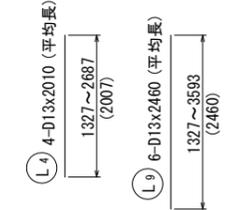
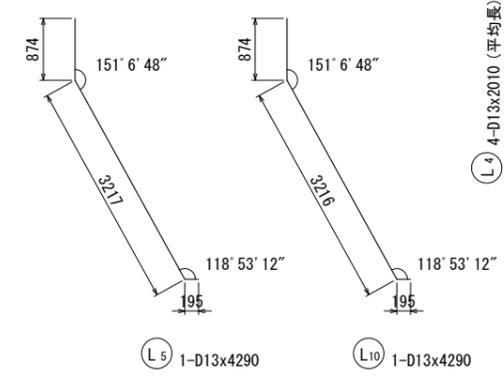
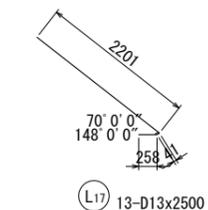
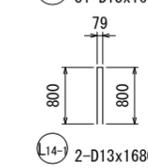
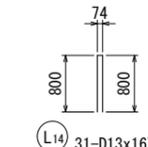
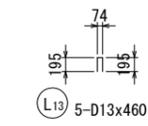
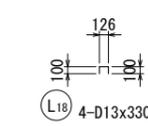
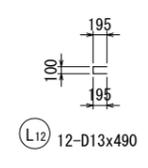
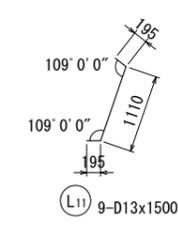
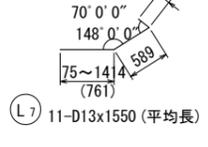
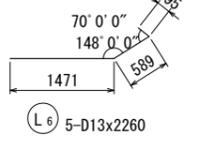
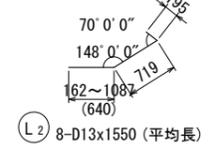
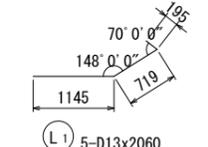
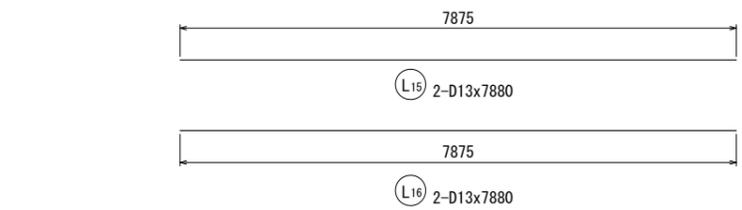


仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	第1号函渠工配筋図(9/12)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	41 / 64	

第1号函渠工配筋図(10/12)

(NO. 114+19.547)
(NO. 28+5.183 市道)
左口翼壁(2/2)



鉄筋重量表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
L1	D13	2060	5	0.995	2.05	10	
L2	D13	1550	8	0.995	1.54	12	(平均長)
L4	D13	2010	4	0.995	2.00	8	(平均長)
L5	D13	4290	1	0.995	4.27	4	
L6	D13	2260	5	0.995	2.25	11	
L7	D13	1550	11	0.995	1.54	17	(平均長)
L9	D13	2460	6	0.995	2.45	15	(平均長)
L10	D13	4290	1	0.995	4.27	4	
L11	D13	1500	9	0.995	1.49	13	
L12	D13	490	12	0.995	0.49	6	
L13	D13	460	5	0.995	0.46	2	
L14	D13	1670	31	0.995	1.66	51	
L14-1	D13	1680	2	0.995	1.67	3	
L15	D13	7880	2	0.995	7.84	16	
L16	D13	7880	2	0.995	7.84	16	
L17	D13	2500	13	0.995	2.49	32	
L18	D13	330	4	0.995	0.33	1	
						D13	221 kg
						合計	221 kg

※L3, L8は欠番

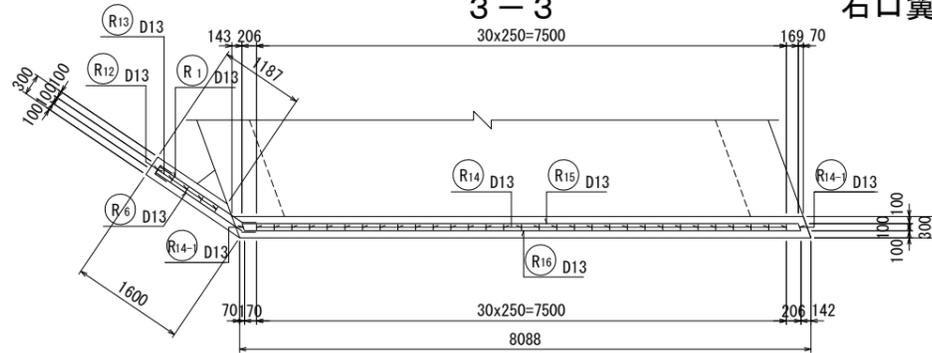
仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	第1号函渠工配筋図(10/12)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	42 / 64	

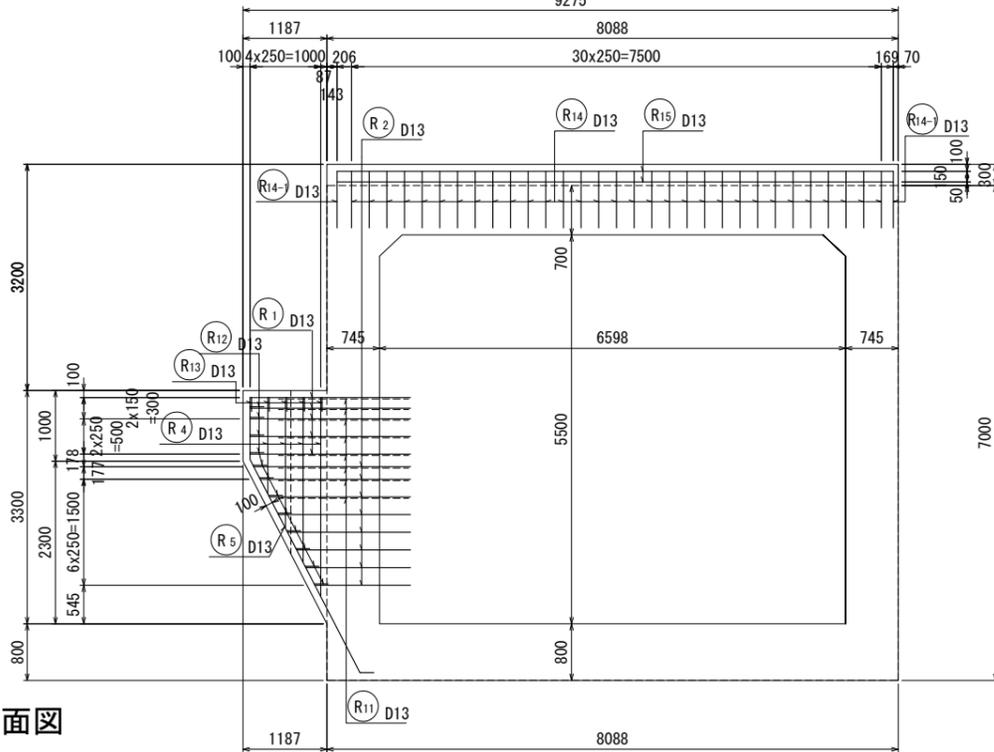
第1号函渠工配筋図(11/12)

(NO. 114+19.547)
(NO. 28+5.183 市道)
右口翼壁(1/2)

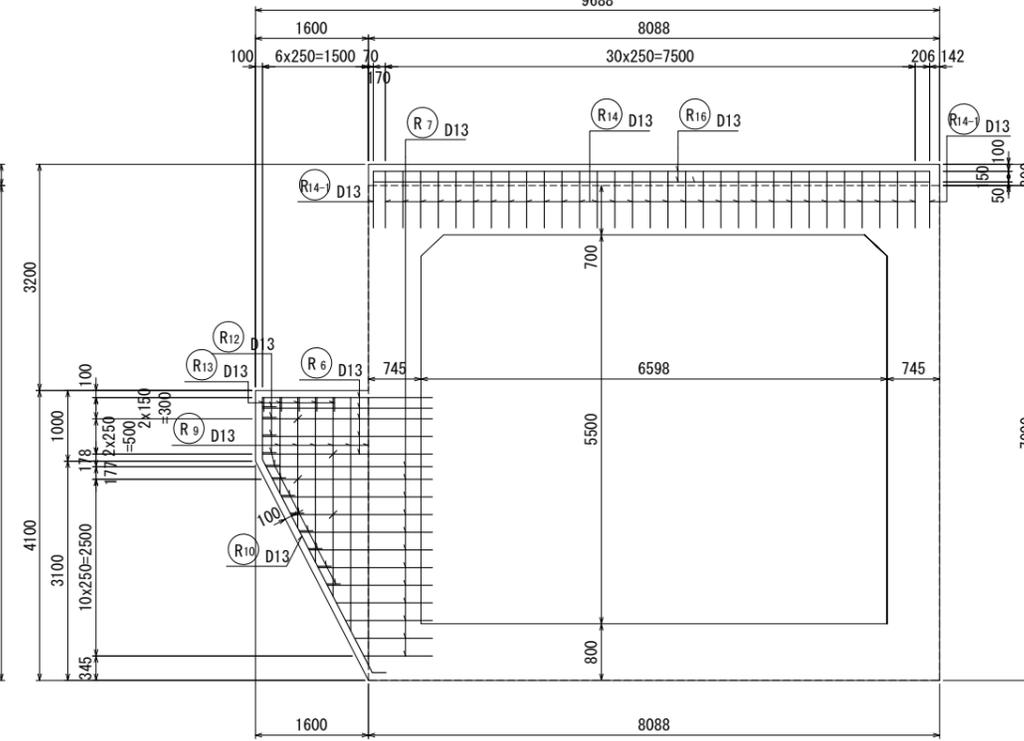
天端平面図
3-3



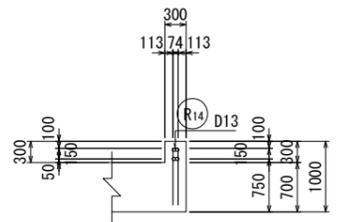
背面図
1-1



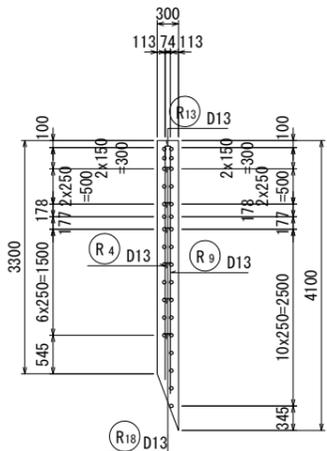
前面図
2-2



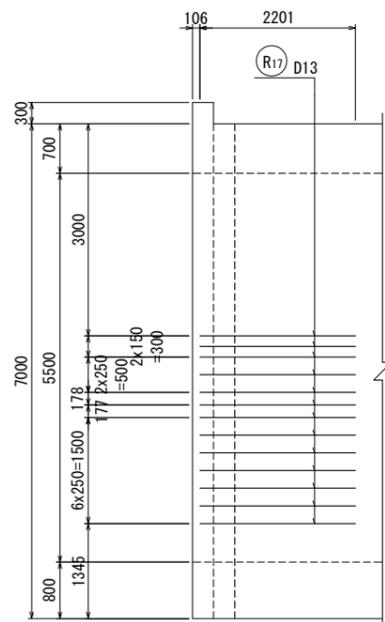
土留壁断面図
6-6



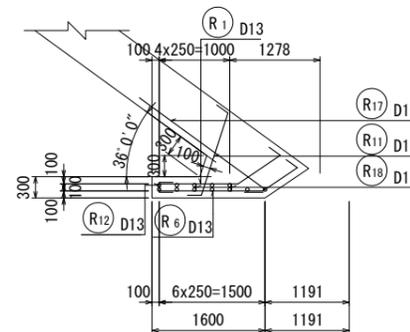
左翼壁断面図
5-5



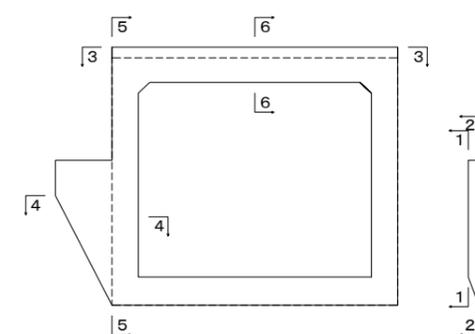
左補強筋側面図



左翼壁平断面図
4-4



位置図

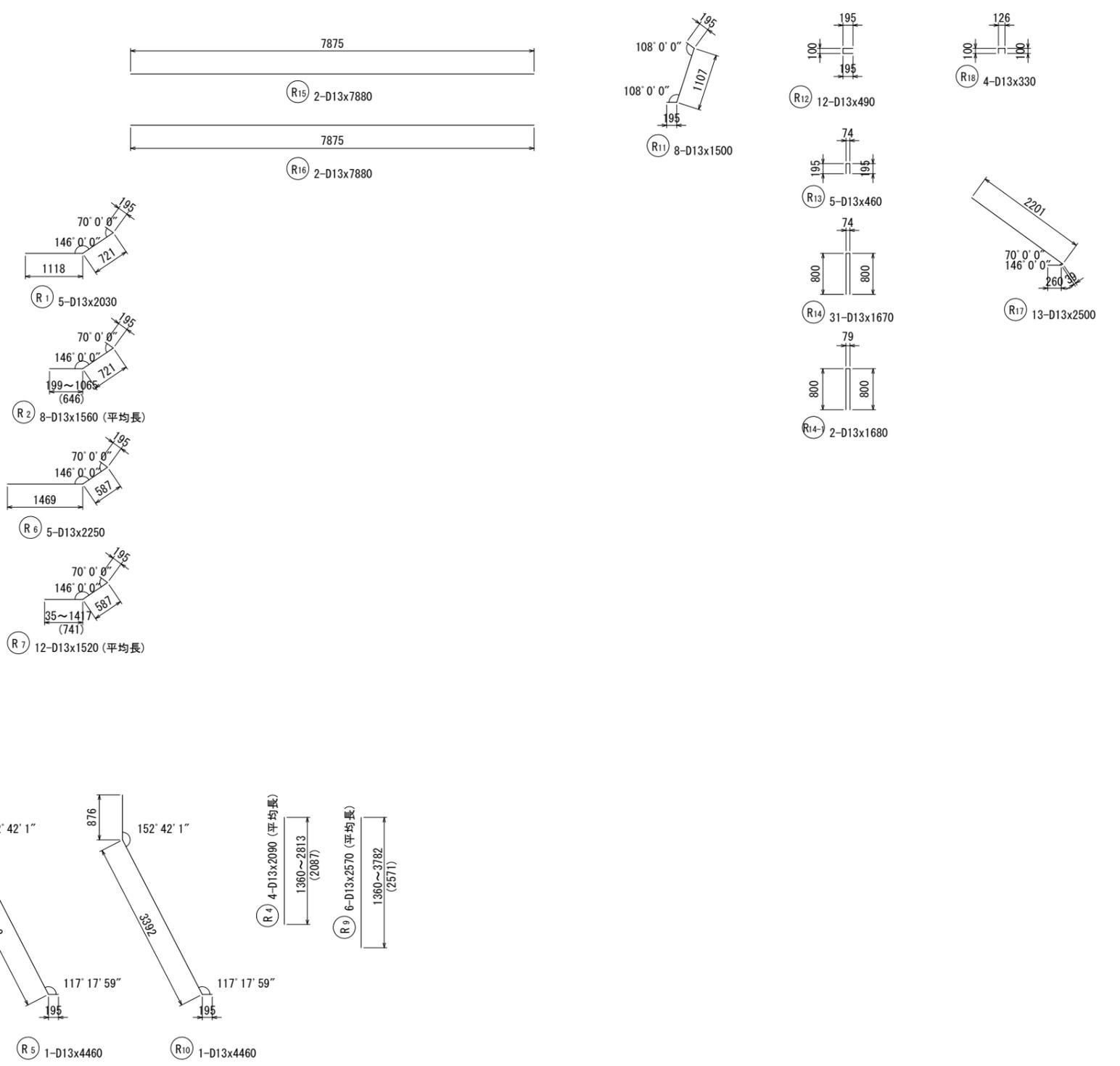


仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	第1号函渠工配筋図(11/12)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	43 / 64	

第1号函渠工配筋図(12/12)

(NO. 114+19.547)
(NO. 28+5.183 市道)
右口翼壁(2/2)



鉄筋重量表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
R1	D13	2030	5	0.995	2.02	10	
R2	D13	1560	8	0.995	1.55	12	(平均長)
R4	D13	2090	4	0.995	2.08	8	(平均長)
R5	D13	4460	1	0.995	4.44	4	
R6	D13	2250	5	0.995	2.24	11	
R7	D13	1520	12	0.995	1.51	18	(平均長)
R9	D13	2570	6	0.995	2.56	15	(平均長)
R10	D13	4460	1	0.995	4.44	4	
R11	D13	1500	8	0.995	1.49	12	
R12	D13	490	12	0.995	0.49	6	
R13	D13	460	5	0.995	0.46	2	
R14	D13	1670	31	0.995	1.66	51	
R14-1	D13	1680	2	0.995	1.67	3	
R15	D13	7880	2	0.995	7.84	16	
R16	D13	7880	2	0.995	7.84	16	
R17	D13	2500	13	0.995	2.49	32	
R18	D13	330	4	0.995	0.33	1	
						D13	221kg
						合計	221kg

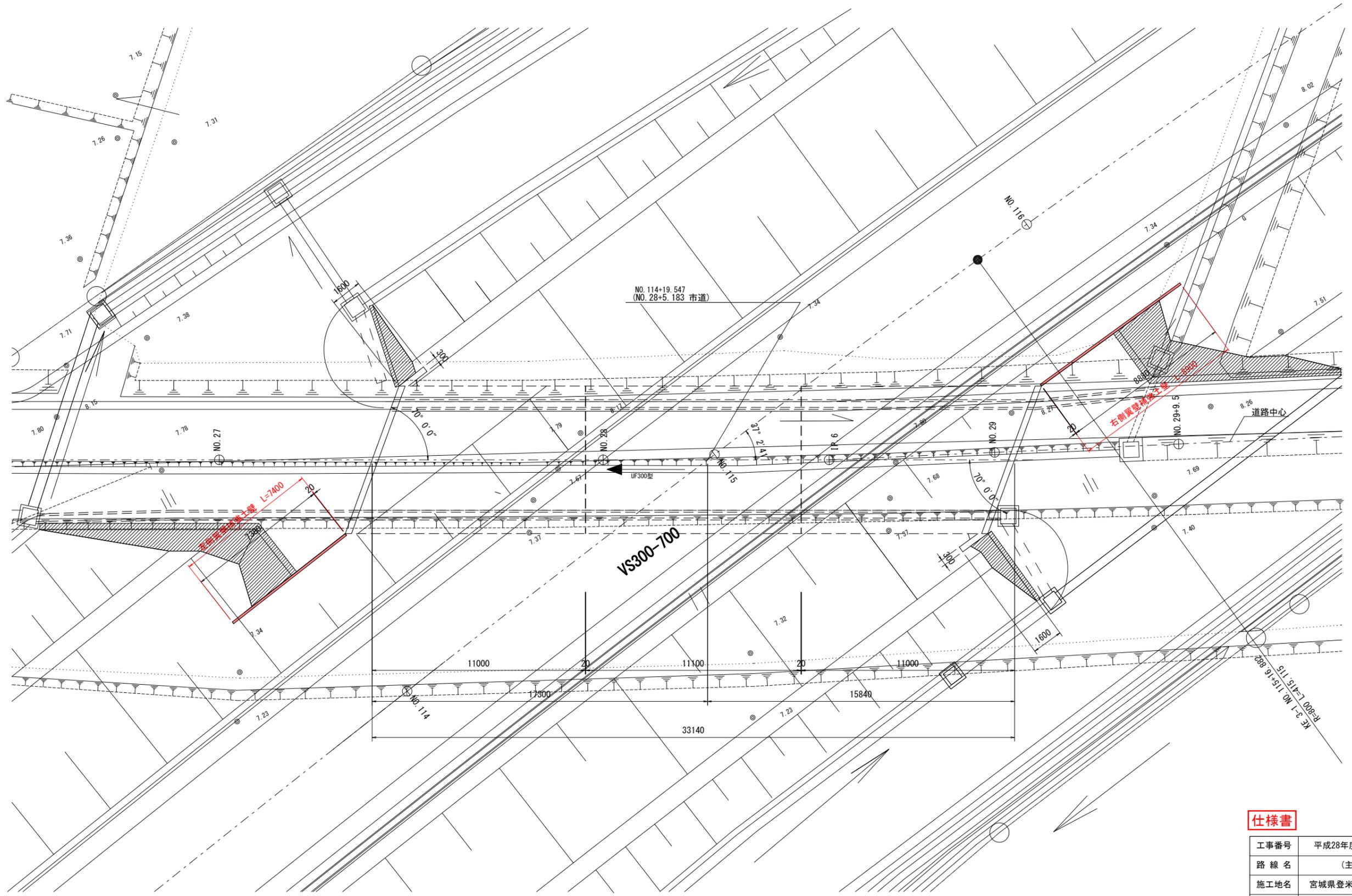
※R3, R8は欠番

仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	第1号函渠工配筋図(12/12)		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	44 / 64	

補強土壁平面位置図

S=1:100

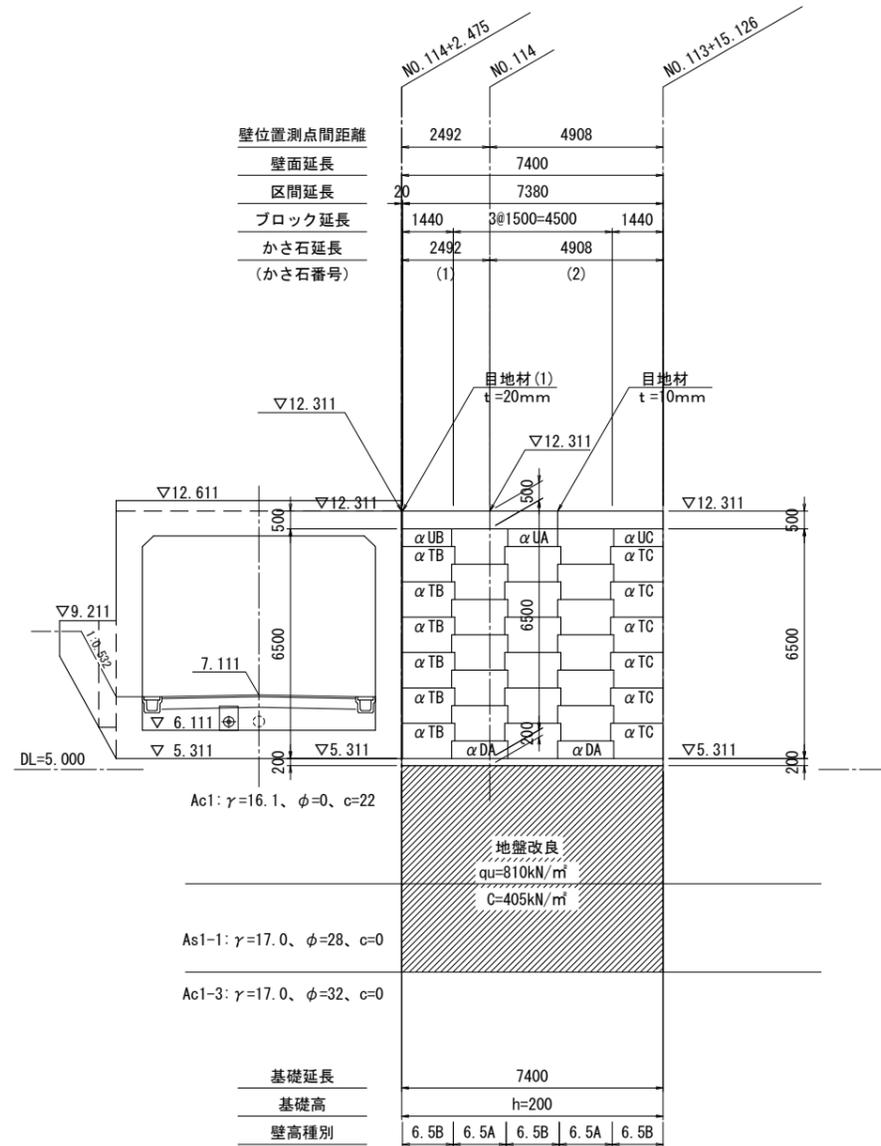


仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	補強土壁平面位置図		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	45 / 64	

補強土壁正面展開図 (参考図)

〈左側翼壁〉 S=1:100



壁位置測点間距離	2492	4908
壁面延長	7400	
区間延長	7380	
ブロック延長	1440	3@1500=4500
かさ石延長	2492	4908
(かさ石番号)	(1)	(2)

補強土壁の設計条件

項目	数値	単位	
盛土材料の土質条件	単位体積重量 γ	19.0	kN/m ³
	粘着力 c	0.0	kN/m ²
	内部摩擦角 ϕ	30.0	°
上載荷重	活荷重	10.0	kN/m ²
耐震設計			
地盤種別	Ⅲ種地盤		
地震動レベル	レベル1地震動		
地域補正係数	1.0 (A地域)		
内部安定・外部安定に用いる設計水平震度	$K_h = 0.18$		
全体安定に用いる設計水平震度	$K_h = 0.12$		
設計安全率			
アンカープレートの引抜けに対する照査	$F_s \geq 3.0$ ($F_s \geq 2.0$)		
滑動に対する安定の照査	$F_s \geq 1.5$ ($F_s \geq 1.2$)		
転倒に対する安定の照査	$e \leq B/6$ ($e \leq B/3$)		
支持に対する安定の照査	$F_s \geq 3.0$ ($F_s \geq 2.0$)		
地盤全体のすべり破壊の照査	$F_s \geq 1.2$ ($F_s \geq 1.0$)		

※()内は、地震時の値とする
 ※盛土材料の土質条件は、施工時に土質試験にて確認する事とする

補強土壁の盛土材料

アンカー補強土壁に用いる盛土材料として、次のものを使用してよい。

- (1) 日本統一土質分類の
 - ・礫質土 (G) (GS) (GF)
 - ・砂質土 (S) (SG) (SF)
 - ・細粒土 (M) (C) (V) 適用に注意して使用
 - ・人工材料 (I) 適用に注意して使用

『多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル』第4版 (土木研究センター) P.90~

- (2) 次表に示す中硬岩、硬岩すり

粒径	250mm超	150mm以上	75μ以下	細粒分が適当に混合した
重量比	0%	25%以下	35%以下	粒度で締め易いもの

『多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル』第4版 (土木研究センター) P.92~

- (3) 水辺への設置

補強土壁の前面が貯水池や調整池などの水辺に設置され水位の影響を受ける場合には、透水性の良い砕石や岩砕などの盛土材料を用いて壁面の前後で水位差が生じないようにする。(水没部分の盛土材料は、透水係数 $k=1.0 \times 10^{-2}$ cm/s以上の材料を用いること)

『多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル』第4版 (土木研究センター) P.179~

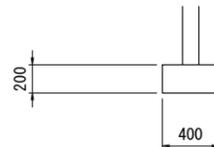
補強土壁の施工上の注意点

- 盛土材料は、三軸圧縮試験によって設計値と同等以上であるか確認することとする。盛土材料の土質定数が設計条件と異なる場合は、補強材料の長さ及び径等が変更となる場合があるため別途協議を行うこととする。
- 基礎地盤は、平板載荷試験等により支持力の確認を行うものとする。
- 壁面材の背面 0.5mに関しては良質な土質材料 (透水性の良い砕石等) で埋め戻しを行うこととする。
- 敷均し厚は、締め層の下層部分でも所定の締め度を確保できることを確認して、一層の敷均し・締め後の仕上り厚及び締め機械を定める。その際、締め後の一層の仕上り厚さは最大0.25mとする。一方、上記のように締め度が確認できない場合、一層の締め後の仕上り厚さは路床に準じて0.20mとする。
『多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル』第4版 財団法人 土木研究センター P.216~
- 排水工計画図に図示された排水工は標準的なものであるため、施工時に基礎地盤や掘削面などからの湧水等がある場合は、別途排水工を増設するなどの対策を十分に行うこととする。

基礎詳細図

布基礎

S=1:25



基礎一覧表

基礎種別	高さ h (mm)	壁前面幅 A (mm)	天端幅 B (mm)	底盤幅 C (mm)	前面勾配 1:n1	背面勾配 1:n2	延長 L (mm)	備考
布基礎	200	—	400	400	—	—	7400	砕石なし
合計							7400	

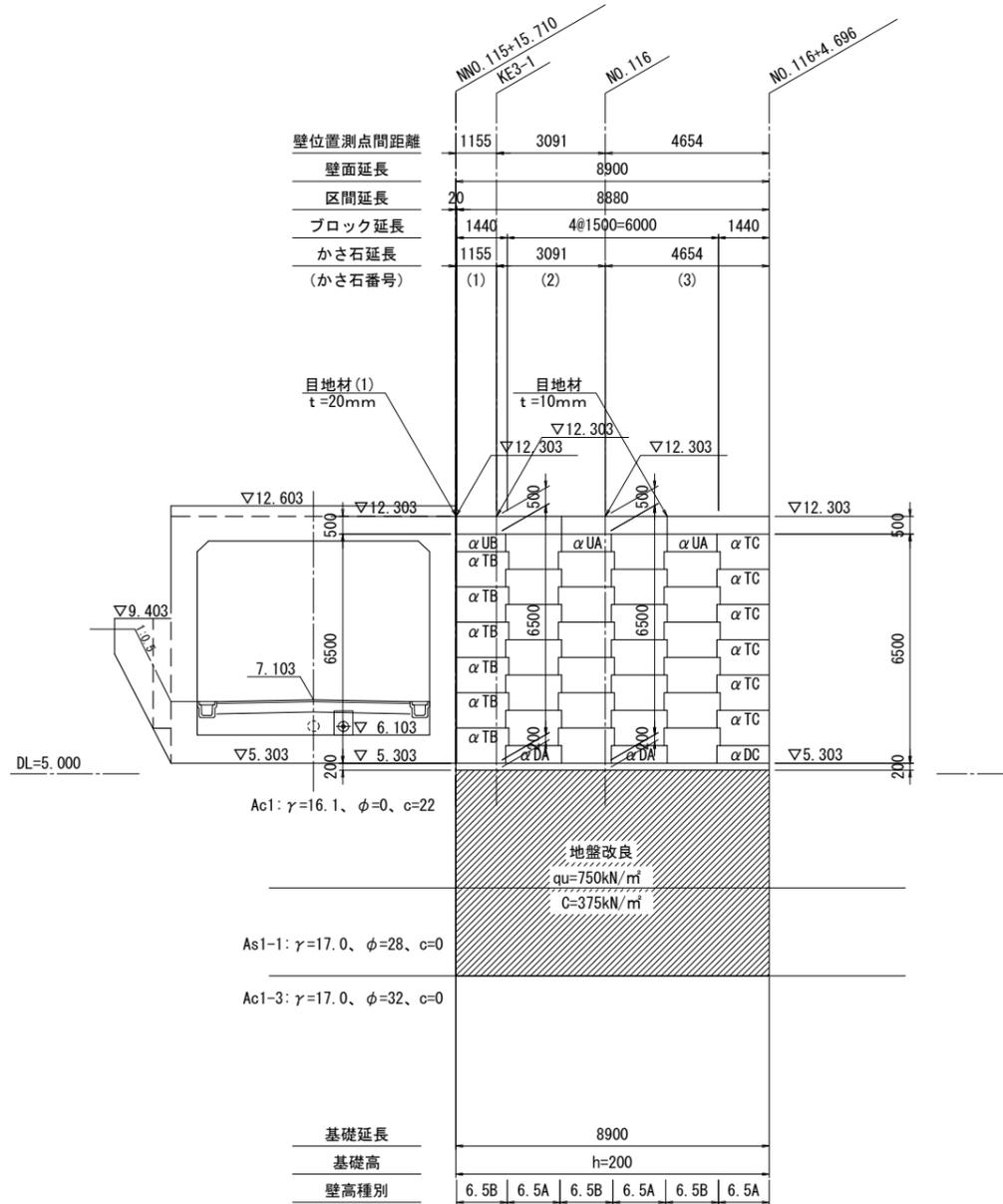
仕様書

(参考図)

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	補強土壁正面展開図<左側翼壁>		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	46 / 64	

補強土壁正面展開図 (参考図)

〈右側翼壁〉 S=1:100



※ 無記名ブロックは、 α TAブロック
 ※ 天端にフルタイプの壁面材 (H=1000mm) を設置する壁高種別は、Aタイプ
 ※ " にハーフタイプの壁面材 (H=500mm) を設置する壁高種別は、Bタイプ

補強土壁の設計条件

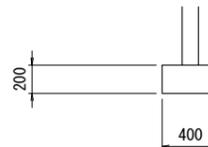
項目	数値	単位	
盛土材料の土質条件	単位体積重量 γ	19.0	kN/m ³
	粘着力 c	0.0	kN/m ²
	内部摩擦角 ϕ	30.0	°
上載荷重	活荷重	10.0	kN/m ²
耐震設計			
地盤種別	Ⅲ種地盤		
地震動レベル	レベル1地震動		
地域補正係数	1.0 (A地域)		
内部安定・外部安定に用いる設計水平震度	Kh = 0.18		
全体安定に用いる設計水平震度	Kh = 0.12		
設計安全率			
アンカープレートの引抜けに対する照査	$F_s \geq 3.0$ ($F_s \geq 2.0$)		
滑動に対する安定の照査	$F_s \geq 1.5$ ($F_s \geq 1.2$)		
転倒に対する安定の照査	$e \leq B/6$ ($e \leq B/3$)		
支持に対する安定の照査	$F_s \geq 3.0$ ($F_s \geq 2.0$)		
地盤全体のすべり破壊の照査	$F_s \geq 1.2$ ($F_s \geq 1.0$)		

※ () 内は、地震時の値とする
 ※ 盛土材料の土質条件は、施工時に土質試験にて確認する事とする

基礎詳細図

布基礎

S=1:25



基礎一覧表

基礎種別	高さ h (mm)	壁前面幅 A (mm)	天端幅 B (mm)	底盤幅 C (mm)	前面勾配 1:n1	背面勾配 1:n2	延長 L (mm)	備考
布基礎	200	—	400	400	—	—	8900	砕石なし
合計							8900	

補強土壁の盛土材料

アンカー補強土壁に用いる盛土材料として、次のものを使用してよい。

- 日本統一土質分類の
 - 礫質土 (G) (Gs) (GF)
 - 砂質土 (S) (SG) (SF)
 - 細粒土 (M) (C) (V) 適用に注意して使用
 - 人工材料 (I) 適用に注意して使用

『多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル』第4版 (土木研究センター) P.90~

- 次表に示す中硬岩、硬岩ずり

粒径	250mm超	150mm以上	75μ以下	細粒分が適当に混合した粒度で締め易いもの
重量比	0%	25%以下	35%以下	

『多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル』第4版 (土木研究センター) P.92~

- 水辺への設置

補強土壁の前面が貯水池や調整池などの水辺に設置され水位の影響を受ける場合には、透水性の良い砕石や岩砕などの盛土材料を用いて壁面の前後で水位差が生じないようにする。(水没部分の盛土材料は、透水係数 $k=1.0 \times 10^{-2}$ cm/s以上の材料を用いること)

『多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル』第4版 (土木研究センター) P.179~

補強土壁の施工上の注意点

- 盛土材料は、三軸圧縮試験によって設計値と同等以上であるか確認することとする。盛土材料の土質定数が設計条件と異なる場合は、補強材料の長さ及び径等が変更となる場合があるため別途協議を行うこととする。
- 基礎地盤は、平板載荷試験等により支持力の確認を行うものとする。
- 壁面材の背面 0.5mに関しては良質な土質材料 (透水性の良い砕石等) で埋め戻しを行うこととする。
- 敷均し厚は、締め層の下層部分でも所定の締め度を確保できることを確認して、一層の敷均し・締め後の仕上り厚及び締め機械を定める。その際、締め後の一層の仕上り厚さは最大0.25mとする。一方、上記のように締め度が確認できない場合、一層の締め後の仕上り厚さは路床に準じて0.20mとする。

『多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル』第4版
 財団法人 土木研究センター P.216~

- 排水工計画図に図示された排水工は標準的なものであるため、施工時に基礎地盤や掘削面などからの湧水等がある場合は、別途排水工を増設するなどの対策を十分に行うこととする。

適用基準	道路土工一擁壁工指針 (平成24年7月: 公益社団法人 日本道路協会)
	多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル 第4版 (平成26年8月: 一般財団法人 土木研究センター)

注) 本設計は、内部安定・外部安定 (滑動、転倒、支持力) ・補強領域を含む全体のすべり破壊の検討とする

仕様書

(参考図)

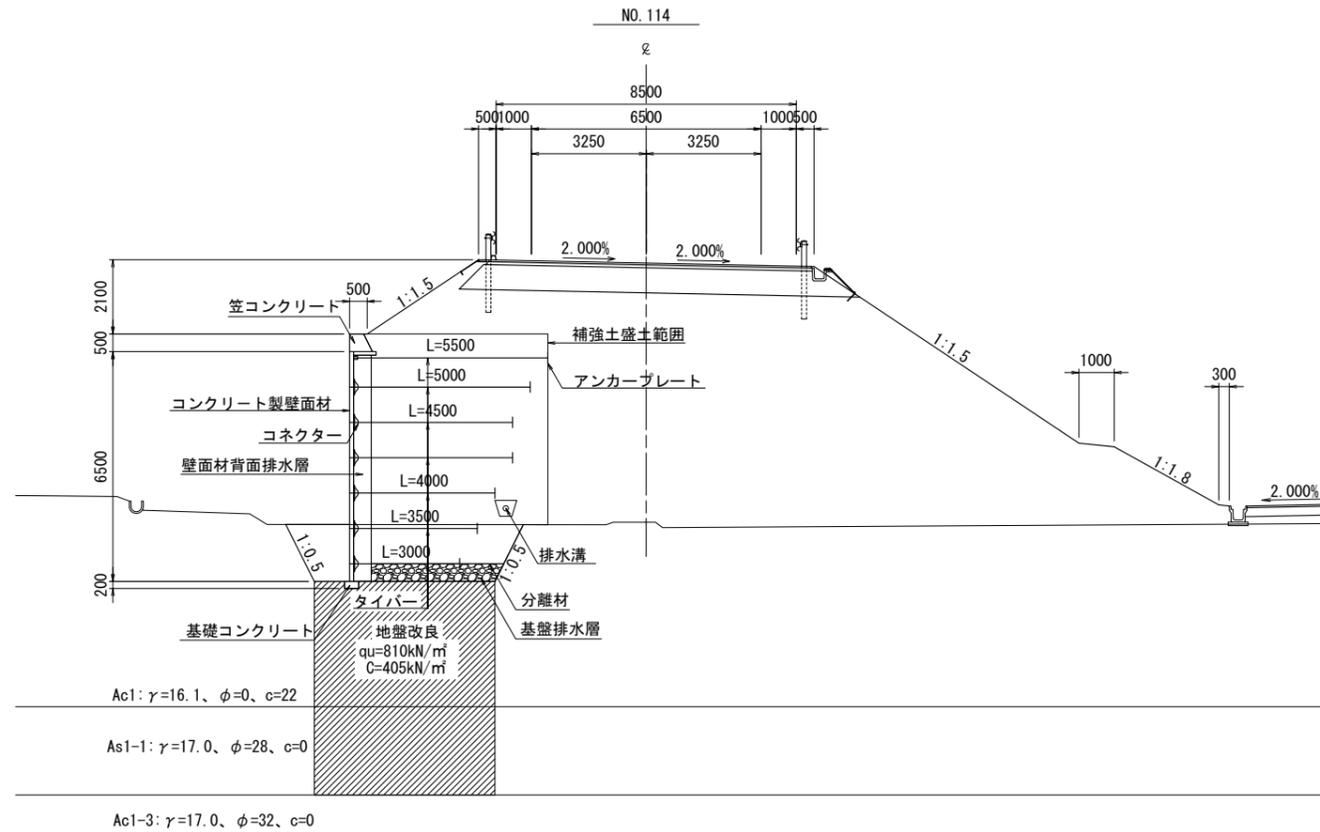
工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	補強土壁正面展開図<右側翼壁>		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	47 / 64	

補強土壁材料表 (参考図)

<左側翼壁>

設計断面図

S=1:100



補強材材料表

Aタイプ使用材料表

段数	タイバー	アンカープレート	サブプレート	コネクター	接続ボルト	壁高種別	補強材列数	
							6.0	6.5
1段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20(8.8T)	補強材長	0	4
2段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20(8.8T)		5500	S
3段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20(8.8T)		5000	D
4段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20(8.8T)		4500	D
5段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20(8.8T)		4000	D
6段	M20	4.5*300*300	4.5*75*75	t 4.5	M22(8.8T)		3500	D
7段	M20	4.5*300*300	4.5*75*75	t 4.5	M22(8.8T)		3000	D

※1~7段はタイバー間隔@750mm
 ※1~7段はサブプレート4.5*75*75あり
 例) $\frac{8.0}{4} | \frac{8.5}{2}$ — 壁高(m)
 — タイバー間隔@750mmの場合の列数(本)

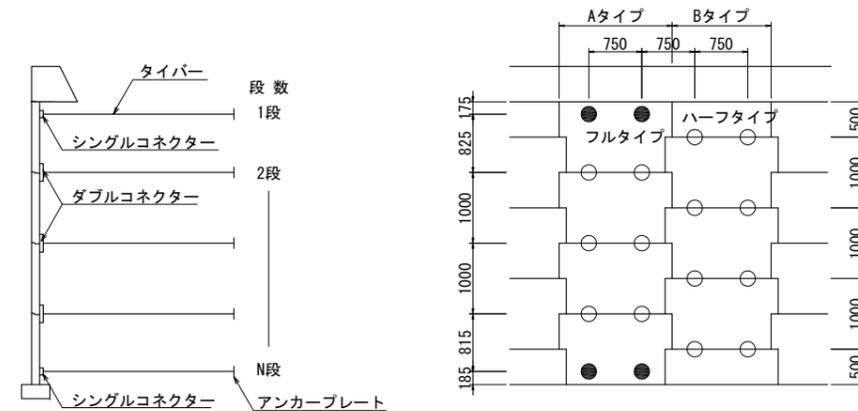
Bタイプ使用材料表

段数	タイバー	アンカープレート	サブプレート	コネクター	接続ボルト	壁高種別	補強材列数	
							6.5	7.0
1段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20(8.8T)	補強材長	6	0
2段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20(8.8T)		D	5500
3段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20(8.8T)		D	5000
4段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20(8.8T)		D	4500
5段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20(8.8T)		D	4500
6段	M20	4.5*300*300	4.5*75*75	t 4.5	M22(8.8T)		D	3500
7段	M20	4.5*300*300	4.5*75*75	t 4.5	M22(8.8T)		S	3000

※1~7段はタイバー間隔@750mm
 ※1~7段はサブプレート4.5*75*75あり
 例) $\frac{8.0}{4} | \frac{8.5}{2}$ — 壁高(m)
 — タイバー間隔@750mmの場合の列数(本)

補強材配置概要図

S=1:50



注) ●、○印は、補強材(タイバー)の取付位置を表す
 注) ●部分はシングルコネクターを使用し、○部分はダブルコネクターを使用する
 注) 天端にフルタイプの壁面材(H=1000mm)を設置する場合は「Aタイプ」とし、
 ハーフタイプの壁面材(H=500mm)を設置する場合は「Bタイプ」とする

仕様書

(参考図)

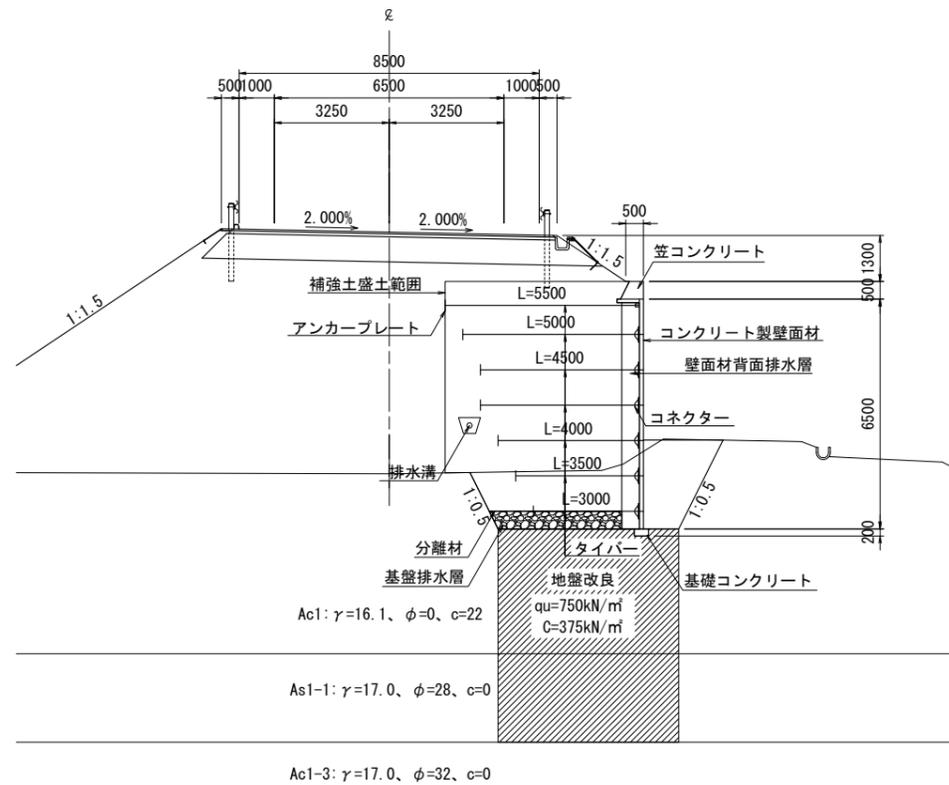
工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	補強土壁材料表<左側翼壁>		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	48 / 64	

補強土壁材料表 (参考図)

<右側翼壁>

設計断面図

S=1:100
KE3-1 (NO. 115+16.88)



補強材材料表

Aタイプ使用材料表

段数	タイバー	アンカープレート	サブプレート	コネクター	接続ボルト	壁高種別	
						6.0	6.5
1段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20 (8.8T)	補強材列数	0 6
2段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20 (8.8T)	補強材長	5500 S
3段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20 (8.8T)		5000 D
4段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20 (8.8T)		4500 D
5段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20 (8.8T)		4000 D
6段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20 (8.8T)		3500 D
7段	M20	4.5*300*300	4.5*75*75	t 4.5	M22 (8.8T)		3000 D

※1~7段はタイバー間隔@750mm
 ※1~7段はサブプレート4.5*75*75あり
 例) 8.0 | 8.5 — 壁高(m)
 4 | 2 — タイバー間隔@750mmの場合の列数(本)

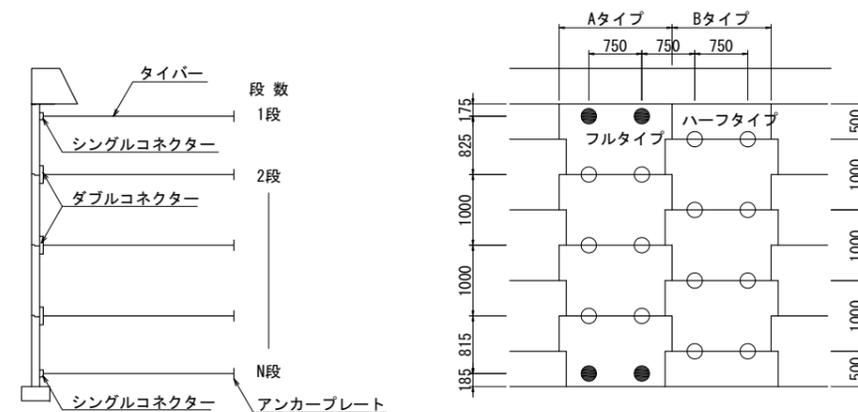
Bタイプ使用材料表

段数	タイバー	アンカープレート	サブプレート	コネクター	接続ボルト	壁高種別	
						6.5	7.0
1段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20 (8.8T)	補強材列数	6 0
2段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20 (8.8T)	補強材長	D 5500
3段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20 (8.8T)		D 5000
4段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20 (8.8T)		D 4500
5段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20 (8.8T)		D 4000
6段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t 3.2	M20 (8.8T)		D 3500
7段	M20	4.5*300*300	4.5*75*75	t 4.5	M22 (8.8T)		S 3000

※1~7段はタイバー間隔@750mm
 ※1~7段はサブプレート4.5*75*75あり
 例) 8.0 | 8.5 — 壁高(m)
 4 | 2 — タイバー間隔@750mmの場合の列数(本)

補強材配置概要図

S=1:50



注) ●、○印は、補強材(タイバー)の取付位置を表す
 注) ●部分はシングルコネクターを使用し、○部分はダブルコネクターを使用する
 注) 天端にフルタイプの壁面材(H=1000mm)を設置する場合は「Aタイプ」とし、
 ハーフタイプの壁面材(H=500mm)を設置する場合は「Bタイプ」とする

仕様書

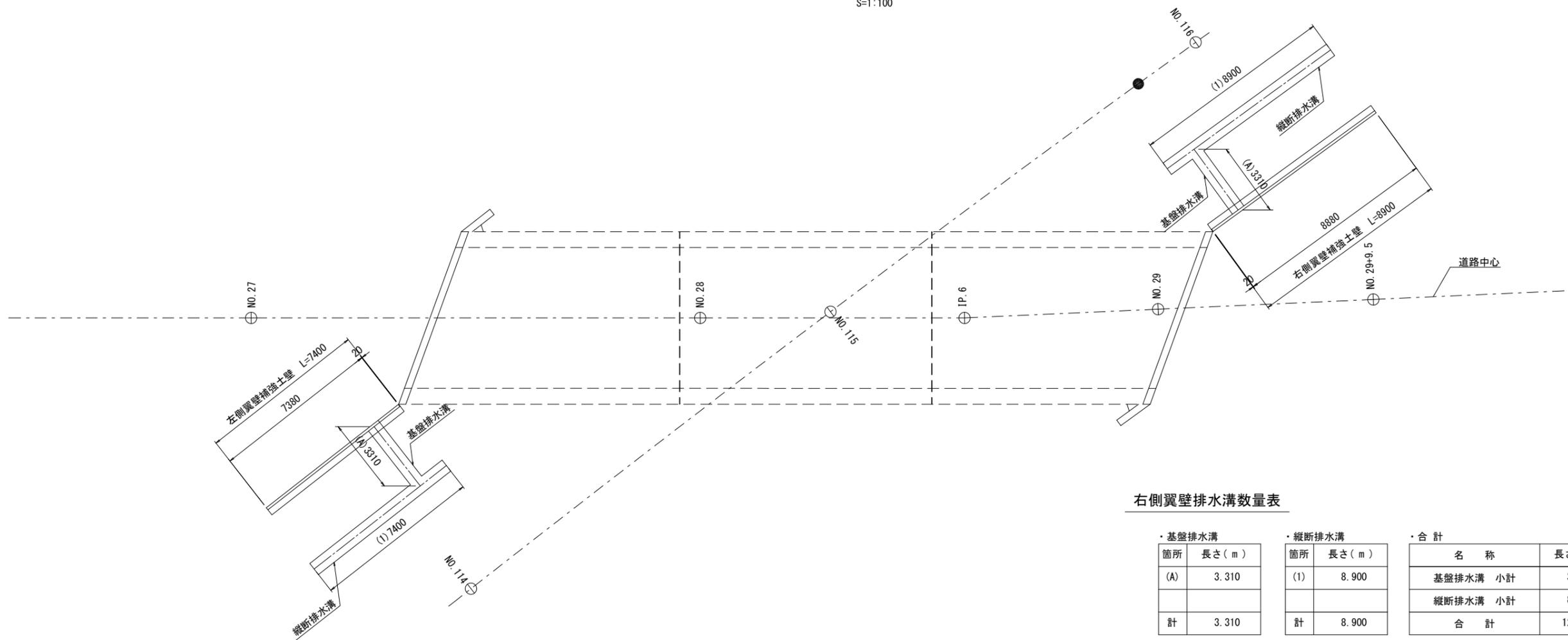
(参考図)

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	補強土壁材料表<右側翼壁>		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	49 / 64	

補強土壁排水詳細図

排水溝平面位置図

S=1:100



右側翼壁排水溝数量表

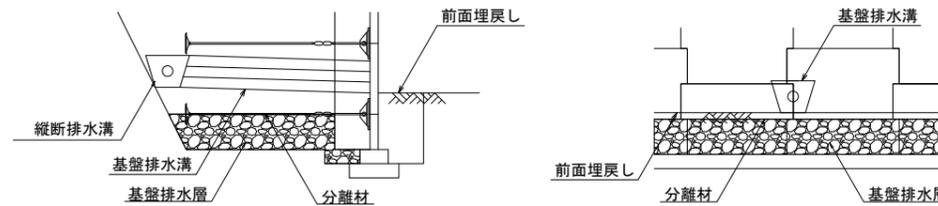
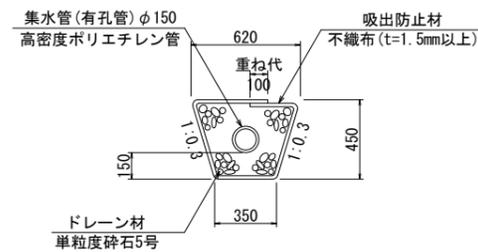
・基盤排水溝		・縦断排水溝		・合計	
箇所	長さ(m)	箇所	長さ(m)	名称	長さ(m)
(A)	3.310	(1)	8.900	基盤排水溝 小計	3.310
				縦断排水溝 小計	8.900
計	3.310	計	8.900	合計	12.210

左側翼壁排水溝数量表

・基盤排水溝		・縦断排水溝		・合計	
箇所	長さ(m)	箇所	長さ(m)	名称	長さ(m)
(A)	3.310	(1)	7.400	基盤排水溝 小計	3.310
				縦断排水溝 小計	7.400
計	3.310	計	7.400	合計	10.710

排水溝詳細図

S=1:20



注) 排水溝は縦断および横断方向に設置することとする
 ただし横断方向の排水溝(基盤排水溝)は5~10m程度の間隔で設置することとする
 注) 排水溝は標準的なものであり、現場状況によって増設することとする
 注) 基盤排水溝は、埋戻しより高い位置とし、壁面材間の目地に合わせて設置すること
 注) 排水溝に埋設する集水管は、内径150~300mmとする
 またドレーン材の長期排水機能を確保するため、ドレーン材周囲に吸出防止材を設置するものとする
 『道路土工 盛土工指針』(日本道路協会)P.162およびP.176より

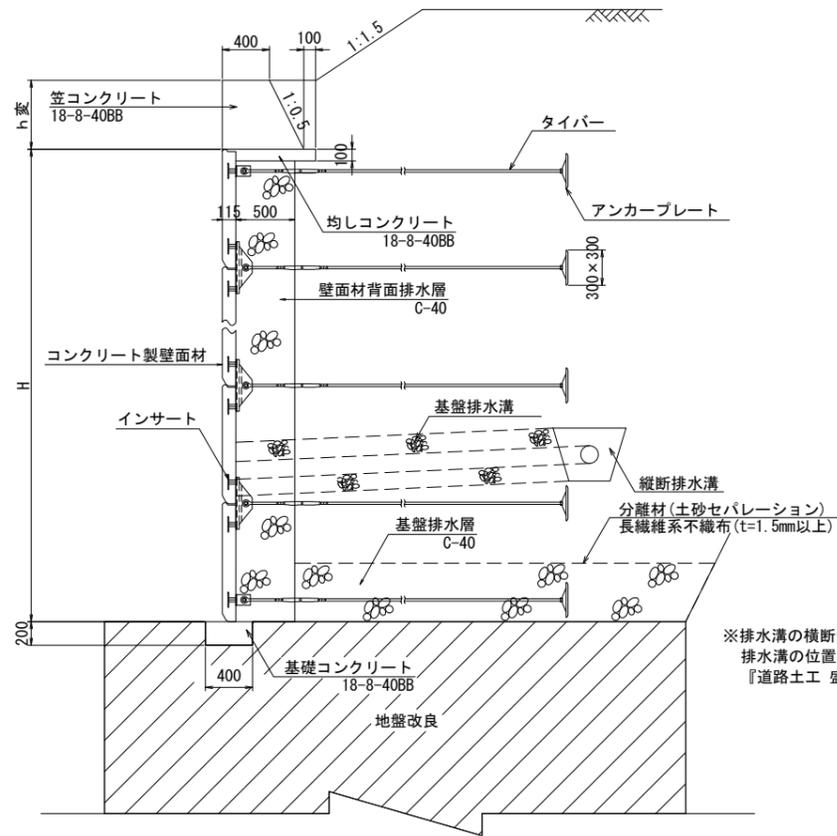
仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	補強土壁排水詳細図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	50 / 64	

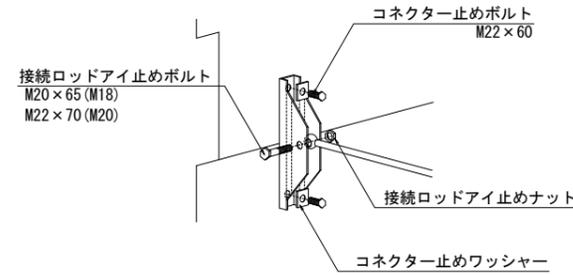
補強土壁詳細図(1) (参考図)

地覆詳細図

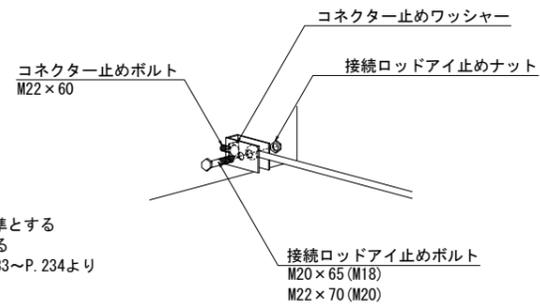
S=1:30



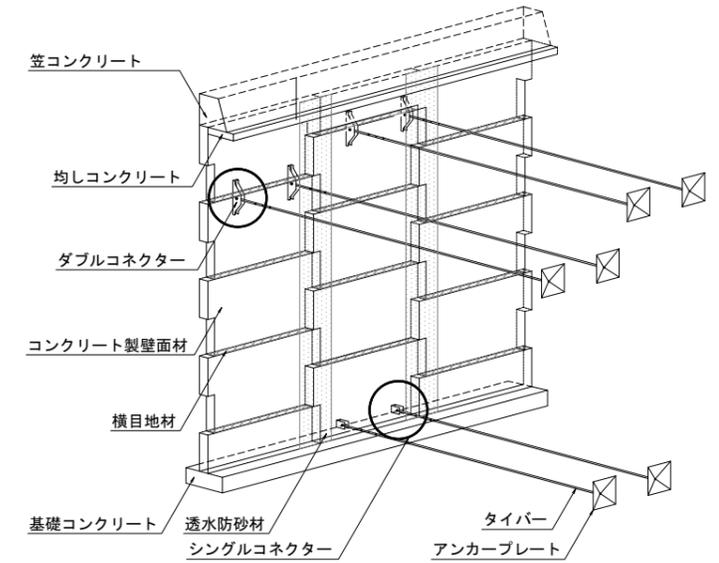
ダブルコネクター詳細図



シングルコネクター詳細図

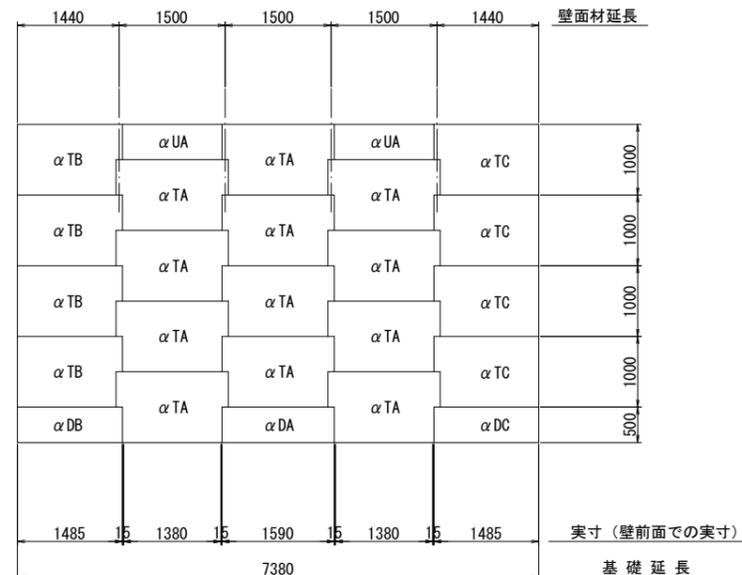


補強土壁工 概要図



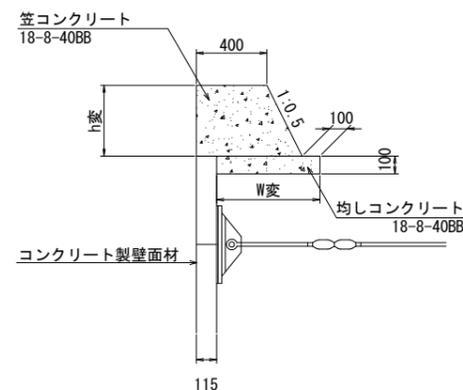
コンクリート製壁面材配置詳細図

S=1:50



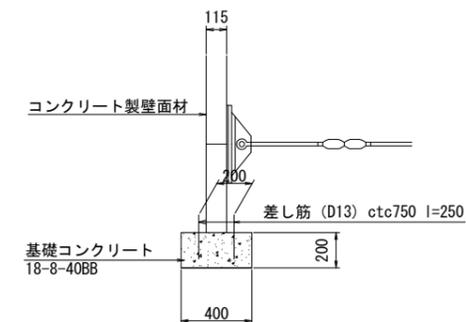
天端工詳細図

S=1:20



基礎工詳細図

S=1:20



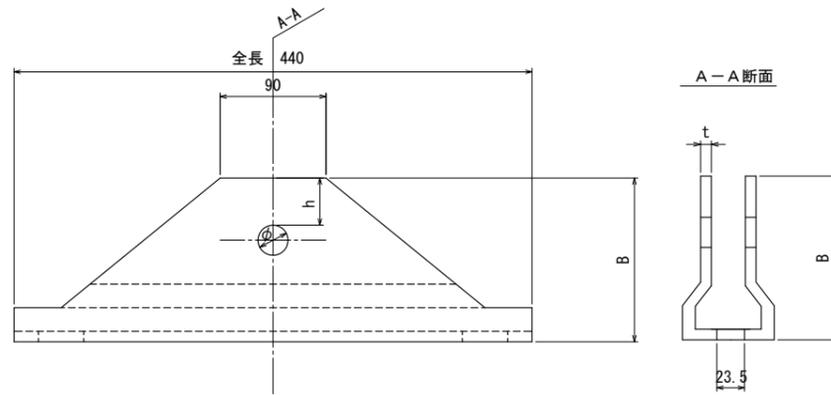
仕様書

(参考図)

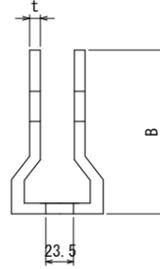
工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	補強土壁詳細図(1)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	51 / 64	

補強土壁詳細図(2) (参考図)

ダブルコネクタ詳細図
側面図 S=1:3



A-A断面



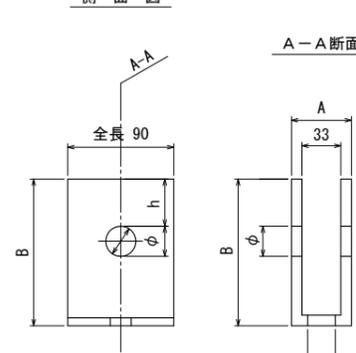
平面図



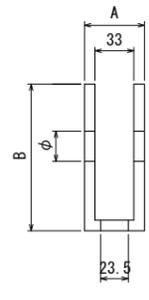
【ダブルコネクタの種類と寸法】

呼称	厚さ t [mm]	長さ [mm]	φ [mm]	h [mm]	A [mm]	B [mm]
SM3.2D	3.2	440.0	21.5	53.5	66.4	133.2
SM4.5D	4.5	440.0	23.5	52.5	69.0	134.5

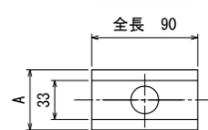
シングルコネクタ詳細図
側面図 S=1:3



A-A断面



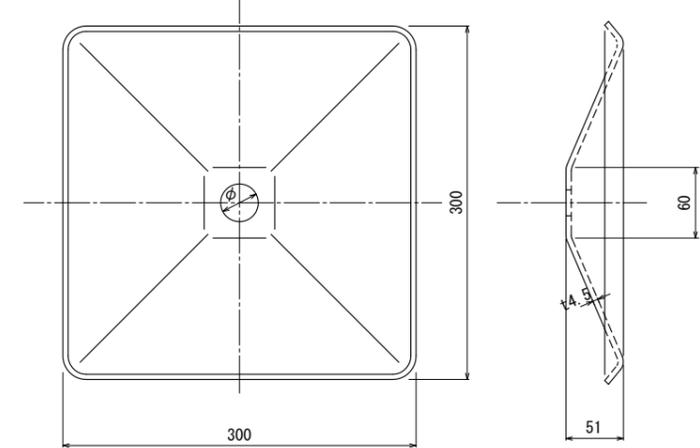
平面図



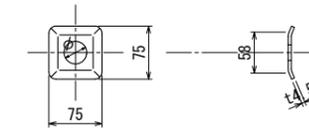
【シングルコネクタの種類と寸法】

呼称	厚さ t [mm]	長さ [mm]	φ [mm]	h [mm]	A [mm]	B [mm]
SM3.2S	3.2	90.0	21.5	42.0	39.4	108.7
SM4.5S	4.5	90.0	23.5	41.0	42.0	110.0

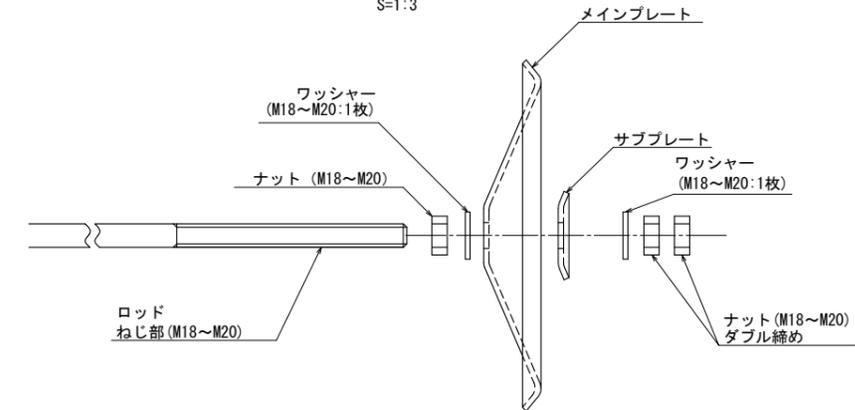
メインプレート詳細図
S=1:3



サブプレート詳細図
S=1:20



アンカープレート取付け詳細図
S=1:3



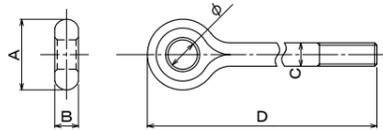
【メインプレートの諸元】

適用タイパー	規格寸法 (mm)	φ (mm)	板厚 (mm)	ワッシャー
M18	300×300	19.5	4.5	M18用ワッシャー:1枚
M20		21.5		M20用ワッシャー:1枚

【サブプレートの諸元】

適用タイパー	規格寸法 (mm)	φ (mm)	板厚 (mm)	ワッシャー
M18	75×75	19.5	4.5	M18用ワッシャー:1枚
M20		21.5		M20用ワッシャー:1枚

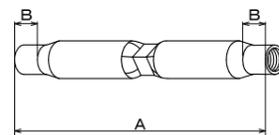
接続ロッドアイ詳細図
S=1:3



【接続ロッドアイの種類と寸法】

呼称	φ [mm]	A [mm]	B [mm]	C [mm]	D [mm]
M18	21	48	16	16	465
M20	23.5	58	20	18	465

ターンバックル詳細図
S=1:3



【ターンバックルの種類と寸法】

呼称	A [mm]	B [mm]	保証荷重 (kN)
M18	280	27	62.4
M20	280	27	79.6

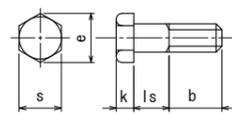
ロッド(棒鋼)詳細図
S=1:3



【ロッドの種類と寸法】

呼称	M18	M20
丸鋼径 φ [mm]	16	18

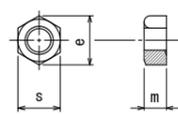
接続ロッドアイ止めボルト詳細図
S=1:3



【接続ロッドアイ止めボルトの種類と寸法】

適用タイパー	ねじの呼び	k (mm)	s (mm)	e (mm)	l (mm)	b (mm)	強度区分
M18	M20	13	30	34.6	30	35	8.8
M20	M22	14	32	37	30	40	8.8

接続ロッドアイ止めナット詳細図
S=1:3



【接続ロッドアイ止めナットの種類と寸法】

適用タイパー	ねじの呼び	e (mm)	s (mm)	m (mm)
M18	M20	34.6	30	16
M20	M22	37.0	32	18

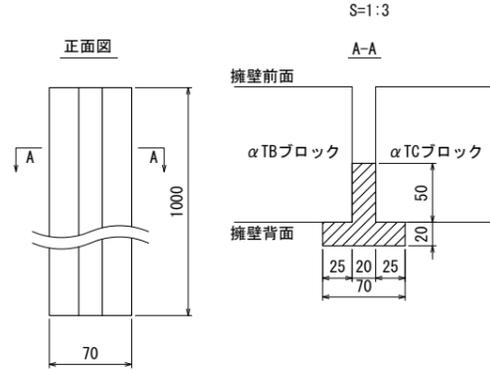
仕様書

(参考図)

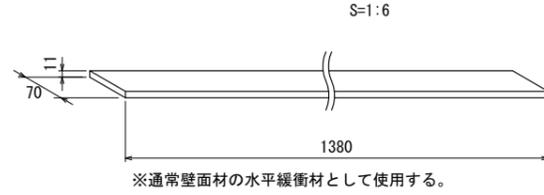
工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主) 築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	補強土壁詳細図(2)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	52 / 64	

補強土壁詳細図(3) (参考図)

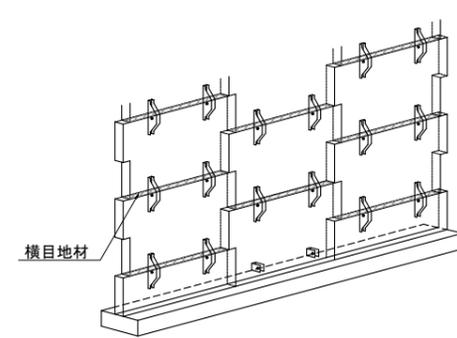
縦目地材T型(標準用)詳細図



横目地材詳細図

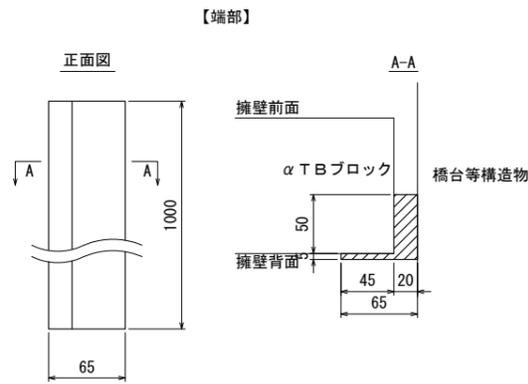


横目地材配置詳細図

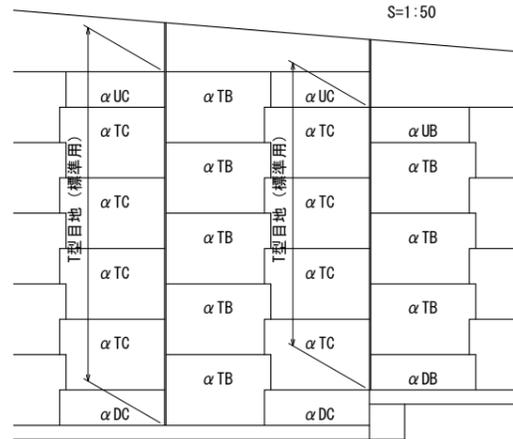


※横目地材はコンクリート製壁面材同士が接する箇所に使用する。

縦目地材L型(端部・コーナー用)詳細図

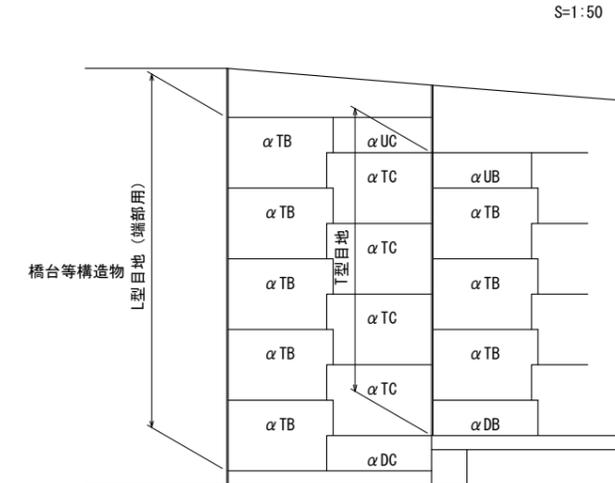


縦目地材T型(標準用)配置詳細図



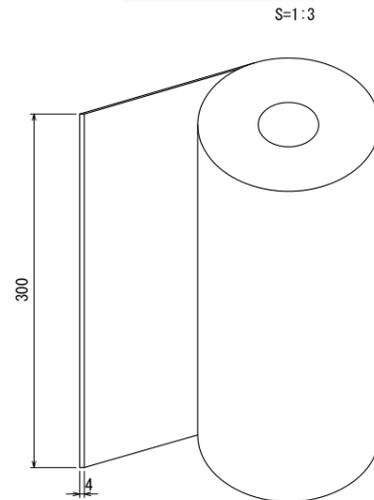
※縦目地材T型(標準用)はブロック同士が接する箇所に使用する。

縦目地材L型(端部・コーナー用)設置詳細図

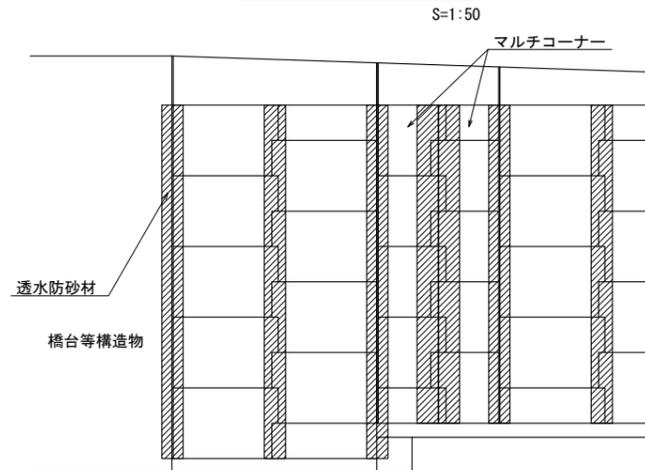


※縦目地材L型(端部・コーナー用)はブロックが構造物に接する時もしくは、ブロック同士が接する箇所に使用する。

透水防砂材詳細図



透水防砂材配置詳細図



※マルチコーナーの角度が140°以上の場合、折れ点位置で透水防砂材を2枚使用

【部材の規格】

部材	規格	種別、品種等
コンクリート製壁面材およびコーナーブロック	設計基準強度 f _{ck} =40N/mm ² 以上	
タイバー	ロッド(棒鋼)	JIS G 3138 建築構造用圧延棒鋼 SNR490B 溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZ55
	接続ロッドアイ	JIS G 3138 建築構造用圧延棒鋼 SNR490B 溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZ55
	ターンバックル	JIS G 3475 建築構造用炭素鋼管 STKN400W、B、STKN490B 溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZ55
	カブラー	JIS G 4051 機械構造用炭素鋼鋼材 S45C 溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZ55
メインプレート サブプレート	JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材 SS400 溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZ55	
コネクター	JIS G 3106 溶接構造用圧延鋼材 SM490 溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZ55	
ボルト	JIS B 1180 六角ボルト 溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZ55	
ナット	JIS B 1181 六角ナット 溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZ55 アンカープレート止めナット:S45C	
透水防砂材	ポリエステル連続長繊維不織布	
横目地材	発泡ポリスチレン樹脂	
縦目地材T型(標準用)	発泡ポリエチレン樹脂	
縦目地材L型(端部用)	発泡ポリエチレン樹脂	

仕様書

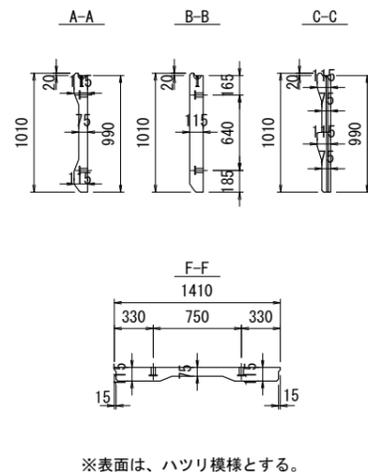
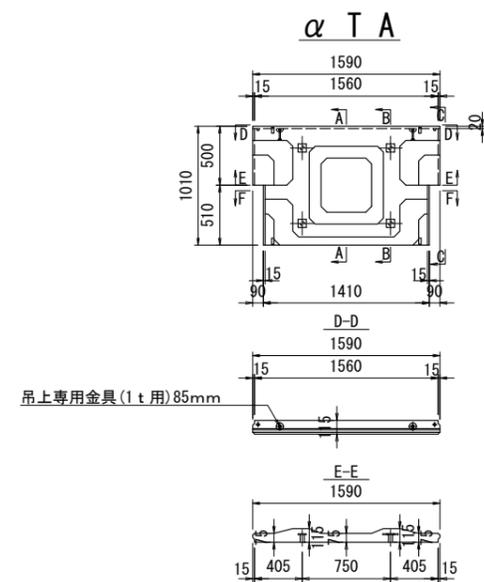
(参考図)

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	補強土壁詳細図(3)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	53 / 64	

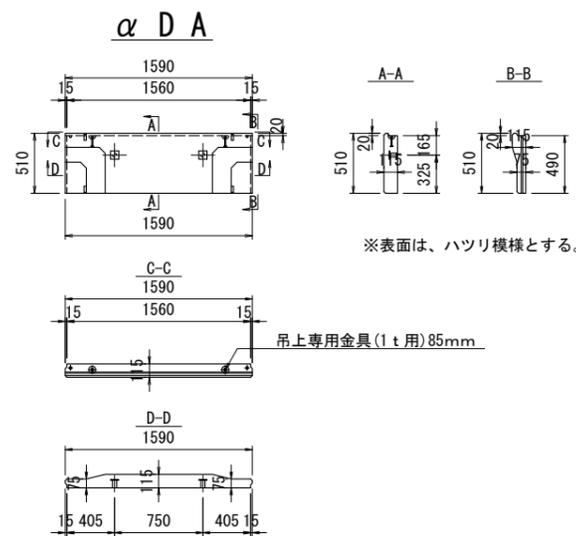
補強土壁詳細図(4) (参考図)

コンクリート製壁面材詳細図

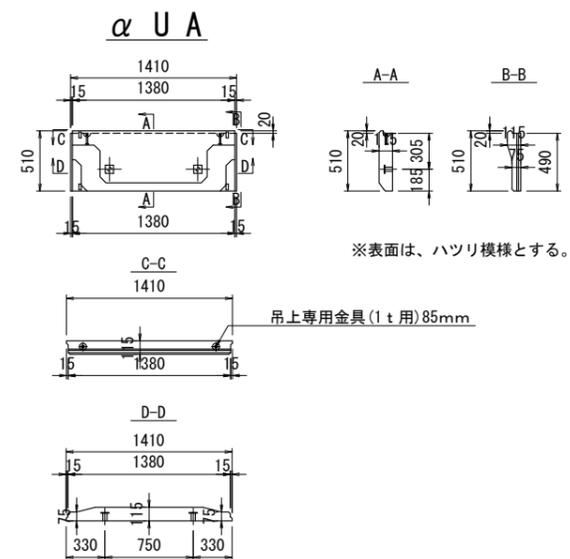
S=1:30



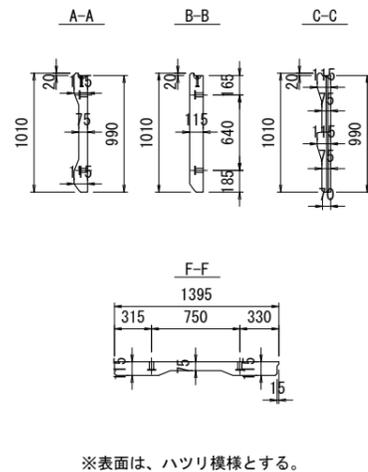
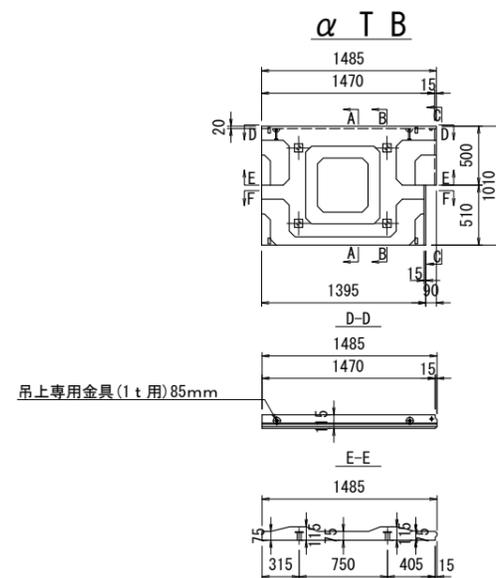
※表面は、ハツリ模様とする。



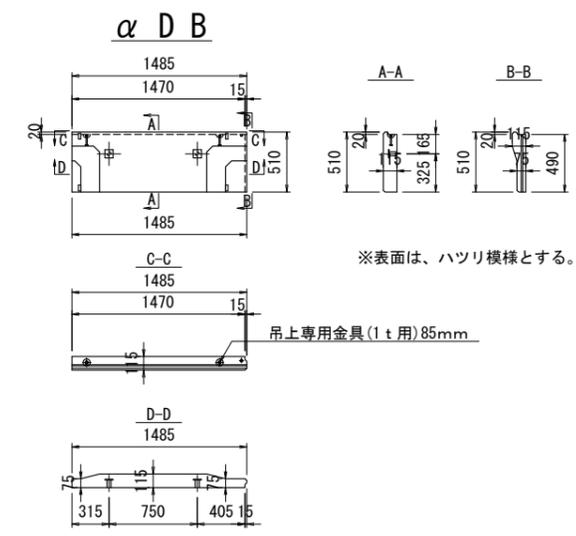
※表面は、ハツリ模様とする。



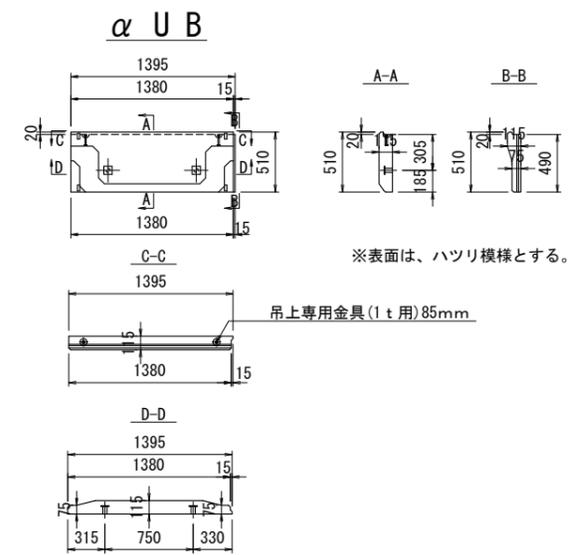
※表面は、ハツリ模様とする。



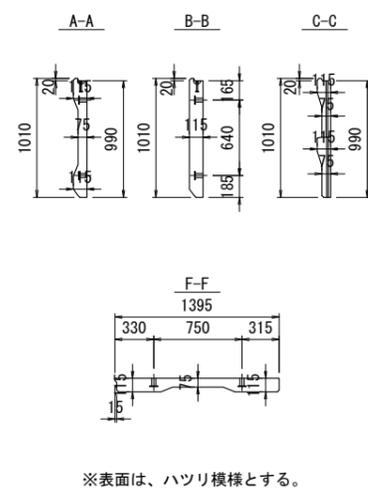
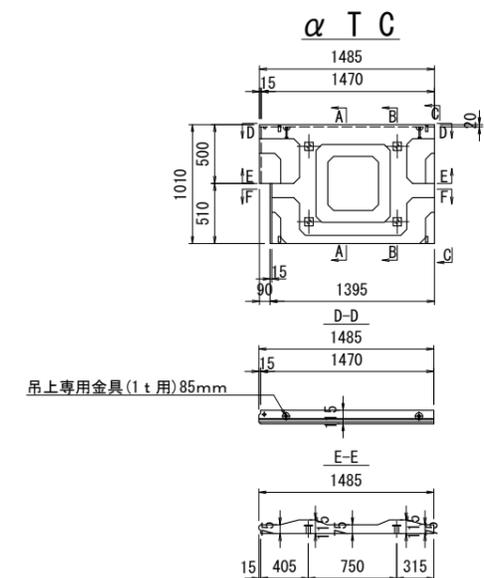
※表面は、ハツリ模様とする。



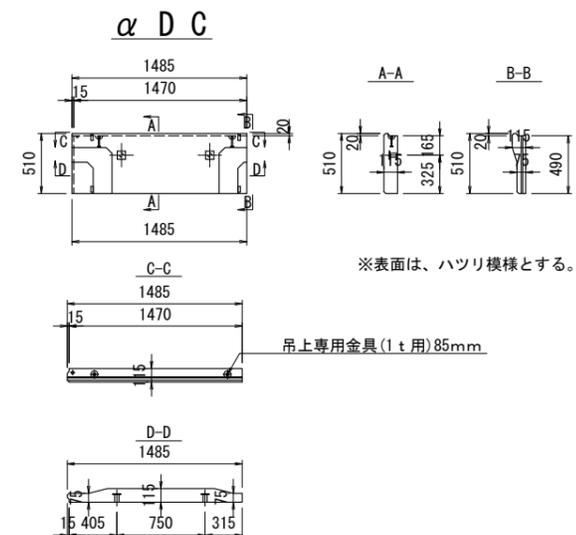
※表面は、ハツリ模様とする。



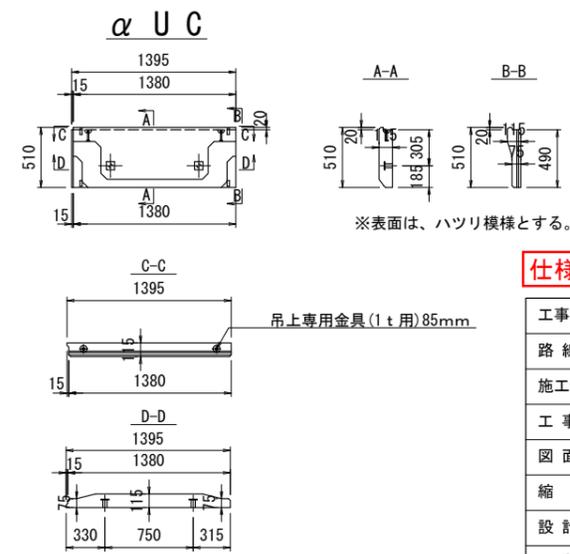
※表面は、ハツリ模様とする。



※表面は、ハツリ模様とする。



※表面は、ハツリ模様とする。



※表面は、ハツリ模様とする。

仕様書

(参考図)

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	補強土壁詳細図(4)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	54 / 64	

補強土壁詳細図(5) (参考図)

1. 施工手順

多数アンカー式補強土壁の施工を円滑かつ確実なものとするために、補強土壁工法の施工手順を定めておくものとする。
多数アンカー式補強土壁工法の標準的な施工手順を示す。(図-1)

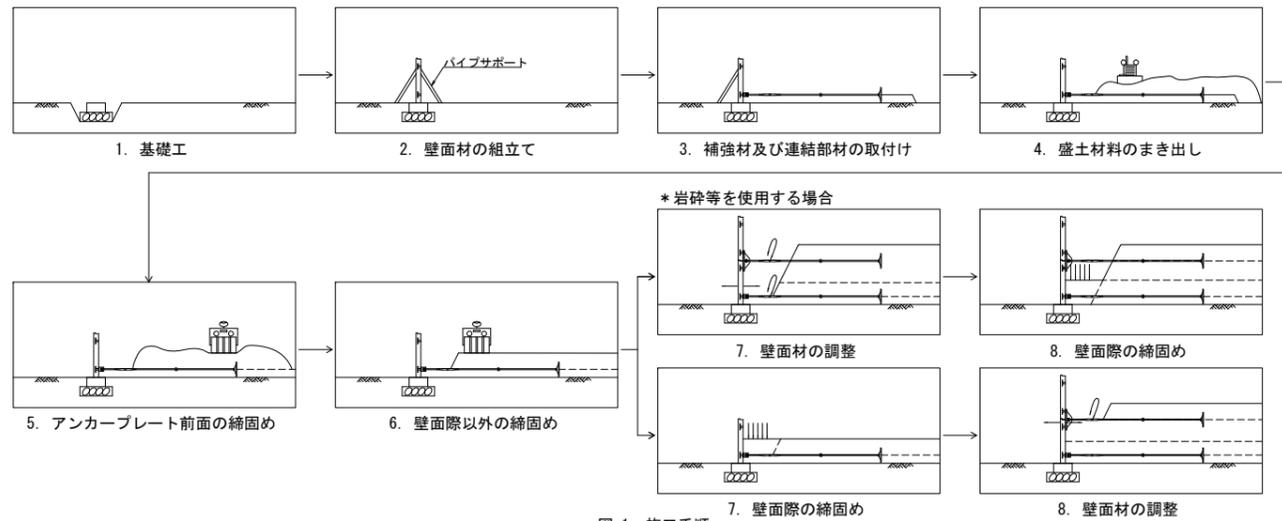


図-1. 施工手順

「多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル 第4版」(土木研究センター) P.191より

2. 施工機械

多数アンカー式補強土壁工法に用いる施工機械の一列を示す。(表-1)

表-1 使用する施工機械の例

機種	規格	台数	備考
トラッククレーン	油圧式4.9t級	1	ブロック吊り込み
ブルドーザ	11t級	1	盛土材料のまきだし、敷均し
バックホウ	0.45m ³	1	壁面際の盛土材料のまきだし
タイヤローラ	8~20t級	1	盛土材料の締固め
振動ローラ	ハンドガイド式1.0t級	1	壁面際の盛土材料の締固め

「多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル 第4版」(土木研究センター) P.198より

3. 使用工具

多数アンカー式補強土壁工法の組立に必要な治具や道具のうち、基本的なものを示す。(表-2)

表-2 使用工具表(参考)

種類	規格	数量	使用方法
片ラチェット 又はモンキーレンチ 又はスパナ	M18用(27mm)	1	アンカープレート設置用 ※必要に応じて準備すること
	M20用(30mm)	1	
	M22用(32mm)	1	
	M24用(36mm)	1	
	M27用(41mm)	1	
	M20用(30mm)	1	
M22用(32mm)	1		
M24用(36mm)	1		
パイプレンチ	W 1/2 ~ 1 1/2 350mm	1	カブラー接続用
バール(大、小)		各1	壁面材設置用
水準器		1	壁面材設置用
くさび 又はレベルプレート		適宜	壁面材設置用、レベル調整用
シャックル	19mm、耐力10kN以上	2	壁面材吊上げ用
ワイヤー	9mm、1mもの ワイヤー径3分相当	2	壁面材吊上げ用
モルタル		適宜	基礎コンクリートと最下段 ブロック間詰め用
かけや		1	壁面調整用
カッターナイフ		1	
下げ振り		1	壁面調整用
トランシット		1	壁面調整用
レベル		1	壁面調整用
メジャー		1	
サポート		適宜	最下段壁面材設置用
差し筋	D13、L250mm程度	適宜	最下段壁面材転倒防止
吊上げ専用金具		2	壁面吊上げ用
Tレンチ	M22用(32mm)	2	コネクター取付用
Lレンチ	M22用(32mm)	1	コネクター取付用
間隔定規	L1.5m	1	壁面材設置時使用
壁面調整用治具		1	壁面調整用

※ここに示されない工具等については、各々の現場で必要に応じて準備する。

「多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル 第4版」(土木研究センター) P.201より

4. 締固め品質管理

盛土締固め品質管理基準を示す。

- 多数アンカー式補強土壁の壁面とアンカープレートに挟まれた領域の盛土材の締固めは、突固めによる土の締固め試験方法(JIS-A-1210)による最大乾燥密度に対してA法またはB法の場合は95%以上に、C、DまたはE法の場合は90%以上に締固めることを標準とする。
- (1)に示す基準密度による規定が適用しにくい自然含水比の高い粘性土に対しては、飽和度または空気間隙率で規定する方法を用いることができる。空気間隙率によって規定する場合には、空気間隙率を8%以下とすることが望ましい。
- 岩砕や粒径の大きな粗粒材等の品質管理が難しい材料を用いる場合、工法規定に基づく締固め管理を用いることができる。
- 締固め度の検査は、品質管理試験による場合、締固め土量500m³あたり1箇所の割合で行うことを標準とする。
※締固め度の測定は、壁面材からアンカープレート側2mまでの位置を除く、任意の位置とし、補強材の埋設位置を避ける。

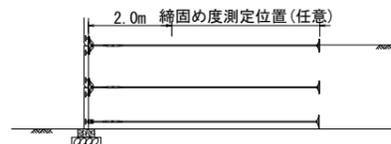


図-2 締固め度の密度測定要領

「多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル 第4版」(土木研究センター) P.221より

5. 壁面材組立て時の出来形

多数アンカー式補強土壁の壁面材は、ターンバックルによる壁面調整が可能であり、壁面材の鉛直度を1枚ごとに正確に管理することができる。壁面は、前傾斜している場合には、安定の問題以前に、圧迫感や変形に対する不安感を与えるため、鉛直もしくは後傾するように施工することを原則とし、出来形管理基準を満足するように、隣接する壁面材の組立て時の目違いは1cm以内に収める。
「多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル 第4版」(土木研究センター) P.224より

6. 出来形管理

出来形管理基準を示す。(表-3)

表-3 出来形管理基準

工種	測定項目	測定基準	管理値(目安)
基礎コンクリート	設置高さ	延長30mごとに1箇所および変化点ごとに測定	±5.0 (cm)
		傾斜度	縦断方向 延長1.5mごとの相対誤差 1.0 (cm)
	傾斜度	横断方向 延長1.5mごとに基礎幅方向の相対誤差	1.0 (cm)
壁面	鉛直度	延長30mごとに1箇所および変化点ごとに測定	±0.03Hおよび±30 (cm)

「多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル 第4版」(土木研究センター) P.224より

7. 笠コンクリートの目地について

笠コンクリートは施工性や土工構造との追随性を考慮し、壁面材2~3列ごとに目地を設ける。

「多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル 第4版」(土木研究センター) P.172より

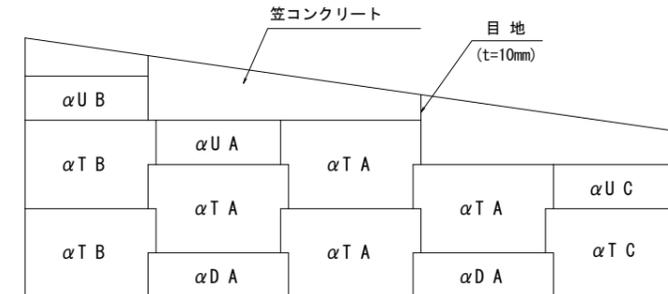


図-3. 笠コンクリートの目地設置(例)

8. 笠コンクリートの施工について

段差のある隣り合う笠コンクリートの施工については、段差部毎に目地を設け、壁面材および補強材を巻き込まないように注意して施工する。これは、盛土材料の多少の圧密沈下に従従する補強材のヒンジ構造を、コンクリートの巻き込みによって固定されることを防ぐためである。

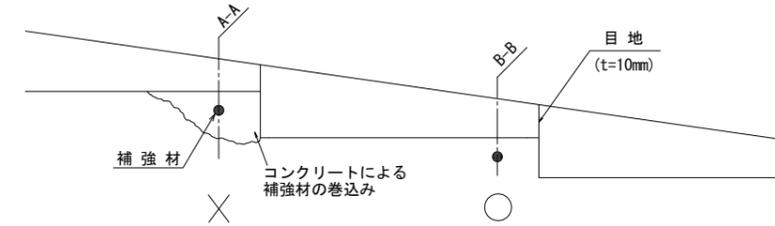
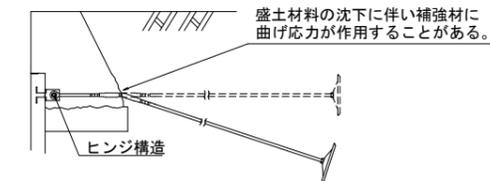


図-4. 笠コンクリートの施工(例)

A-A断面

※補強材を巻き込んで施工した場合



B-B断面

※正しく施工された場合

図-5. 各断面図

9. 笠コンクリートの下部の締固めについて

笠コンクリートは、前端が壁面材の上に、後端が盛土材の上にあるため、盛土材が沈下した場合、笠コンクリートは傾斜する。このため、笠コンクリートの基礎となる盛土部には砕石等の圧縮性の低い良質土を用い、十分に締固める。

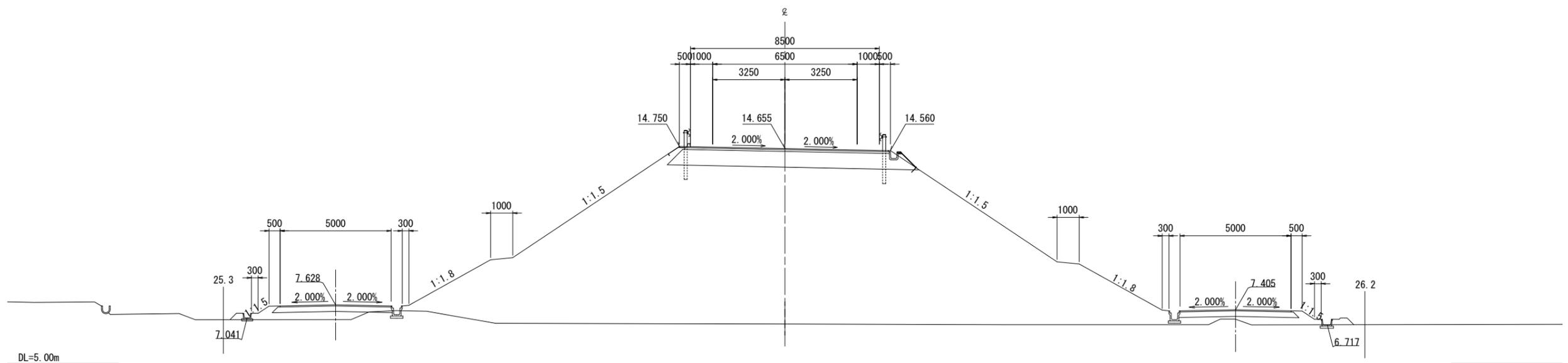
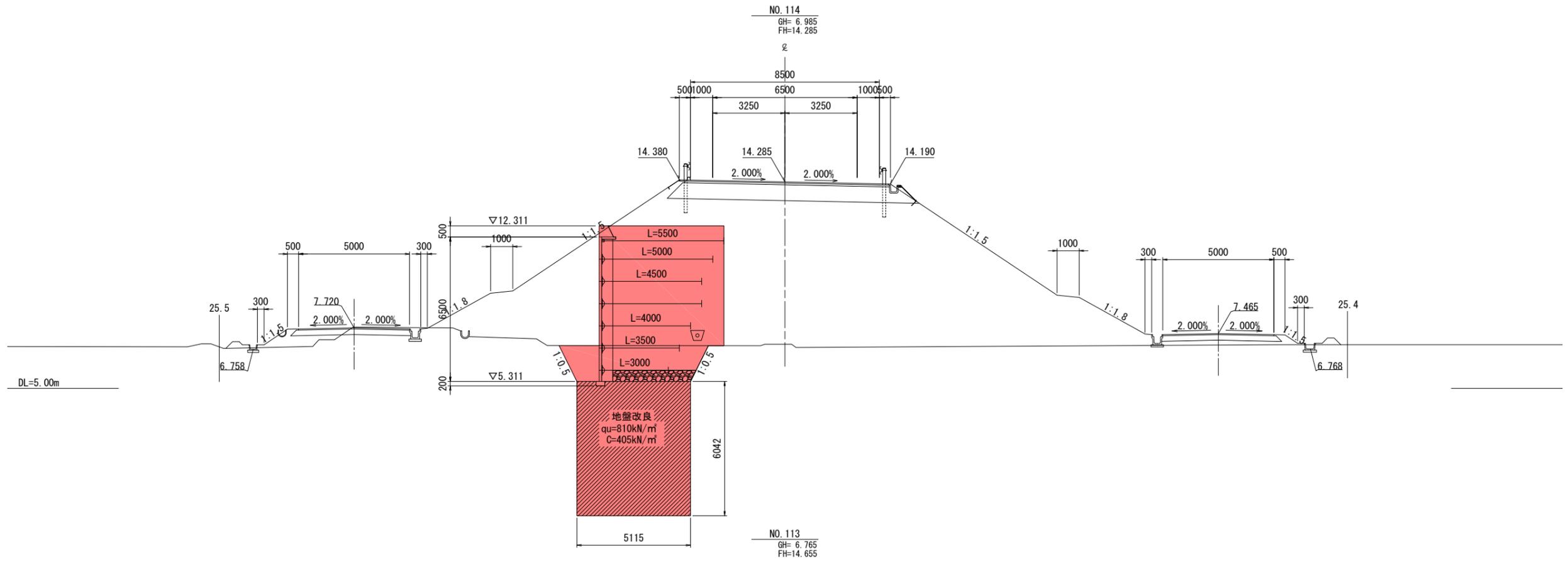
締固め不足による笠コンクリートの沈下が生じないように、4. (1) 同様最大乾燥密度に対して95%以上(A法またはB法)で締固めることを標準とする。

「多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル 第4版」(土木研究センター) P.220より

仕様書

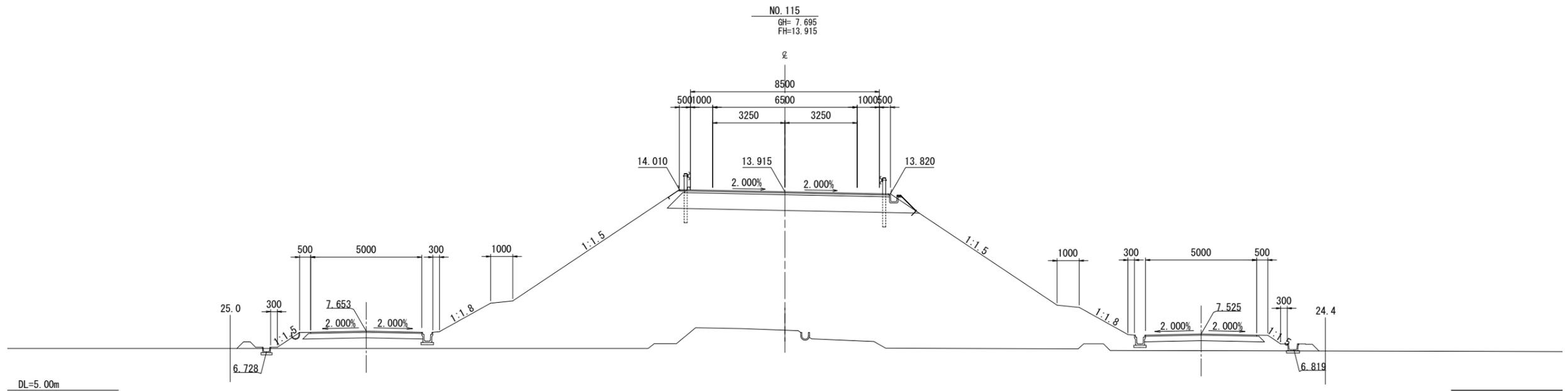
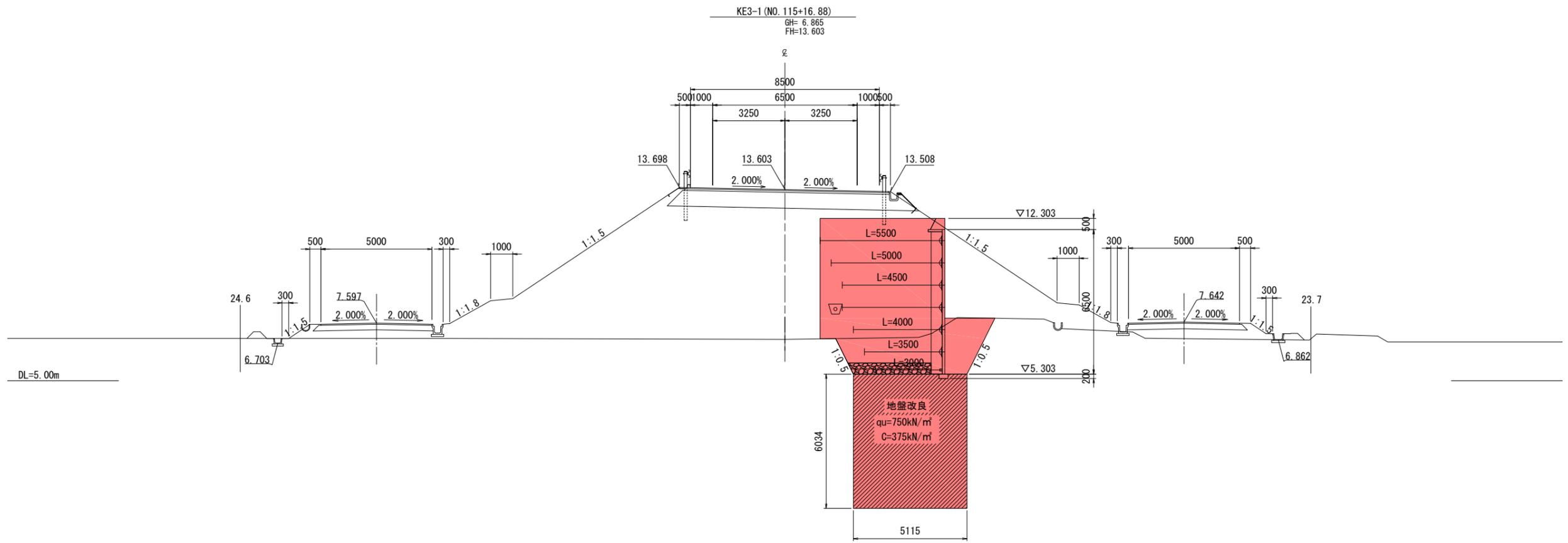
(参考図)

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	補強土壁詳細図(5)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	55 / 64	



仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	補強土壁詳細図(1)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	56 / 64	

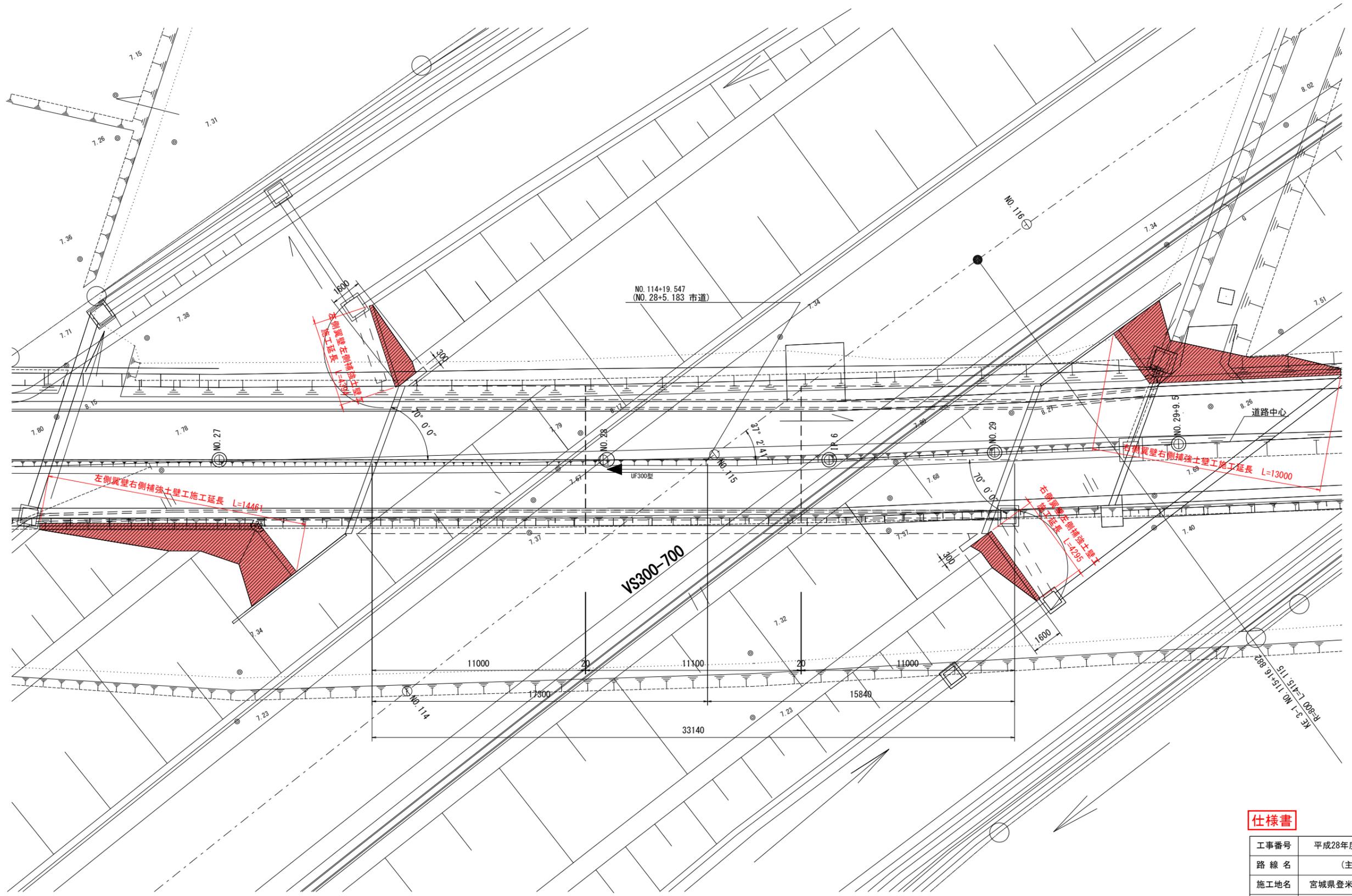


仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	補強土壁詳細図(1)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	57 / 64	

補強土壁平面位置図

S=1:100



仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	補強土壁平面位置図		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	58 / 64	

ジオテキスタイル補強土壁工法 (参考図)

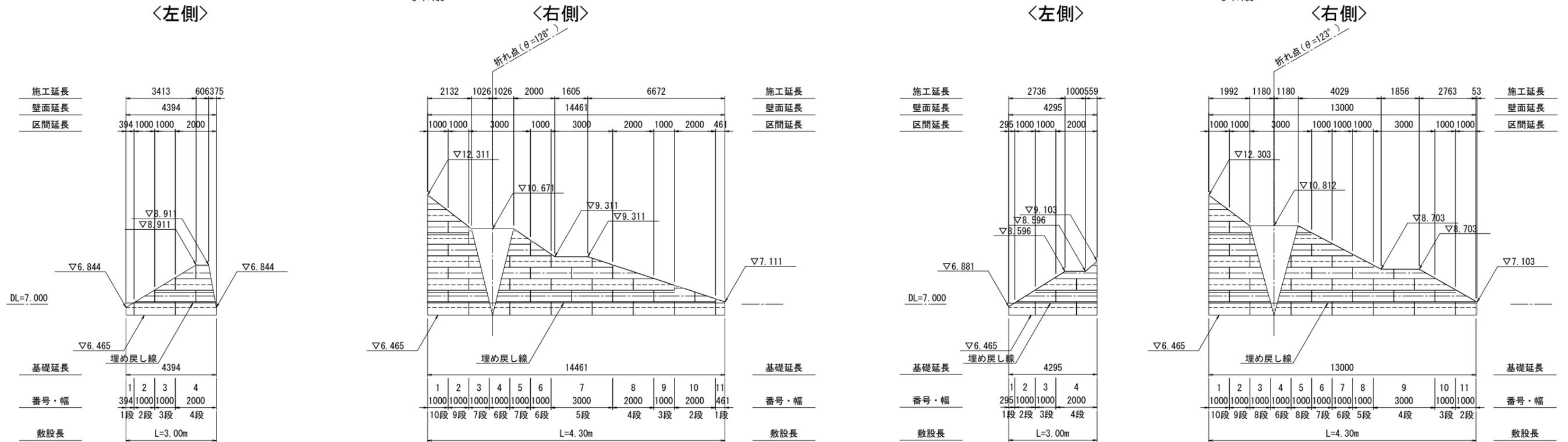
一般図

左側翼壁正面展開図

S=1:100

右側翼壁正面展開図

S=1:100



左側翼壁
S=1:100

右側翼壁
S=1:100

凡例

- : 破線はジオグリッド (TA=24.7kN/m) を示す。
- : 一点鎖線は壁面強化材を示す。
- : 実線は排水材を示す。
- : 土のう詰みにて施工を行う範囲を示す。

設計条件	
盛土材料 土質条件	$\gamma t = 19.0 \text{ kN/m}^3$ $c = 0.0 \text{ kN/m}^2$ $\phi = 30.0^\circ$
設計 水平震度	内の・外的 : kh = 0.18 全体安定 : kh = 0.12 地盤種別 レベル1地震動Ⅲ種地盤 地域補正係数 cz = 1.00 [地域区分:A]

盛土材料としての土質特性の一般評価の目安

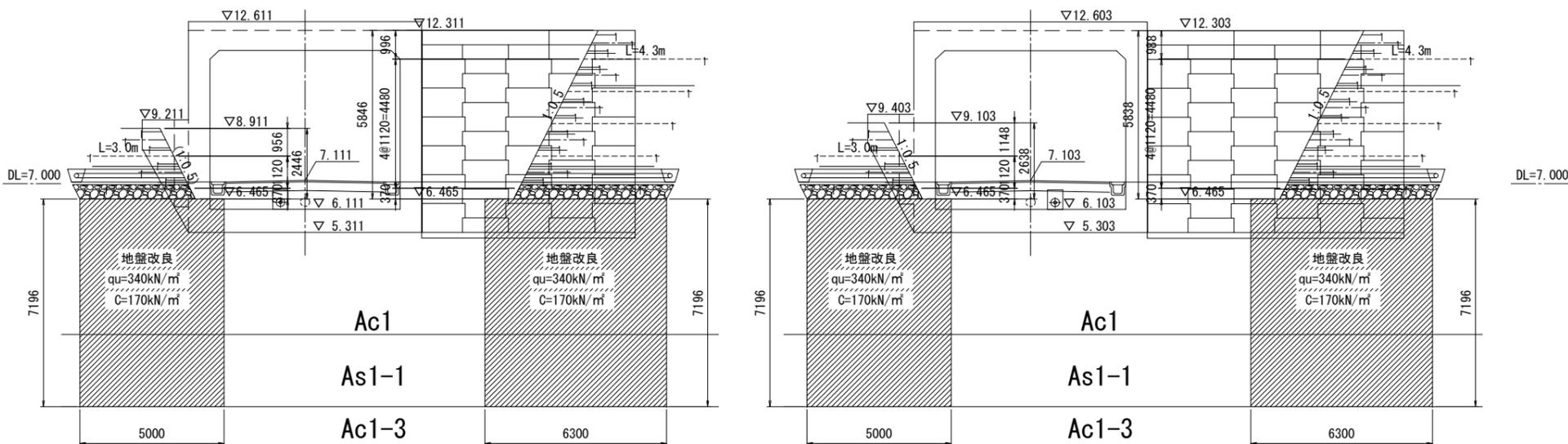
分類	適用性	備考
岩塊・玉石	△	・破碎の程度によって使用区分を考える。 ・スレーキングに留意 ・最大粒径に留意 ・補強材の損傷に留意
礫[G]	○	
礫質土[GF]	○	有機質土、火山灰質の細粒土を含む (G0, GV等) 材料の場合 : △
砂[S]	○	粒径が均質な場合には降雨の作用により前面崩壊・浸食を受けやすいため、のり面付近に用いる場合 : △
砂質土[SF]	○	・有機質土、火山灰質の細粒土を含む (G0, GV等) 材料の場合 : △ ・締固め効果、圧縮性の検討が必要
シルト[M]	△	・土の強度定数、締固め特性、透水係数等を適正な方法によって十分確認すること
粘性土[C]	△	
火山灰質粘性土[V]	△	・施工性、排水工について十分な検討が必要
有機質土[O]	△	
高有機質土礫[Pt]	△	

○ : ほぼ問題ないもの △ : 注意して用いるか、何らかの処理を必要とするもの

仕様書

(参考図)

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	補強土壁一般図		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	59 / 64	

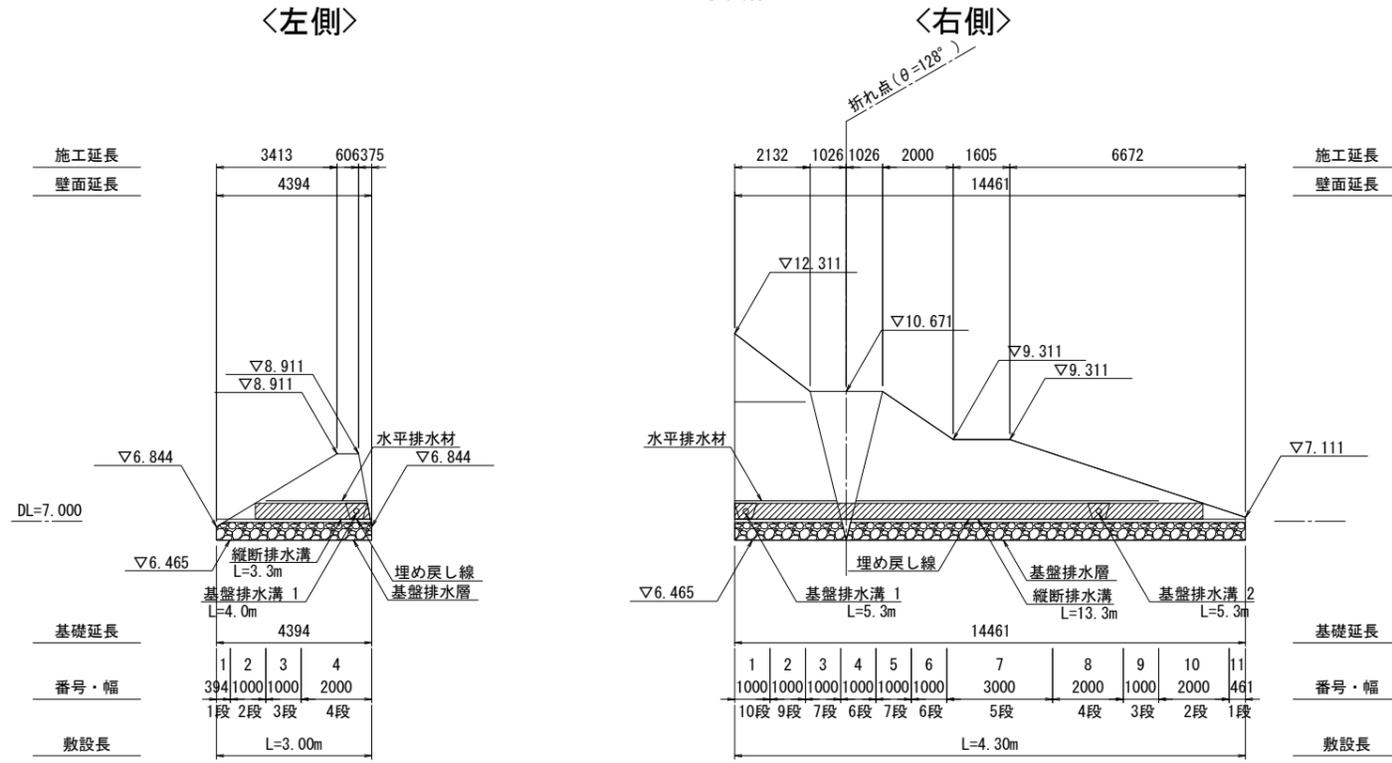


ジオテキスタイル補強土壁工法 (参考図)

排水計画図

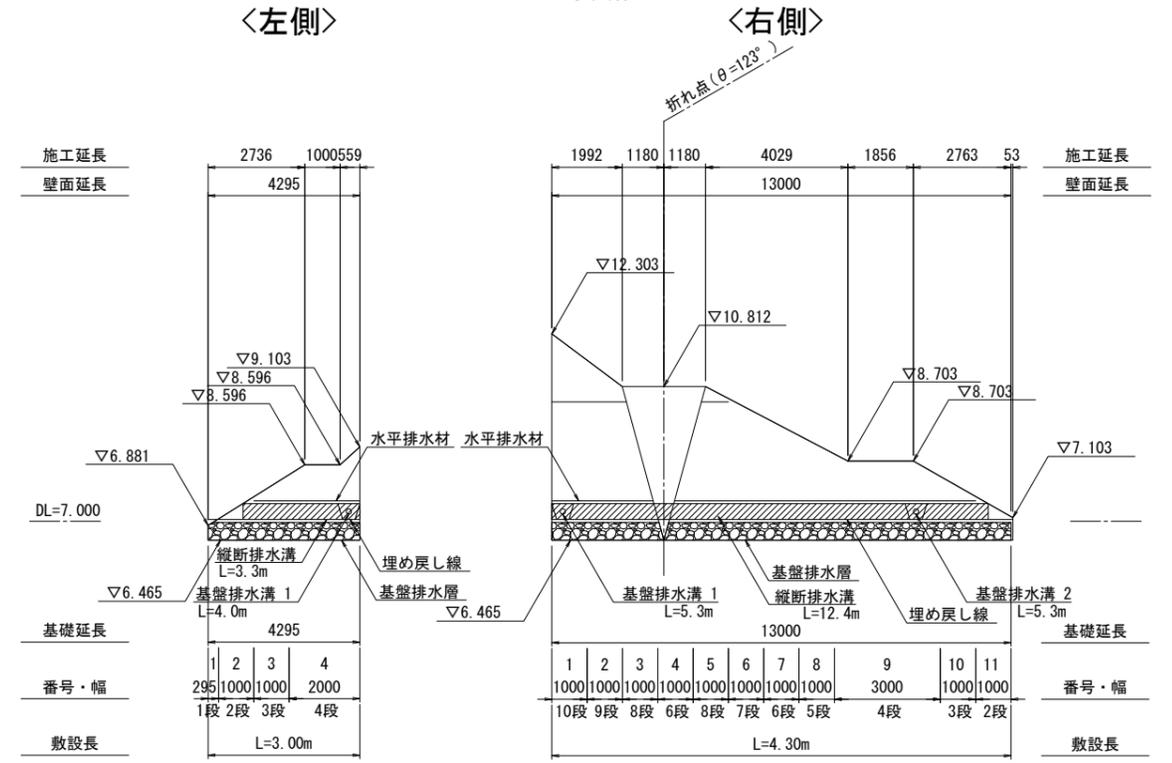
左側翼壁正面展開図

S=1:100



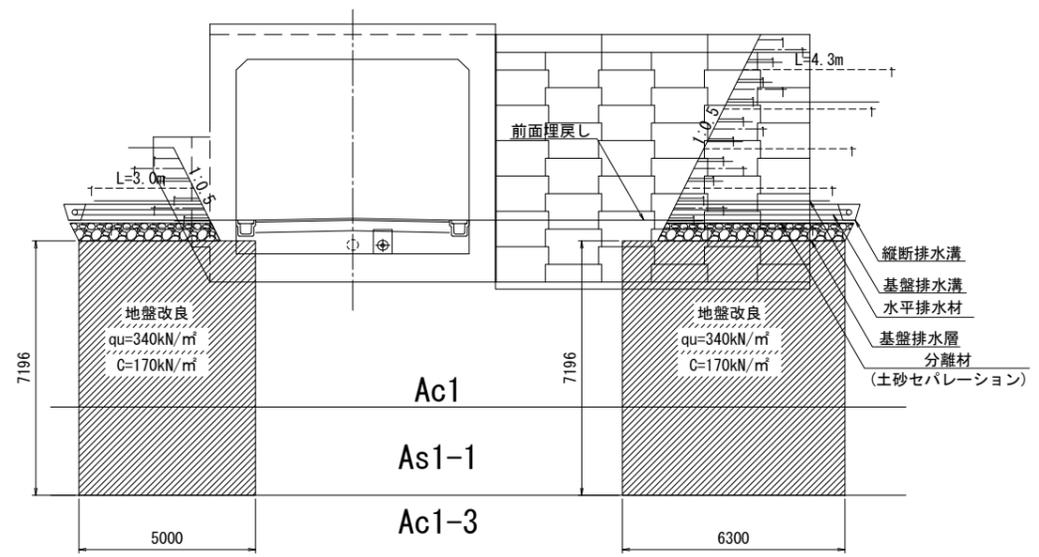
右側翼壁正面展開図

S=1:100



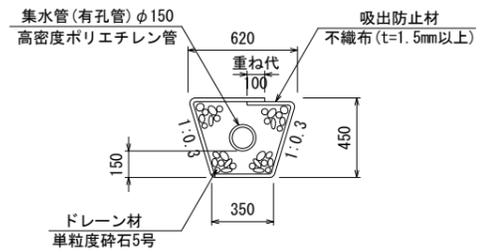
標準断面図

S=1:100



排水溝詳細図

S=1:20



- 注) 排水溝は縦断および横断方向に設置することとする
- ただし横断方向の排水溝は5~10m程度のピッチに設置すること
- 注) 排水溝は標準的なものであり、現場状況によって増設することとする
- 注) 横断方向の排水溝は、埋戻しより高い位置に設置すること

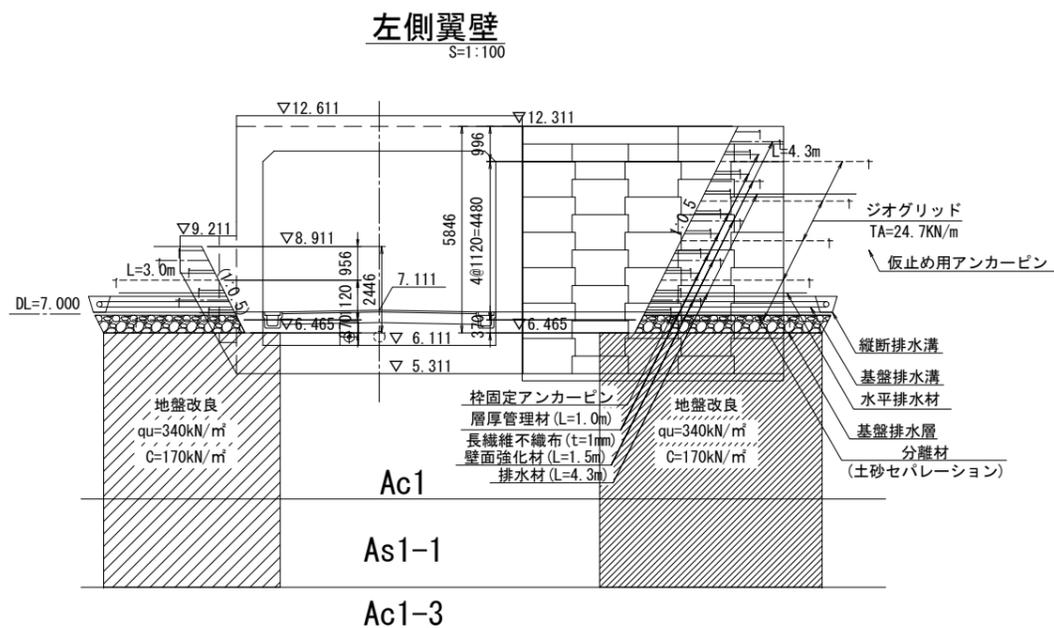
仕様書 (参考図)

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	排水計画図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	60 / 64	

ジオテキスタイル補強土壁工法 (参考図)

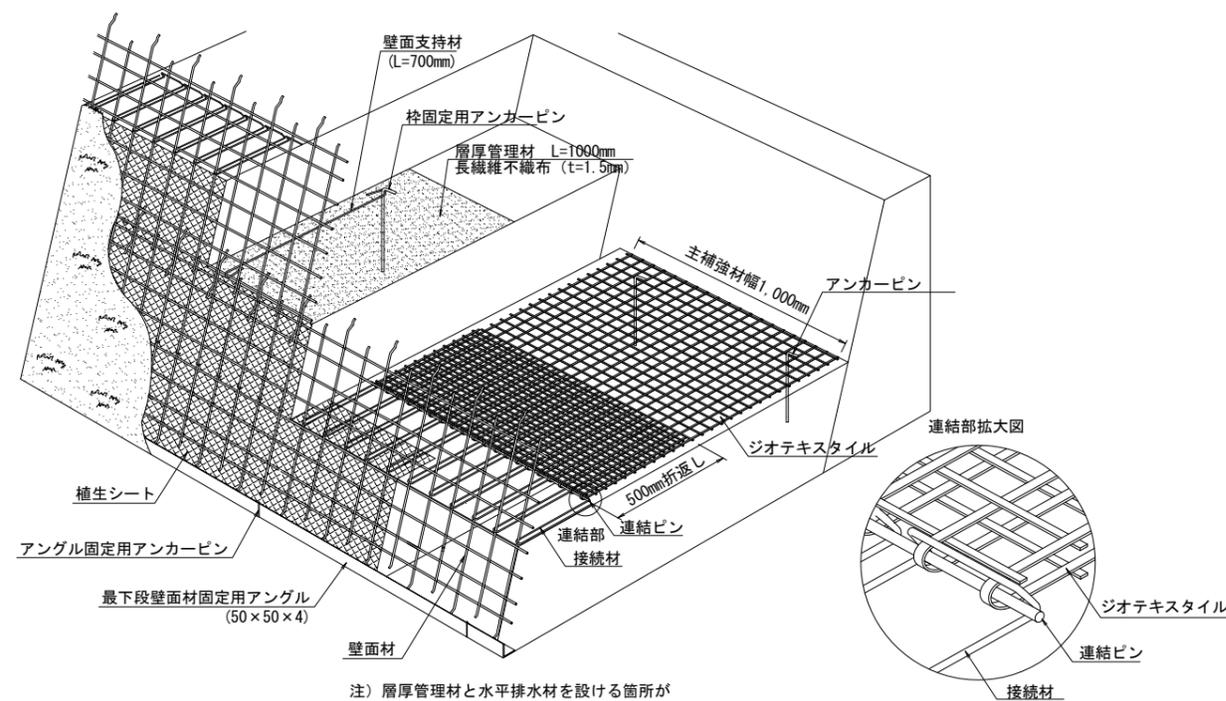
標準断面図

S=1:100



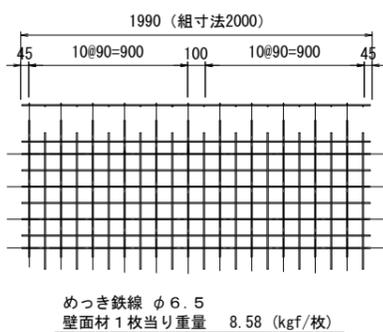
詳細図

概要図

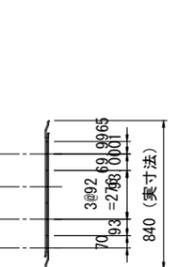


部材詳細図

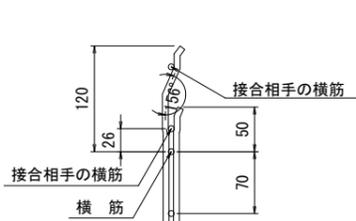
壁面材正面図
S=1:20



壁面材側面図
S=1:20

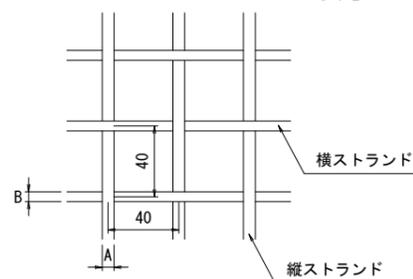


接合部
S=1:4



ジオテキスタイル詳細図

S=1:2

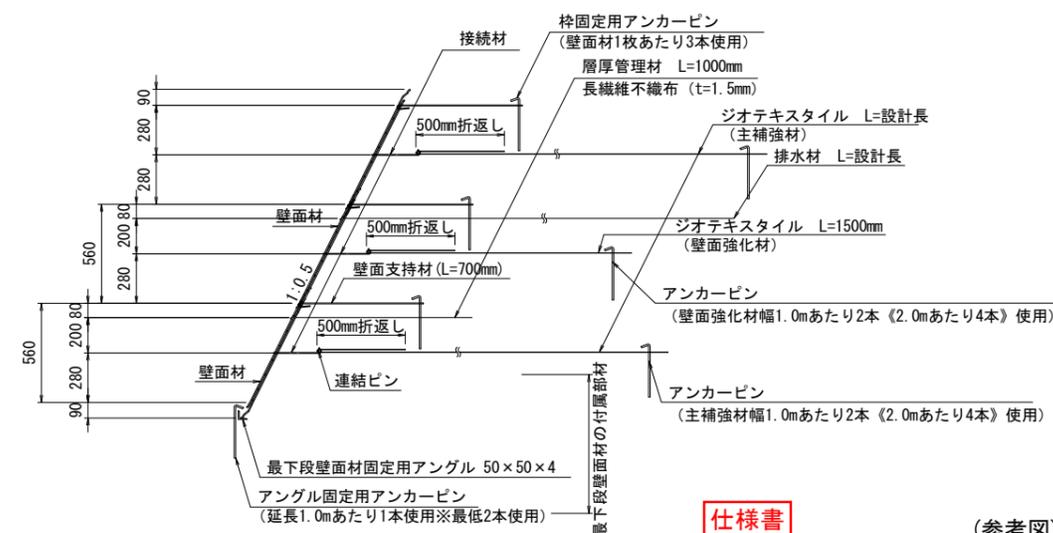


	壁面強化材	EX-40
TA (KN/m)	12.4	24.7
A (mm)	5.6	6.7
B (mm)	5.6	5.6

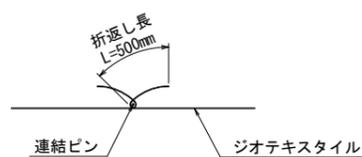
※壁面強化材にはEX-20を用いる。

構造詳細図

S=1:20

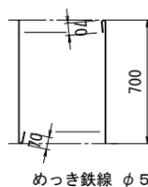


ジオテキスタイル接続図

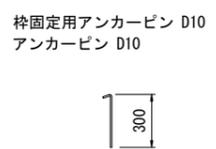


注) 敷設方向の連結は連結強度を確保するため必ず折返し長500mmを確保する。また、延長方向の連結は基本的には突合わせによる。(マニュアルP115) ただし、施工中のズレが懸念される場合などはアンカーピンにより固定する。

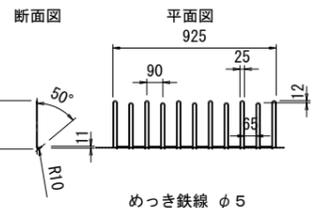
壁面支持材
S=1:20



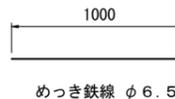
アンカーピン
S=1:20



接続材
S=1:20



連結ピン
S=1:20



注) 上記の寸法は製造寸法を示す。

仕様書

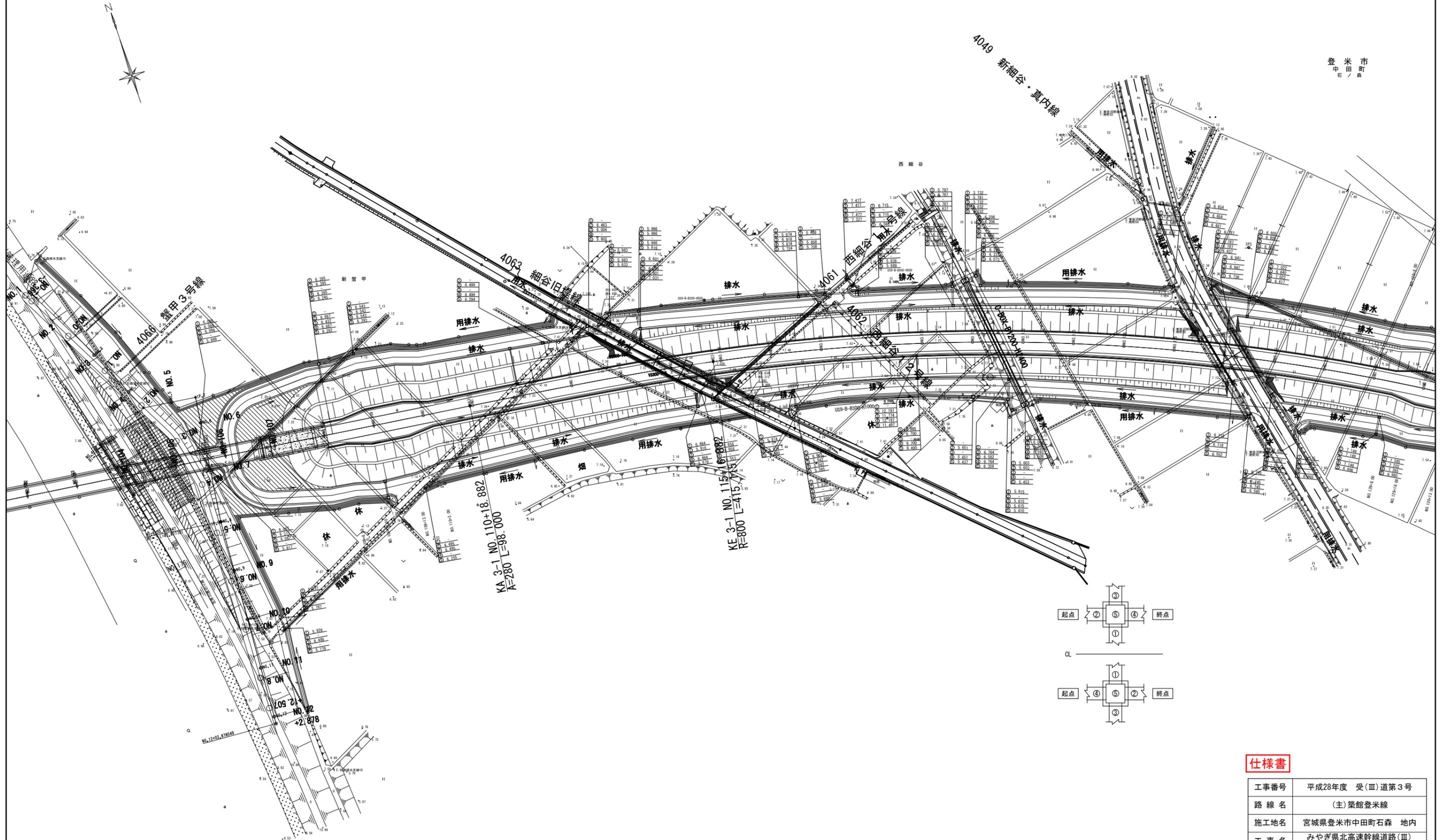
(参考図)

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	補強土壁詳細図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	61 / 64	

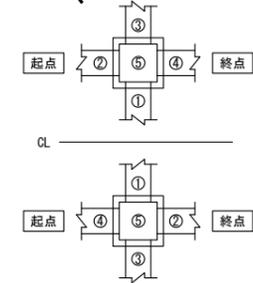
注1) 層厚管理材と水平排水材を設ける箇所が一致する場合には、水平排水材(長繊維不織布 L=設計長)を施工する。
注2) 盛土材や施工条件によって、壁面支持材を斜めに取り付ける場合がある。このような場合はTRIGRID施工要領に従って施工する。

排水系統図

S=1:500



登米市
中田町石森

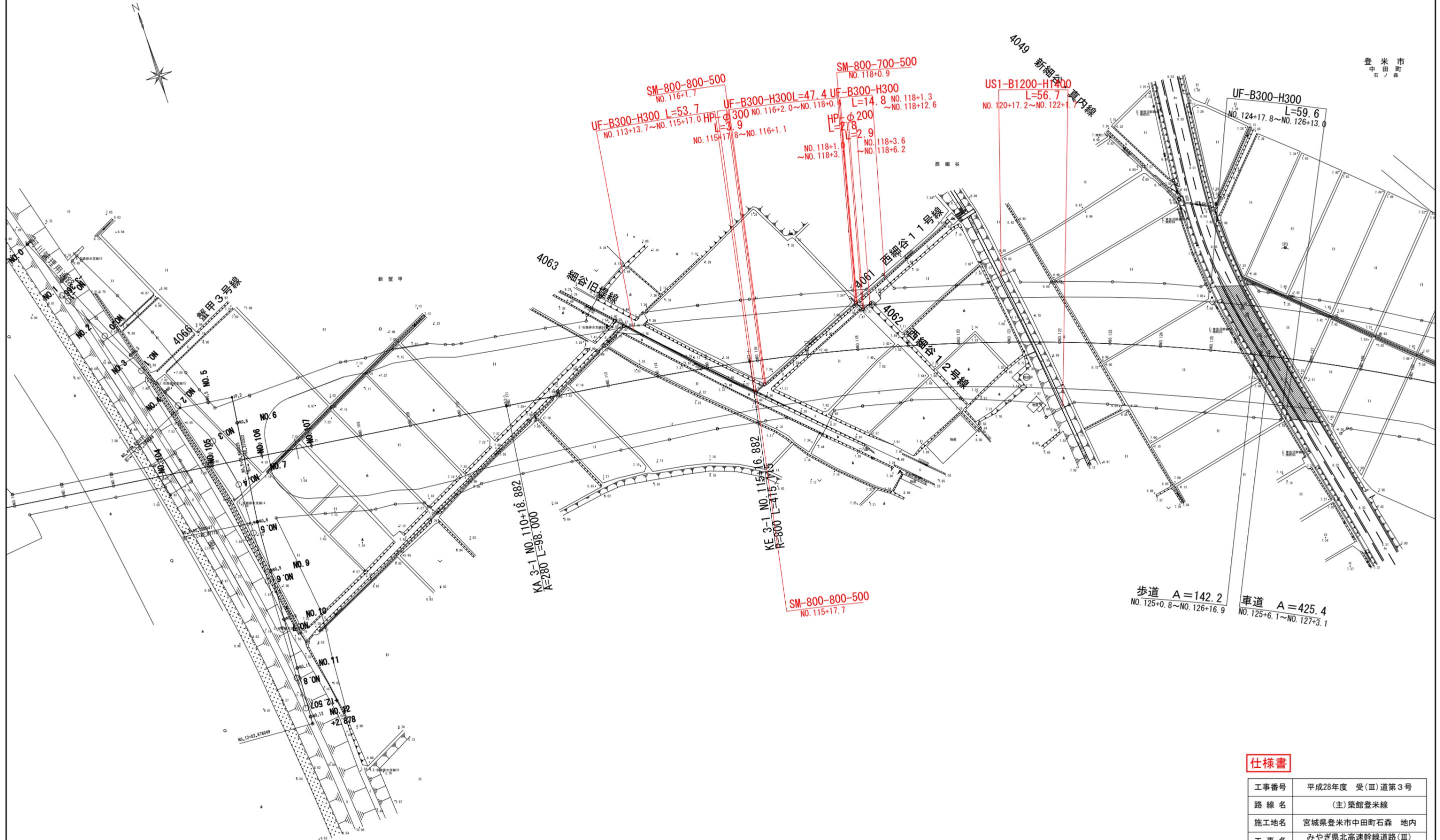


仕様書

工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(2-1工区)工事		
図面名	排水系統図		
縮尺	S=1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	63 / 64

撤去工平面図

S=1:500



工事番号	平成28年度 受(Ⅲ)道第3号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	宮城県登米市中田町石森 地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(2-1工区) 工事		
図面名	撤去工平面図		
縮尺	S=1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社	図番	64 / 64	